

地理教科書



志賀重昂著

外國篇

東京

合資
會社
富山房
發行

下卷

明治
27 3 16
內交

下卷目次

第四編 アフリカ

第一章 總說

第二節 地文 人文

第二章 北アフリカ

第三章 中央アフリカ

第四章 東アフリカ

第五章 南アフリカ

第六章 西アフリカ

第七章 アフリカ洲の島

— — — 一七 一九 二二 二五 二七

第五編 アメリカ洲

第一章 總說

第一節 地文

第二節 人文

第二章 北アメリカ

第一節 北部

第二節 中部

第三節 南部

第四節 西インド諸島

第三章 南アメリカ

第一節 アシデス地方

第二節 北部地方

第三節 アマゾン地方

二九

二九

二九

三六

四一

四一

四七

五九

六四

六七

六七

七一

七二

第八編 世界約説

第一章 住民

第一節 人種

第二節 宗教

第二章 國勢

第一節 面積

第二節 人口

第三節 生業

第四節 交通

第五節 世界に於ける日本

第四節 ラ・ブラタ地方

七七

七七

七七

七八

七九

七九

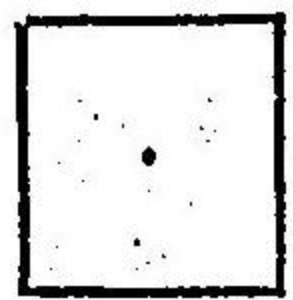
八〇

八一

八三

八四

面積二百萬方里
人口二億
一每點一人



地理教科書

外國篇〔下卷〕

志賀重昂 著

第四編

アフリカ (AFRICA)

第一章

總說

第一節

地文 人文

一、位置。東大陸の南西より突出する大半島の状をなし、北は地中海、東は印度洋、西は大西洋に面し、唯だ北東の小地片のみスエズ地峽となりて、ASIA アジア洲に接續す。
面積。殆んど二百萬方里、EUROPE ヨーロッパ洲に次げる世界第二の大洲にして、EUROPE ヨーロッパ洲の三倍餘あり。
二、地勢。海岸。本洲は、北に廣く南に窄まり、四方皆洋海を

アフリカ洲 位置 面積 地勢

繞らせり。されど海岸の出入の少なきと五大洲中第二にして港灣に乏しく、地形殊に簡單なり、島も亦甚だ少し。

地勢。山系。

地形の簡單なるが如く、地勢も亦簡單にして、

全洲は一大高原をなし、中央に分水脊の大山脈なく、山脈は

唯だ海岸に沿ひて走るのみ。

北は地中海岸に沿ひアトラス山

脈あり、南西は大西洋に沿ひコン

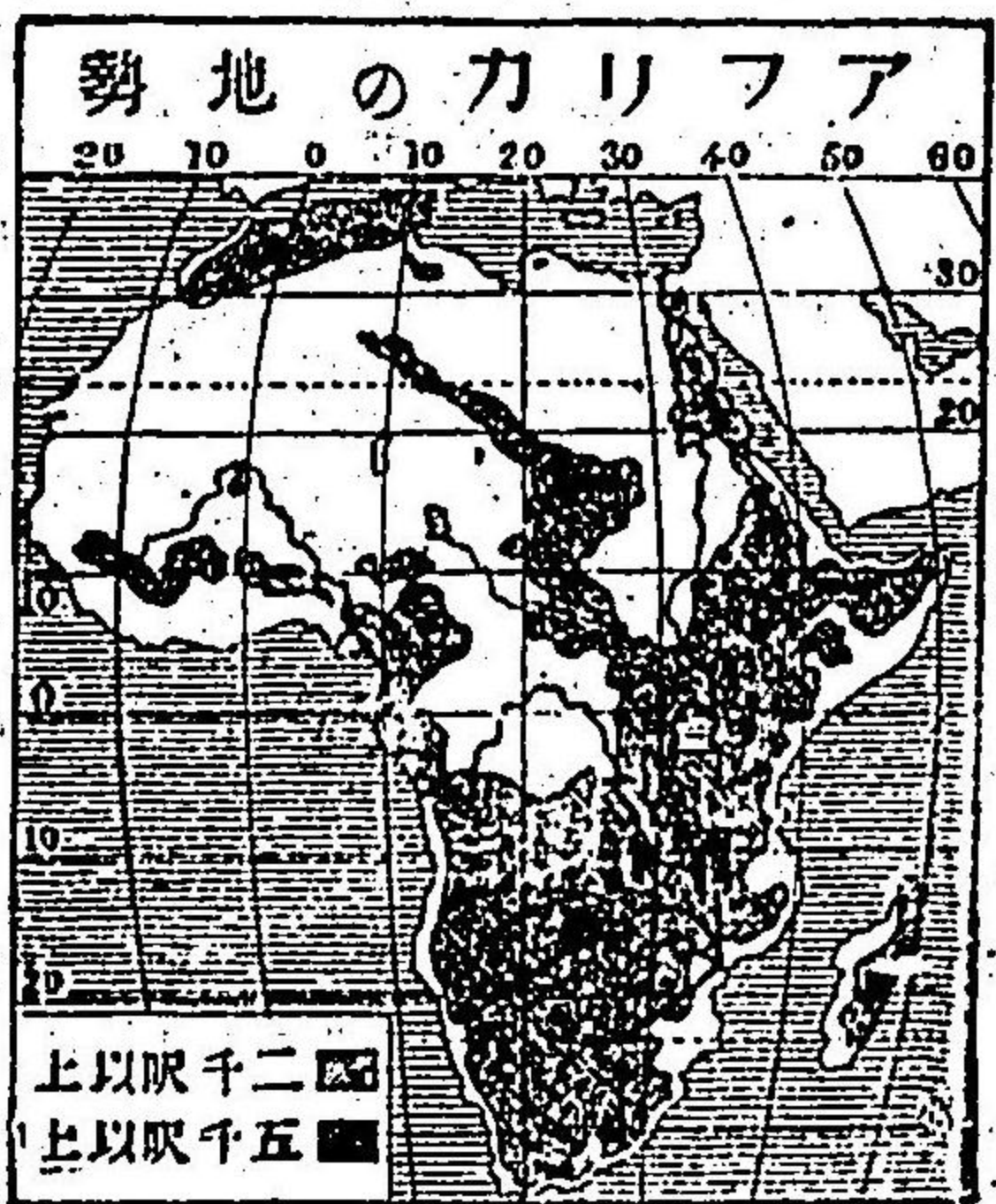
グ山脈あり、甲は地中海の水風を

遮斷し、乙は大西洋の水風を遮斷

すれば、其の間は雨極めて少く、サ

ハラ大沙漠を生ぜり。東部にはアビシニアの高地あり、其

の南に連なる高臺中に本州第一の高山ケニア及び第二の



高山キリマヌデアロ并立す、共に二萬尺の高ありて、赤道直下

にあれども、峰頂は常に白雪を戴けり。赤道以南にても亦

東岸、南岸及び西岸共に山脈并立し、洋海の風を遮斷すれば、

其の間の内陸は雨極めて少くカラハリ沙漠を生ぜり。

河系。以上の如く、本洲を周圍せる海岸に沿ひては、山脈の

走れるを以て、内陸には、内陸灌域を有する大河少からず。

又山脈は、海岸に近づくを以て、他の大洲と異り、河口の近く

に急流及び瀑布を有する河多く、更に又雨量少く、隨て水量

少ければ、航運に便ならず。河の大なるものは、地中海斜面

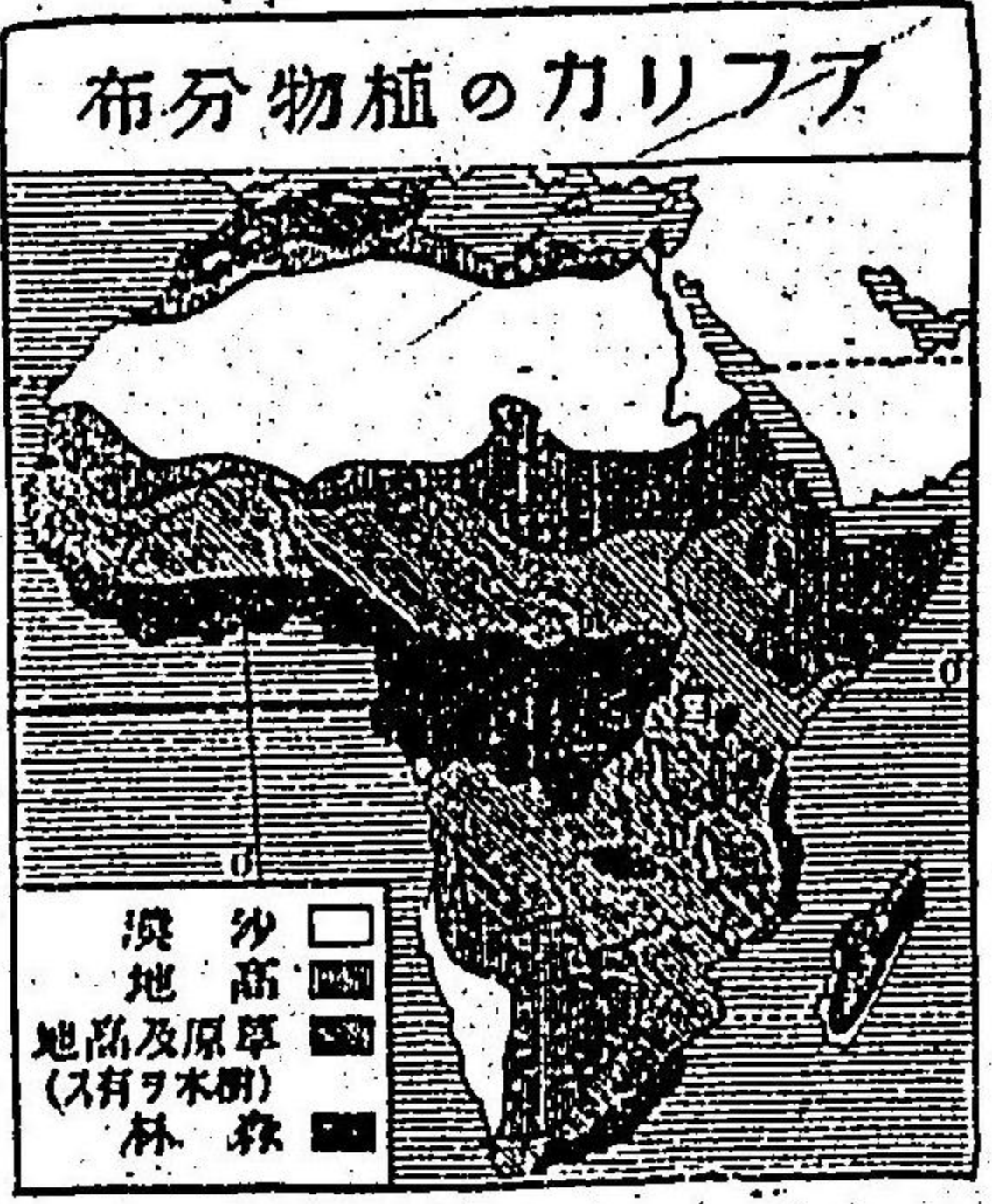
域即ち北流するものにニールあり、印度洋斜面域即ち東流

するものにザンベヂあり、大西洋斜面域即ち西流將た西南

流するものにコンゴ及びニジェルあり。

サハラ沙漠に
ては、晝間に
は華氏寒暖計
二百度に上れ
ども、晝間に
受けたる太陽
の熱を放出す
ると速かなれ
ば、夜間は極
寒にして氷點
下四度に下る

湖系。本洲は、其の地質構造の結果、地皮に大なる罅裂線を生じ、此の線に沿ひて大湖並列せり、即ち大陸の東南方にあ
る**ビクトリア**、**ヌヤンザ**、**アルベルト**、**ヌヤンザ**、**タンガンイカ**
面積我が北海道本地と同じく、世界第二の淡水湖なり。
三、氣候。本洲の大部分は、熱帯にあるが上に、地形單調に
して、内海少く、海風の暑氣を和ぐるものなきを以て、氣候炎
熱なり、上エジプト、ヌビアにては、雞卵を熱砂中に投じて焼
くに至る。されども南部及び地中海の沿岸は、稍々溫和な
り。赤道の南北一帯の地方は雨多く、砂漠には雨少し。
四、天産物。北部には綿花、南部には麥類を産す、中部は雨
多ければ、大森林連なり、良材に富む、又人民の常食とする果



物は各地方に富めり。氣候炎熱
なれば、果物の生長甚だ迅速にし
て、枝葉繁茂し、且つ鮮綠にして、絶
えず花を開き、果を結ぶ。かくの
如き植物の間に生育するを以て、
動物は壯大にして、毛髮麗はしく、

獅子、虎、豹、象、猿、鱷魚、及び羽毛の鮮美なる鳥を産す。
鑛物。到る處に多く、就中南部の金剛石は、世界第一の産額
あり、又同地方よりは金をも多量に産す。
五、住民。人口凡そ二億、人種の數甚だ多く、北部には、カフ
カズ人種、**HAMITIC**民族及び**SEMITE**民族住み、其の他の地方には
多く**黒人種**住む。黒人種中、中部に住む**純黒人**（**ヌダン黒人**）
CASUS **SEMITIC** **SUDAN**

其南に住む**バンツ**、更に南に住む**ホッテントット**、**ブシメン**は、各、其の民族を異にせり。 BANTU HOTTENTOTT BUSHMEN

種**のホバ**民族住み、又本洲海岸の要地及び南部には、**ヨーロッパ**人も住めり。 娶するに氣候炎熱なる

が上に、衣食の材料たる天産物甚だ多く、且つ沿岸には港灣少く、更に河口には急流瀑布ありて、交通



は不便なれば、人情はいづれも暗愚にして、猛悪なり。

六、宗教。

ハム族若くはセム族の住める北部と東部とには、**回教**行はれ、内陸の蠻族は、**木石**、**禽獸**、**蛇**などを拜崇す。ヨーロッパよりの移住民は元より**基督教**を奉ぜり。

七、政治。

廣大なるアフリカの大陸も、ヨーロッパ列國の分割する所となり、獨立の名稱を保てるは僅かに**モロッコ**、**アビシニア**の二王國、及び**リベリア**共和國に過ぎず。今やヨーロッパの各國は、相競ひて鐵道、郵便、電信を擴張し、以て其の領土に勢力を扶植し居れり。かくの如くして、茫々たる大沙漠中の一粒の砂も、大平洋中なる、豆大の島も、擧げてヨーロッパ人の所有にあらざるものなきに至れり。

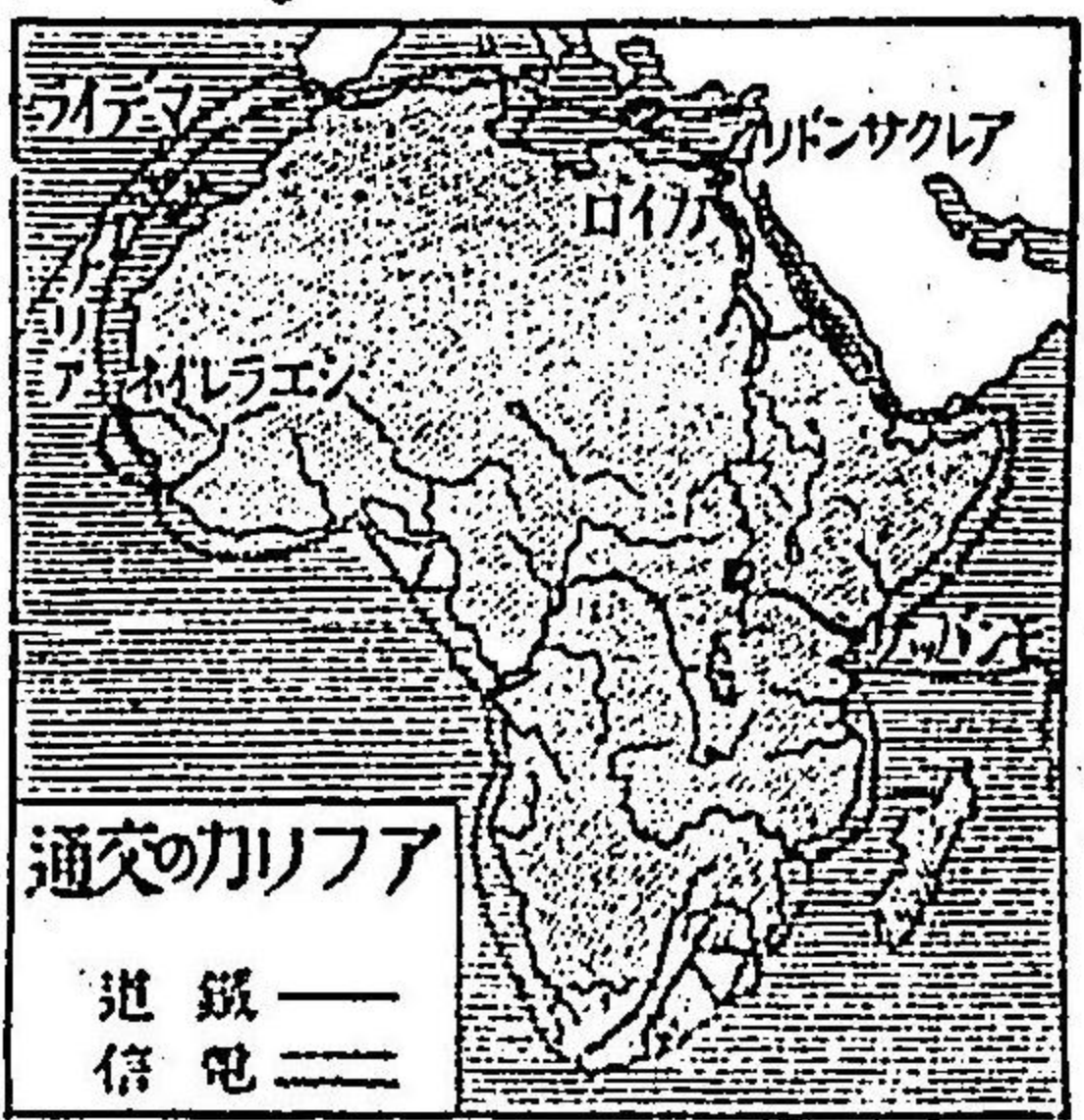
- フランス領 FRANCE 六三〇、〇〇〇方里
- イギリス領 ENGLAND 三六〇、〇〇〇方里
- トルコ領 TURKEY 一八〇、〇〇〇方里
- エジプト(スダンを合す) EGYPT 一八〇、〇〇〇方里
- トリポリ等 TRIPOLI 六六、〇〇〇方里
- ドイツ領 GERMANY 一五五、〇〇〇方里

コンゴ自由國 (ベルギー勢力範圍)	CONGO	一五〇,〇〇〇方里
ポルトガル領	PORTUGAL	一三七,〇〇〇方里
イスパニア領	SPAIN	四二〇,〇〇〇方里
イタリア領	ITALY	一五〇,〇〇〇方里
以上ヨーロッパ領		一,七三五,〇〇〇方里
モロッコ王國	MOROCCO	三六〇,〇〇〇方里
アビシニア王國	ABYSSINIA	二五〇,〇〇〇方里
リベリア共和國	LIBERIA	六〇〇,〇〇〇方里
以上獨立國		六七〇,〇〇〇方里
中立地		一〇六,〇〇〇方里
大湖		一二〇,〇〇〇方里
アフリカ洲 總計		一,九二〇,〇〇〇方里



アフリカ洲の勢力範圍圖

八、交通



内陸の交通は元より不便なり。されどもヨーロッパの列國は、其の領土内に交通機關を擴張し、イギリスは、大陸の縦貫鐵道を計畫し、又東岸より内陸のビクトリア・ヌアンザ湖まで鐵道を敷設し、湖には定期汽船を浮べ、湖北より前めば、ニール河の汽船に投じて、地中海に出づ

るを得べし、所謂『暗黒大陸』の間を今日汽車、汽船に依りて穩かに旅行するもの、誰れか當年の探險者リビンストン、スタンレイ諸氏の、大困難を想ひ起すものぞ。

九、區分。 全洲を(一)北アフリカ、(二)中央アフリカ、(三)東アフリカ、(四)南アフリカ、(五)西アフリカの五大部に分つ。

SOUTH-AFRICA

NORTH-AFRICA

CENTRAL-AFRICA

EAST AFRICA

WEST-AFRICA

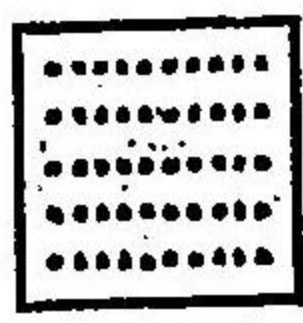
第二章 北アフリカ

アフリカ大陸の北部にある地方、即ちエジプト及びバルバリー諸國を云ふ。北は地中海、東は紅海、西は大西洋に面す。

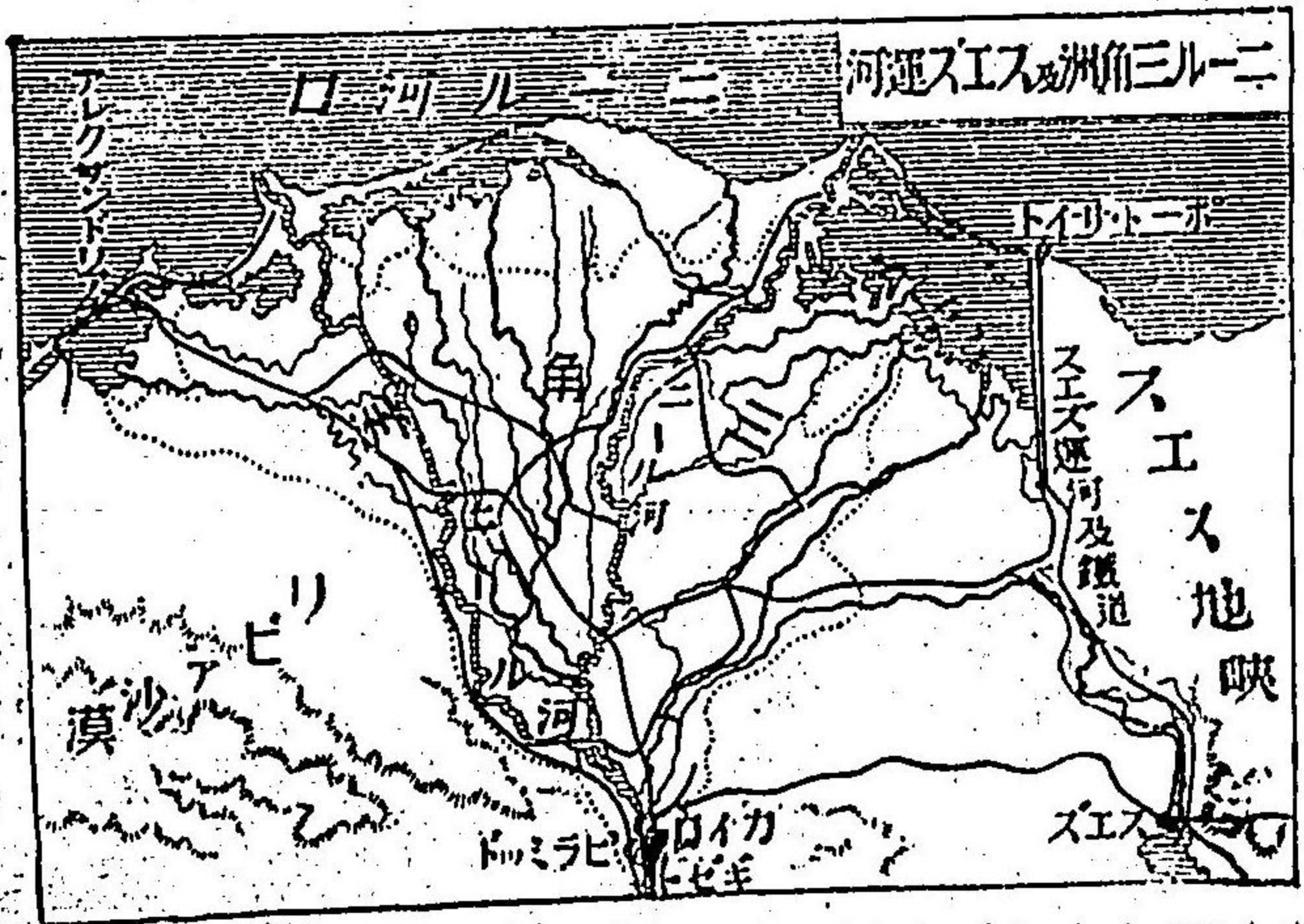
ATLANTIC

一 エジプト (EGYPT)

本洲の東北部、ニール河下流の地方なり。ニール河は、赤道直下のビクトリア・ヌアンザ湖より發し、アビシニアの山中より發する二條の大支流を合せ、北流して地中

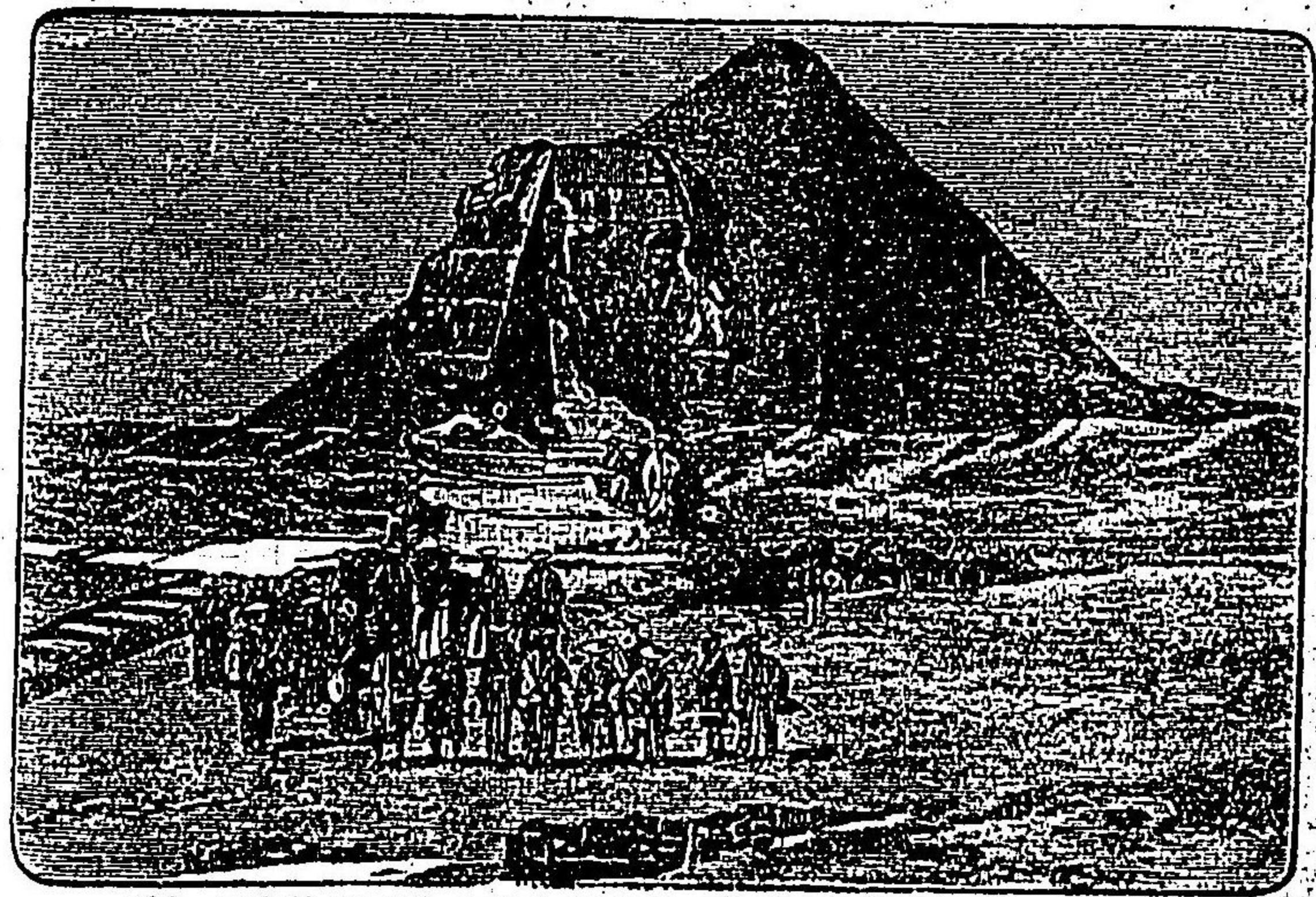


面積(可耕地) 二千万方里
人口一千万



海に注ぐ、アビシニヤの山中は春間降雨甚だ多きを以て、エジプト地方のニール河は、毎年夏より秋にかけて一定の汎濫をなし、細泥を散布し、土地を肥沃ならしむ、されば古より此國を「ニールの恩恵」と呼べり。

ニール河の谿谷及び三角洲は、無比の肥沃なれば、太古此處に文明起り、西洋の開化の祖先となれり、今日其の遺物たるピラミッド(金字塔)、スフィンクス(獅身人面の像)などの壯大なるを見る



(行一の守後筑田池, 年元久文) 節使の府藤川總るけ於にドッヨラビ

も亦以て當年の雄圖を想ふに足る。されどもニールの谿谷を一步外に出れば、沙漠連なり、エジプトは宛かも沙漠中の孤島の觀あり。かくて四方と交通を遮斷せしかば、其の文明は内に發し、内に榮え、内に衰へて、遂に文明自らもミールの如く化し去りぬ。爾來國政衰え、アラビヤ人及びトルコ人に征服せられ、今日とても、名義上、トルコの貢屬國となり、更にイギリスの軍隊駐在し、軍事上、政事上の實權はイギリス人の手に歸せり。

首府**カイロ**はニール河の傍、ピラミッドの附近にあり、アフリカ洲第一の都會にして、國主此處に住めり。

アレクサンドリアは、地中海に臨み、ヨーロッパ諸國と貿易の衝に當り、アフリカ洲第一の開港場となる。

レセップ氏

スエズ運河の圖



スエズ運河に於ける皇帝國軍艦隊

アレクサンドリアの東、**スエズ**

ALEXANDRIA

SUEZ

ズ地峽の運河は、紅海及び地中海を連絡するものにして、此の運河竣工の爲めに、ヨーロッパより我が日本に至る航路は、一月餘を短縮せり。運

河の設計者は、フランス人**レセップ**氏

LESSEPS

にして、長サ八十七哩、如何なる大船艦と雖も通過し得べし。陣笠を被むり長刀を穿てる徳川幕府の使節が、ピラミッドに登臨せし當年と、我國の汽船の此の運河を通過するもの一年三十五萬噸に至りたる今日とを比ぶれば、

人をして隔世の感あらしむ。されどもイギリス汽船の此の運河を通過する一年殆んど九百萬噸なるものと對照すれば、我が航海業は尙ほ大に發達せしめざるべからざることを悟るなるべし。

二 ハルバーリー諸國 (BARBARY STATES)

アフリカ洲の北岸に位し、エジプトの西、地中海に沿へる**トリポリ**、**チュニス**、**アルジェリア**及び**モロッコ**を云ふ。北は地中海

TRIPOLI

TUNIS

ALGERIA

MOROCCO

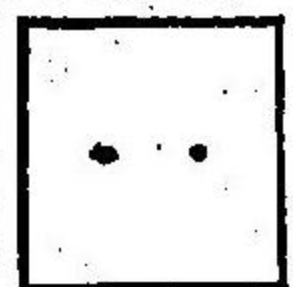
ATLAS

に面して海風を受け、且つ**アトラス**山脈は全土を貫くを以て、アフリカ洲に於ける氣候溫和なる部分とす。住民は、アラビヤ人の子孫多ければ、回教を奉ず。

一、**トリポリ**。エジプトの西にありて、トルコに屬す。首府を**トリポリ**と云ふ、地中海に面する港なり。

TRIPOLI

面積六萬六千方里
人口一百萬人
每點一人

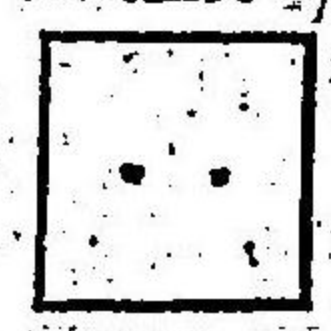


アフリカ洲

北アフリカ

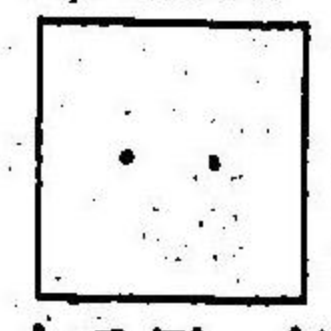
ハルバーリー諸國

面積八千五百
方里
人口百九十萬



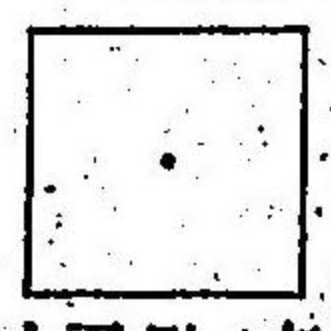
人口百九十萬
人百點一每

面積三萬方里
人口五百萬



人口五百萬
人百點一每

面積三萬七千
方里
人口四百萬



人口四百萬
人百點一每

二、**チュニス**。トリポリの北西にある王國にして、フランスの保護國なり。首府**チュニス**は、地中海に面する港にして、古昔ローマと覇を争ひて亡びたるカルタゴ府の遺跡あり。

三、**アルジェリア**。チュニスの西にありて、北はフランスと相對し、同國植民地中の最も重要なものなり。さればフランスは、總督を首府**アルジェ**に駐在せしむ。農業及び牧畜盛んに行はれ、又アルファ草製紙の原料及び良馬を産す。

四、**モロッコ**。アルジェリアの西にありて、アフリカ洲の北西部を占め、北はイスパニアと相對す。されば北岸の要地は、多くイスパニアの占領する所となれり。政教一致の王國なれども、人情暗愚にして、猛悪なり。山羊の皮より製するモロッコ皮は、其の名世に高し。國都を**フェズ**と云ふ。

第三章 中央アフリカ (CENTRALAFRICA)

一、**位置**。北アフリカの南にある廣漠なる地方を總稱す。

一 サハラ沙漠 (SAHARA)

世界第一の沙漠にして、面積四十餘萬方里、我國に十五倍す。氣候極熱、降雨なしと雖も、泉の湧く處あり、『オアシス』と稱へ、椰樹繁茂す。隊商は、『沙漠の船』なる駱駝に乗り旅行す。サハラの殆んど全部は、フランスの勢力範圍に歸せり。

二 スダン (SUDAN)

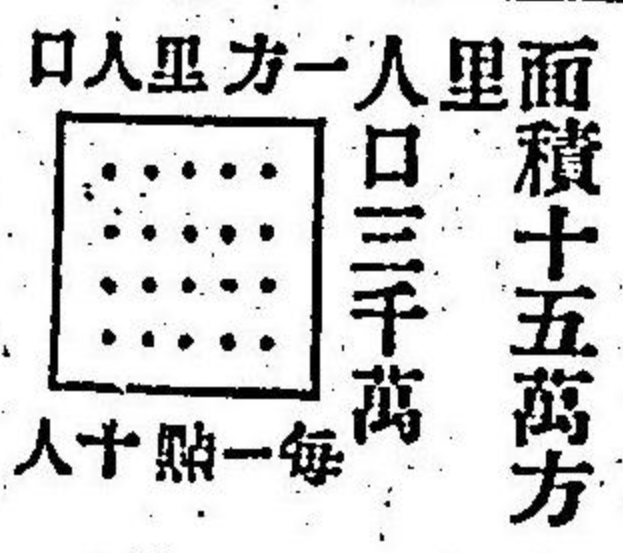
サハラ沙漠の南にある地方を云ふ。全域を東、中、西の三部に分ち、**東部**は、**エジプトスダン**と稱へ、ニール河の上流に位置し、イギリスの勢力に歸し、**中部**及び**西部**は多くフランスの

駱駝は能く渴
に堪へ、三四
日間は一、二
日間は、水と
ば、水と與ふ
し、足は、三
間、一、二、三
だ、に、一滴
も、堪へるも
あり、旋風
怖るべき、旋
の、船は、商
と、共、に、下
て、沙、漠、に
葬らる、こと
あり、フランス
ス、人は、大西
の水、を、沙、漠
の、水、を、河、底
注、ぎ、入、れ、水
氣、を、發、し、雨
降、ら、し、め、以
沃、土、に、化、せ、り
と、考、案、中、な
り

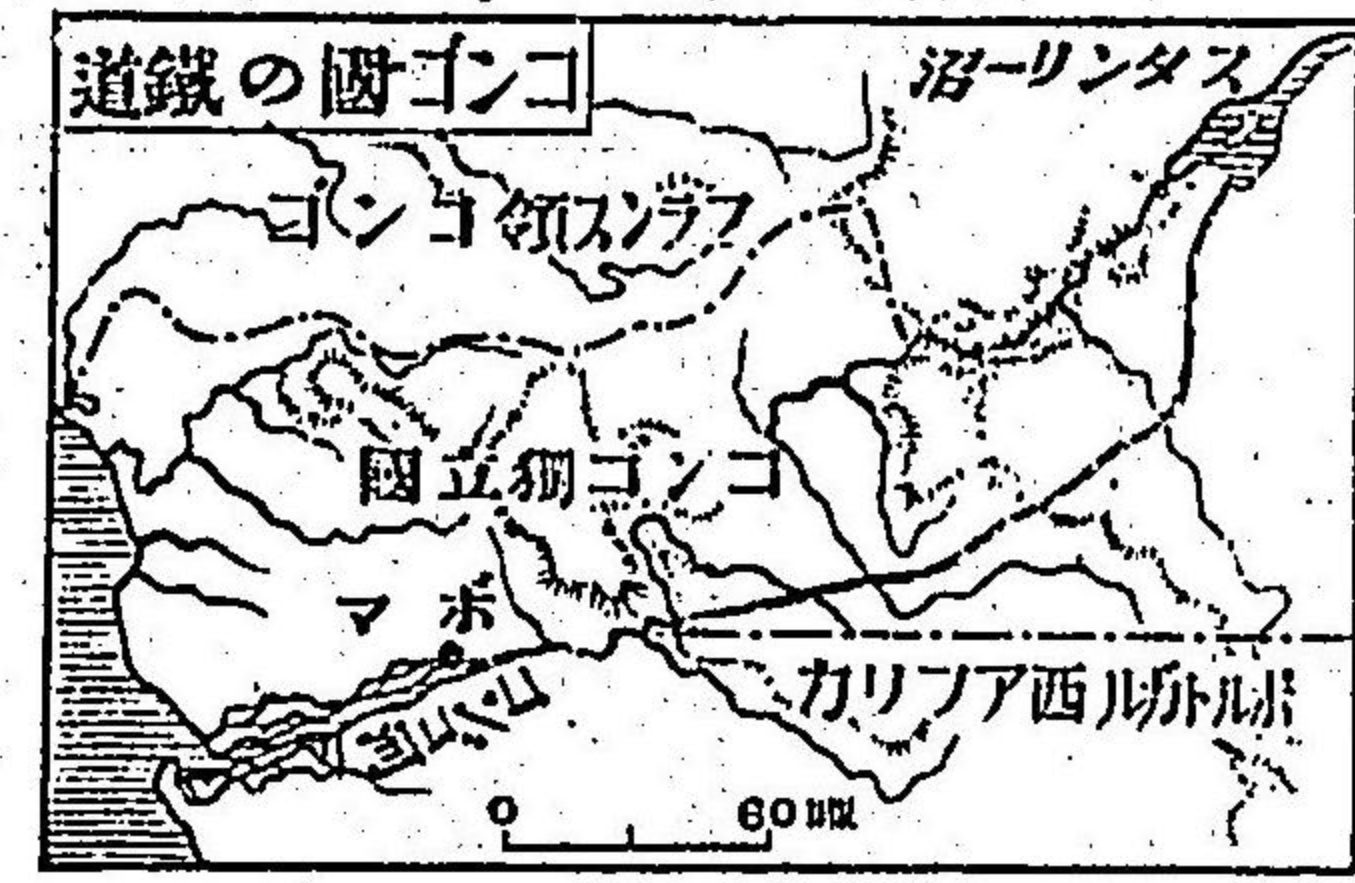
勢力に歸し、其の間にイギリス及びドイツの勢力を交ゆ。

三 ユンゴ獨立國 (CONGO INDEPENDENT STATE)

ユンゴ河系の灌域の大部を占め、其の面積我國に六倍す。



ユンゴ河は、アフリカ洲第二の大河にして、四百里間汽船を通ず。されども下流には瀑布ありて航行するを得ざれば、河口より瀑布地方まで鐵道を通ず。炎熱多雨なれば、植物繁茂し、多く椰子油、護謨を産す。此國は、西曆一千八百八十五年(明治十八年)ベルリン會議にて萬國の自由に交通貿易を行ふ國と定め、ベルギー國王は一個人の資格にて其の君主と定めらる、我國も近年此國と通商條約を結べり。



第四章 東アフリカ (EAST AFRICA)

一、位置 エジプトの南より中央アフリカの東にある地方を總稱す。

一 ニール河系の上流

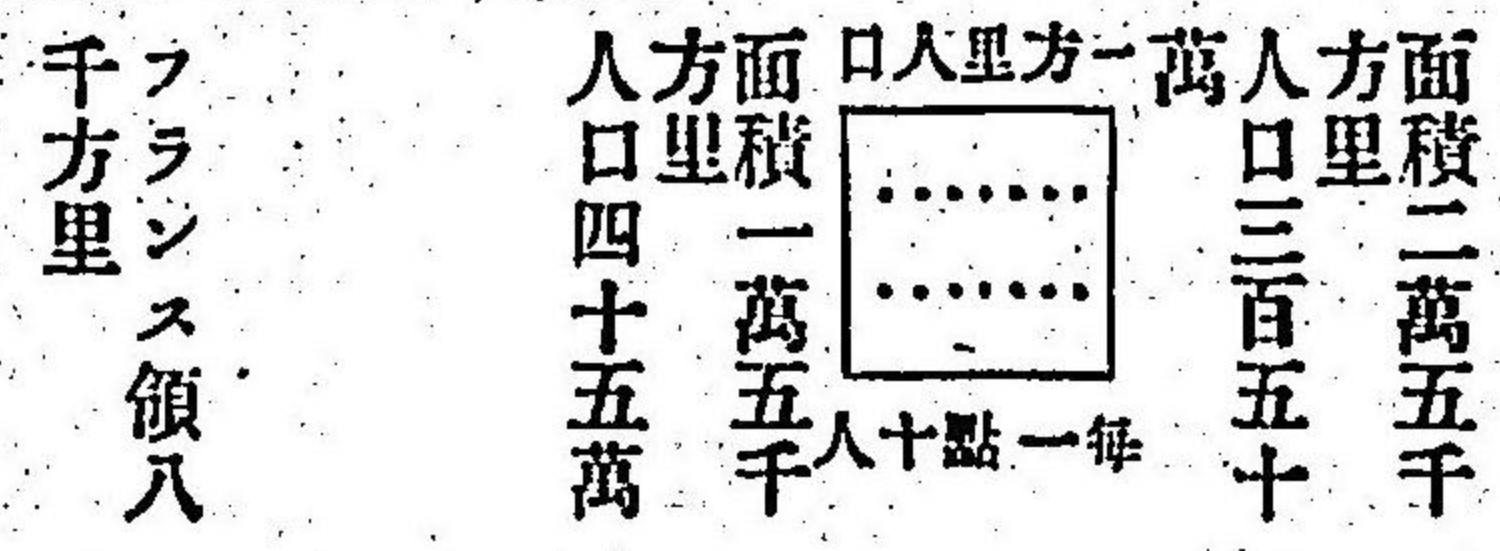
一、アビシニヤ王國。又エチオピアと稱へ、イタリアの保護國なりしが、イタリア兵を破り、明治二十九年獨立國となる。人民は牧畜を業とし、人情猛悪なり。

二 エリトリア (ERITREA)

アビシニアの北東に接し、紅海に沿へるイタリア領なり。

三 ソマリランド (SOMALILAND)

アビシニアの東、アラビア海とインド洋との間にある地方。



フランス領八千方里

イタリヤ領
一萬七千方里
イギリス領
一萬一千方里

イギリス領面積
積十七萬方里
六萬四千方里
人口八百萬
方里一十點一人
方里一十點一人
方里一十點一人
方里一十點一人
方里一十點一人
方里一十點一人
方里一十點一人
方里一十點一人

なり。アラビヤ海岸は、フランス及びイギリスの保護國となり、インド洋岸はイタリヤの保護國となれり。

四 インド洋岸

一、北部をイギリス領東アフリカ、二、中部をドイツ領東アフリカ、三、南部をポルトガル領東アフリカとなす。
イギリス領内、赤道直下にアフリカ洲第一の高山ケニア聳え、イギリス領とドイツ領との境に第二の高山キリマヌチヤロ聳ゆ。アフリカ第一の大湖なるビクトリアヌアンザも亦赤道直下にありて、其の北半はイギリス領内に屬し、南半はドイツ領内に屬す。
イギリス領の南にザンヂバル保護國あり、同名の島上に同名の港あり、東アフリカ第一の開港場なり。

第五章 南アフリカ (SOUTH AFRICA)

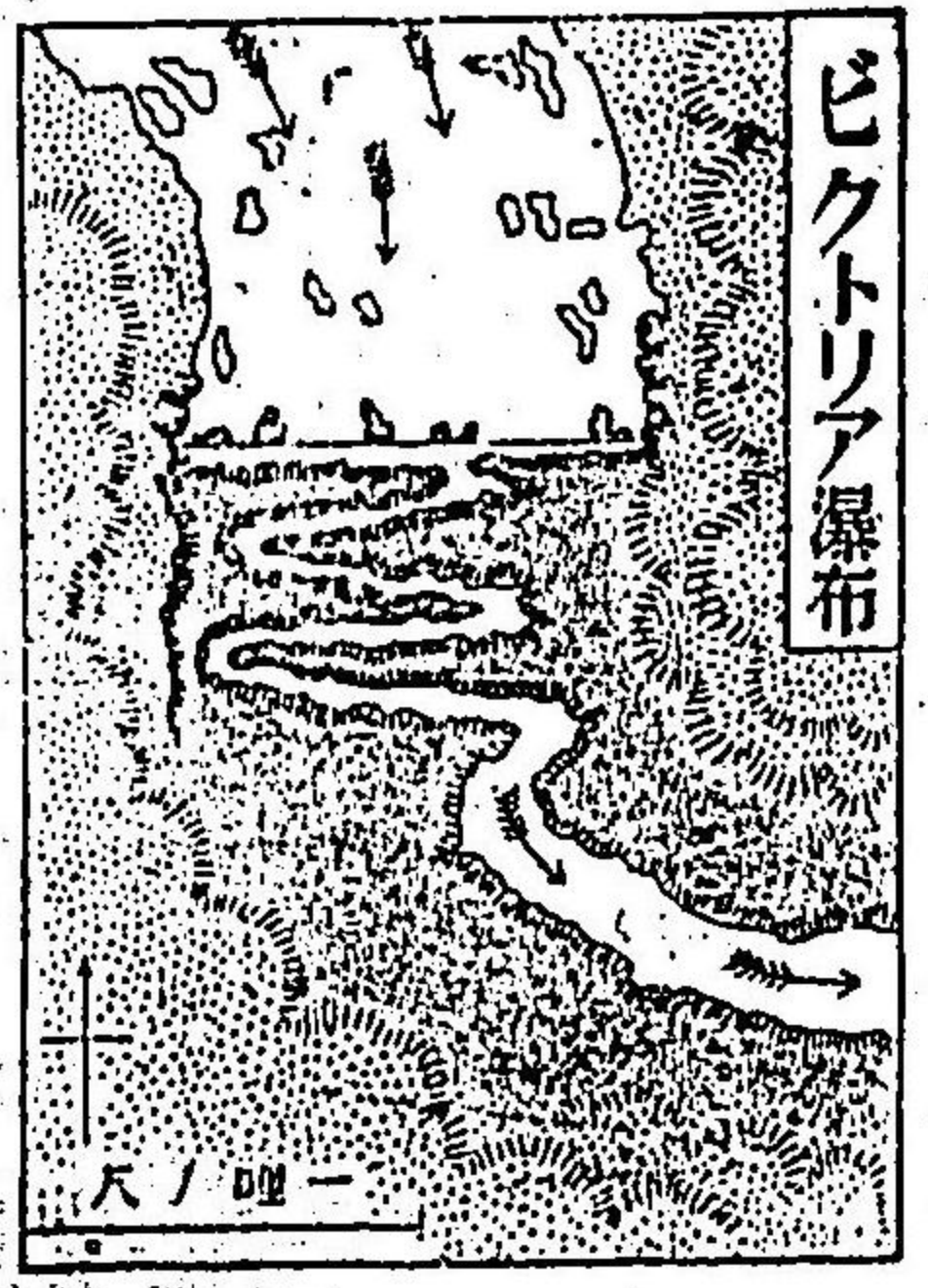
一、位置。東南、西の三面共に海に面せり。西部は重もにドイツに屬し、其他は盡くイギリスに屬す。

一 イギリス領

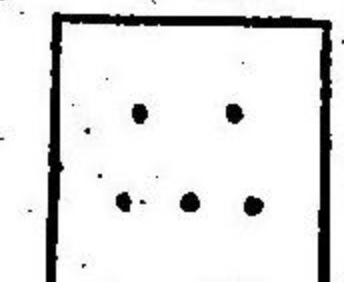
一、イギリス領中央アフリカ。 ユニョ獨立國の南ザンベジ河の北にある大方土なり。

二、ローデシア。 イギリス領中央

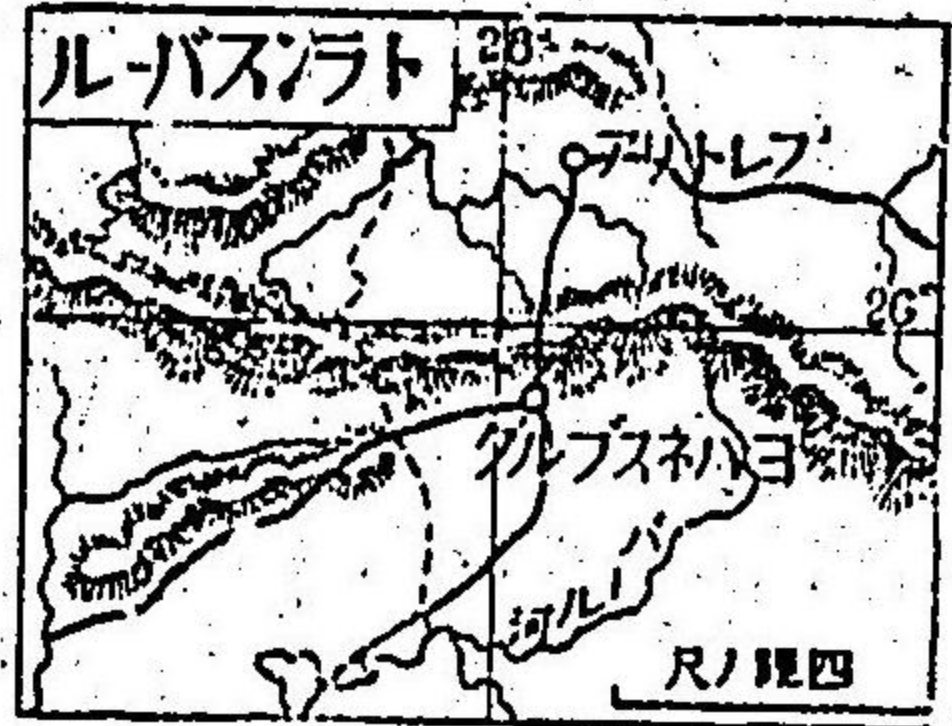
アフリカの南、即ちザムベジ河の南にあり。ザムベジ河の中流にビクトリア瀑布あり、アメリカのナイガラに次で世界第二の瀑布とす。



面積二万方里
人口一百万
方里一
里一
口人

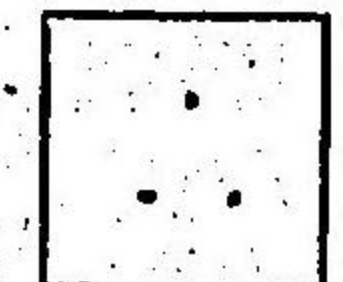


人十點一每



三、トランスバール植民地。　ローデシアの南、**バール河**の北にあり、トランスバールとは「バール河を超えたる地」の義なり。オランダ移住民の建てたる共和国なりしが、近年イギリスと戦ひ、久しく奮闘したれども、遂に敗れて、國亡び、イギリスの植民地となれり。氣候溫和にして、農業及び牧畜に適ひ、又黄金の産出多きこと世界第一と稱へらる。首府を**プレトリア**と云ふ。

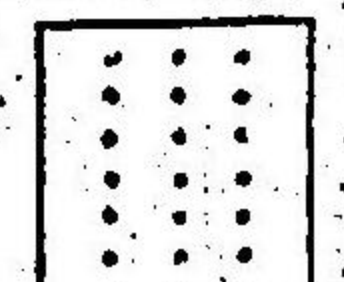
面積八千方里
人口二十五萬
方里一
里一
口人



人十點一每

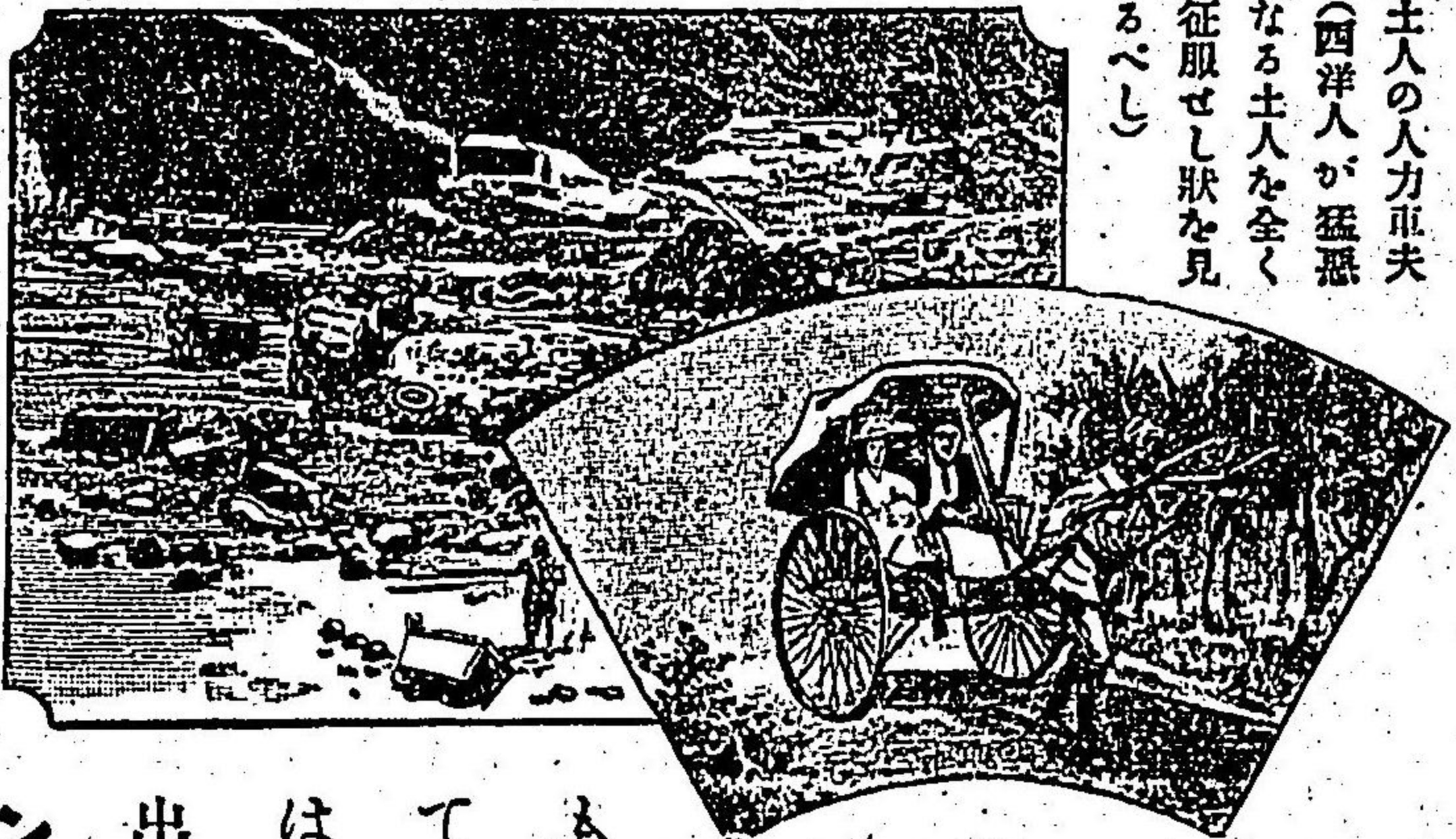
四、オレンジ河植民地。　トランスバールの南、オレンジ河の北にあり。**オレンジ自由國**と稱へ、オランダ移住民の建てたる共和国なりしが、兄弟國トランスバールと同盟してイギリスと戦ひ、戦敗れて、國亡び、イギリスの植民地となる。

面積六千方里
人口一百万
方里一
里一
口人



人十點一每

主人の人力車夫
(西洋人が猛烈なる土人を全く征服せし状を見るべし)



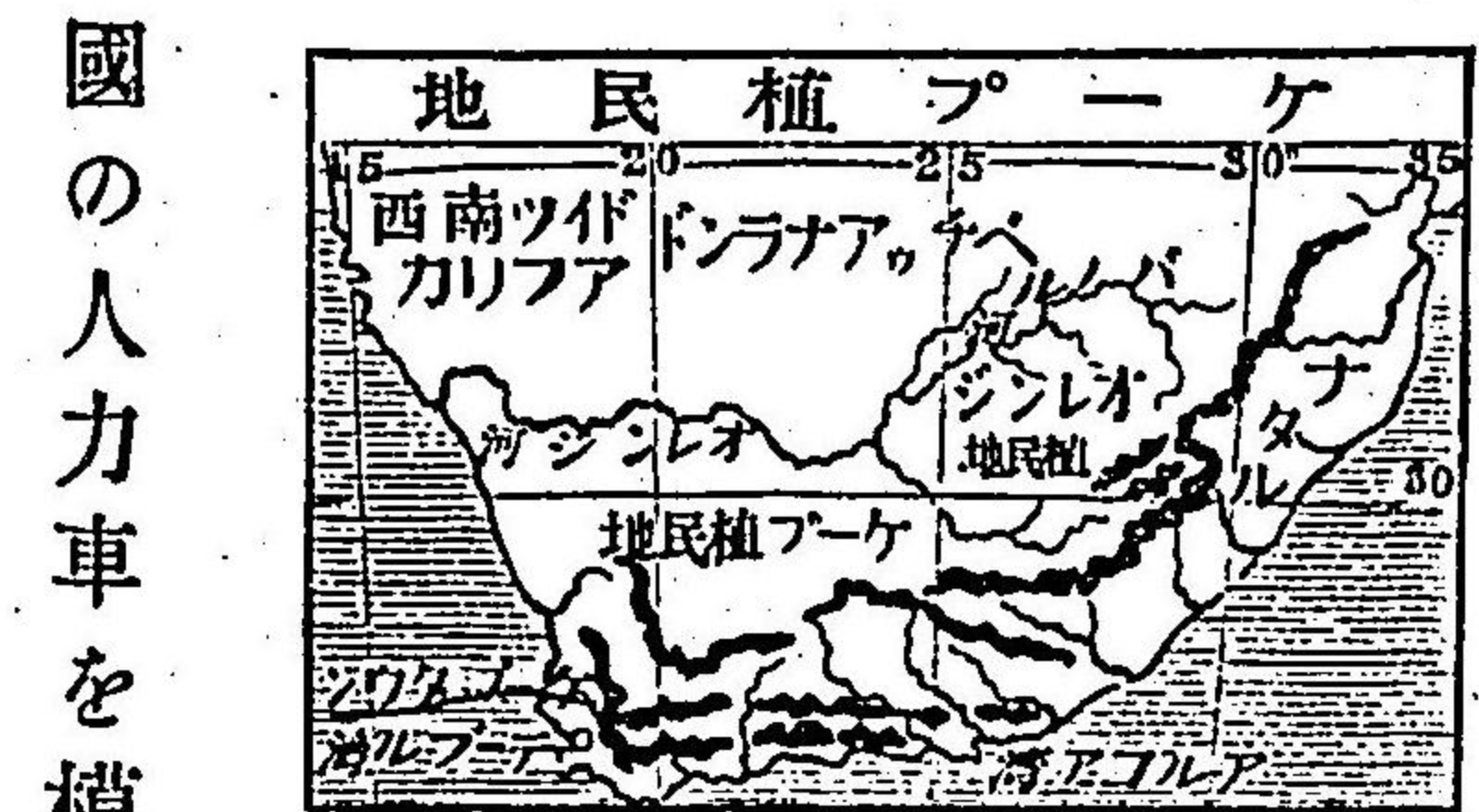
キンバリー金剛石坑

五、ナタル。　オレンジ河植民地の東にあり。インド洋に面し、良港もあり且つ、氣候溫和にして農業及び牧畜に適へば、移住民日々に増加せり。

六、ケープ植民地。　アフリカ洲の南端にあり。住民はイギリス人及びオランダ人の子孫多く、本洲中、最も開化せる地方なり。氣候溫和にして、農業、牧畜及び駝鳥の飼養盛んに行はれ、多く羊毛、獸革及び駝鳥の羽を輸出す。又金、金剛石などを多く産し、**キンバリー**の金剛石坑は、世界第一の

キンバリー

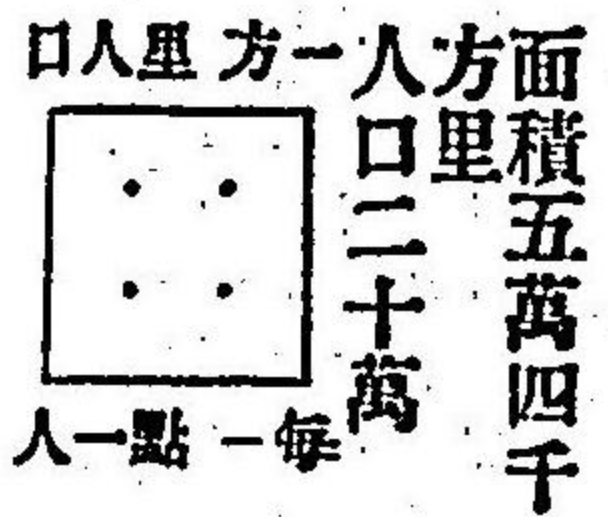
稱あり。首府**ケープタウン**は、CAPE TOWNアフリカ洲の南端に位し、船舶交通の衝路にあれば、重要なる開港場なり。



ケープの植民地たるや、地位は要衝にあり、氣候は西洋人に適ひ、西洋人は最も多きを以て、アフリカに於けるイギリス領の最も重要なるものとなる。此の地方にては、我國の人力車を模製し、土人を車夫となす風行はる。

二 ドイツ領

イギリス領の西にあり。西は一體に大西洋に面し、アフリカ洲の南西に位するを以て、**ドイツ領南西アフリカ**の稱あり。面積我國に二倍半し、住民は重もに牧畜を業とす。



第六章 西アフリカ (WEST AFRICA)

一 位置。アフリカ洲の西にありて、大西洋に面する弓形の大方土を總稱す。

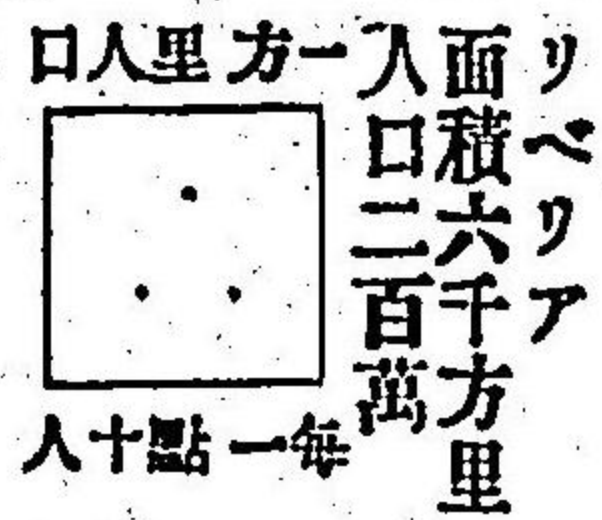
一 セネガンビア (SENEGAMBIA)

サハラ大沙漠の南西、**セネガル河**及び**ガンビア河**の灌域地方を云ふ。大概フランスに屬し、其の間にイギリス領及びポルトガル領をも交ゆ。椰子油、ゴム、象牙の類を産す。

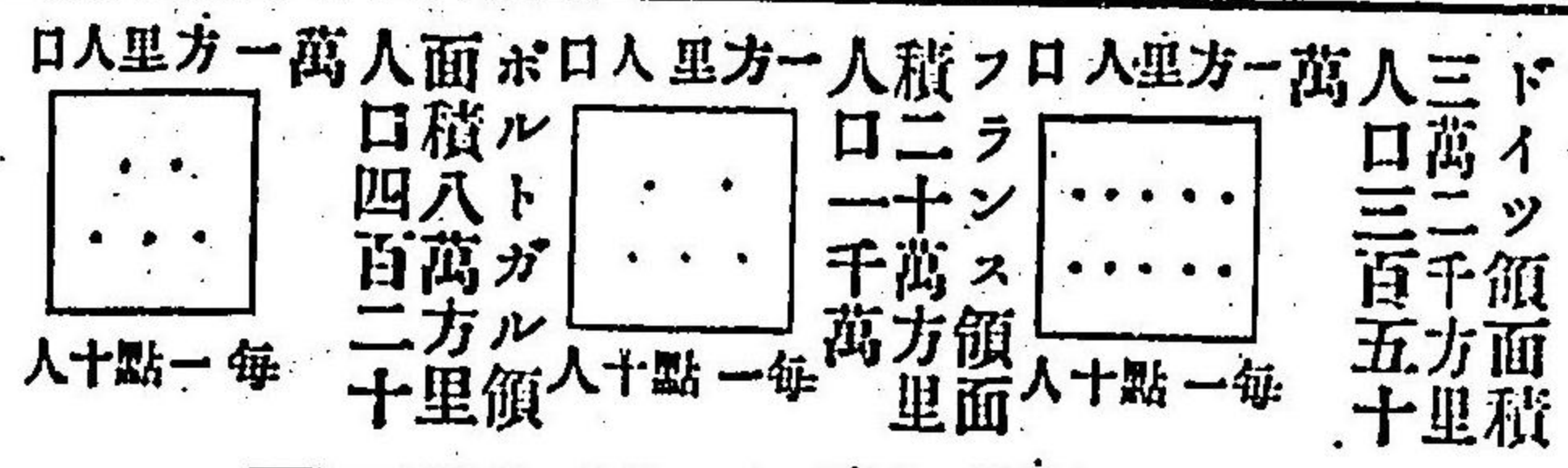
二 上ギネア (UPPER GUINEA)

セネガンビアの南東に當り、南に**ギネア灣**(大西洋)を受けたる地方を總稱す。

一 **リベリア**。元とアメリカ合衆國植民會社が、同國にて



アフリカ洲 西アフリカ セネガンビア 上ギネア リベリア 二五



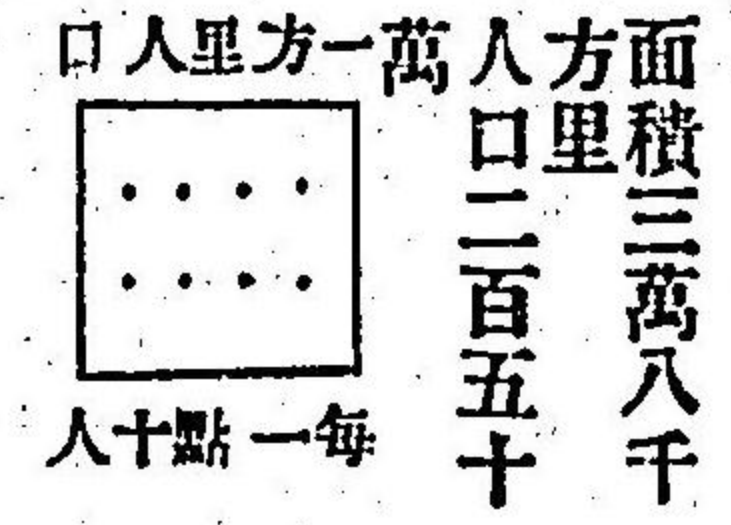
解放されたる黒奴を此の地方に移住せしめ、以て創立せし
 黒人共和國なり。國勢は當初の豫期と違ひ、遂に振はず。
 ニ、リベリア以東。イギリス、フランス及びドイツの三國
 に分屬す。ニ、ニギル河は、アフリカ洲第三の大河にして、中流
 以下の灌域はイギリスに屬し、椰子油、ゴム、象牙を産す。
 三、下ギネア (LOWER GUINEA)
 ギネア灣の東岸を總稱す。

北部は、カメルンと稱へ、ドイツの保護國
 なり。中部は、コンゴ河に至るまでをフ
 ランス領コンゴと稱へ、フランスに屬せ
 り。南部即ちコンゴ河口の南はアンゴ
 ラと稱へ、ポルトガルに屬す。

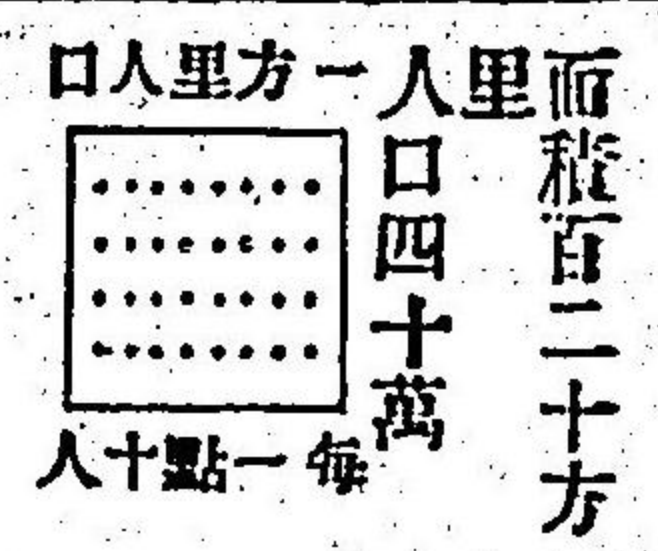
第七章 アフリカ洲の島

一 東岸の諸島 (インド洋中)

一、マダガスカル。アフリカ洲第一の大島にして、又世界
 に於ける第三の大島なり、面積は我國の全面積に更に本州
 を加へたるものと殆んど同じ。住民は、マライ人種及び雜



種より成り、マライ種中のホバ民
 族は、政治上及び社會上に最も勢
 力あり、農業及び牧畜を業とす。
 内地は森林及び鑛物に富めり。
 元と獨立の王國なりしが、明治二
 十六年、フランスの領地となる。



二、**モーリチウス**。マダガスカルの東にありて、イギリスに屬す。一小島なれども、砂糖の産出甚だ多く、**住民**は、黑人、東インド人、支那人及び白人より成り、人口は殊に稠密なり。物産多く、人口も多ければ、本國より大守を駐在せしむ。

二 西岸の諸島(大西洋中)

一、**カナリア諸島**。イスパニアに國し、かなりや鳥の原產地として世に知らる。火山島にして、最高點**テネリフェ山**は、

其の形も高も我が富士山と略同じく、其の舊火口は、我が阿蘇山と一二を争ふ世界の大火口なり。

二、**セント・ヘレナ**。大西洋中の一孤島にして、イギリスに屬し、ナポレオン第一世の配所且つ死所として、其の名最も世に知らる。



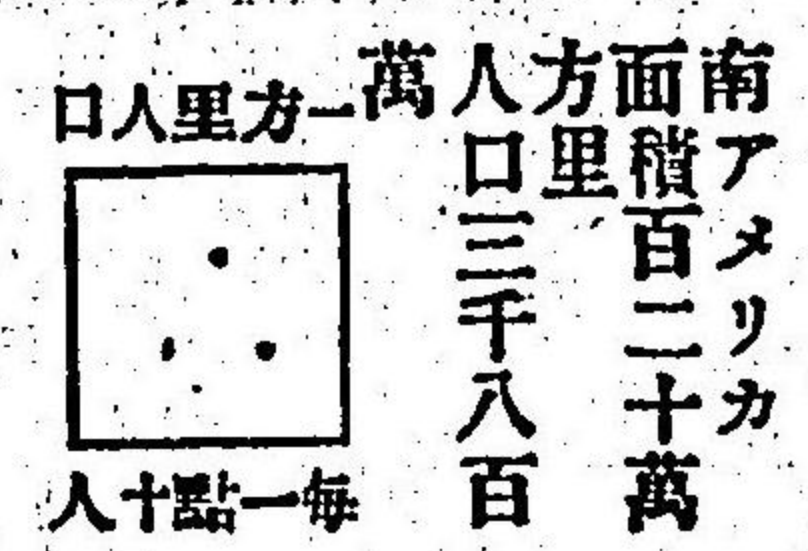
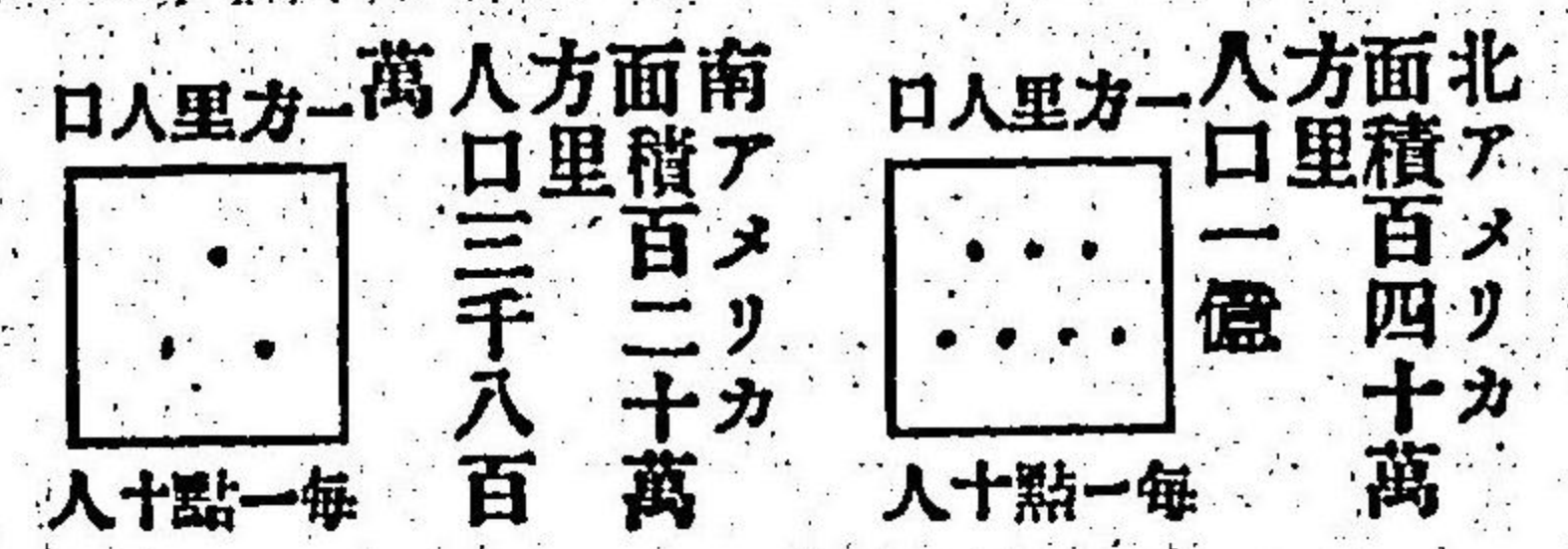
第五編 アメリカ洲

第一章 總説

第一節 地文

一、**位置**。西半球の大陸なり、『新世界』と稱ふ。北は北氷洋、東は大西洋、南は南極洋、西は大平洋に面し、北西端はベーリング海峽を隔て、近くアジア洲に對す。中間なる**パナマ地峽**より北を**北アメリカ**と云ひ、南を**南アメリカ**と云ふ。面積。北アメリカは、百四十萬方里、即ちアジア洲の半よりも小なり。南アメリカは、百二十萬方里あり。

二、**地勢**。海岸。北アメリカは、北方及び東方の海岸に入多く、島嶼も多しと雖も、西岸は、出入割合に少し。即ち北



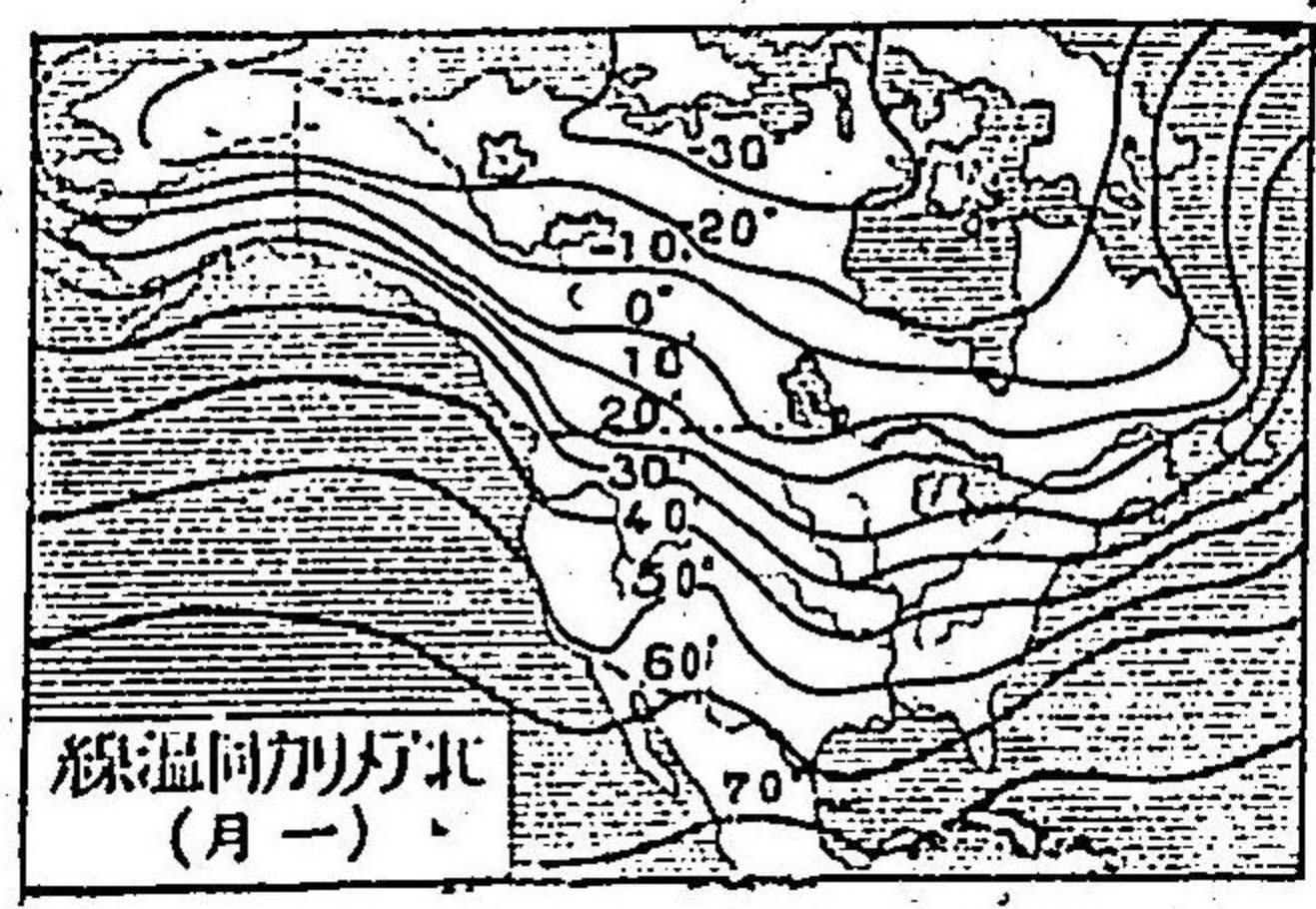
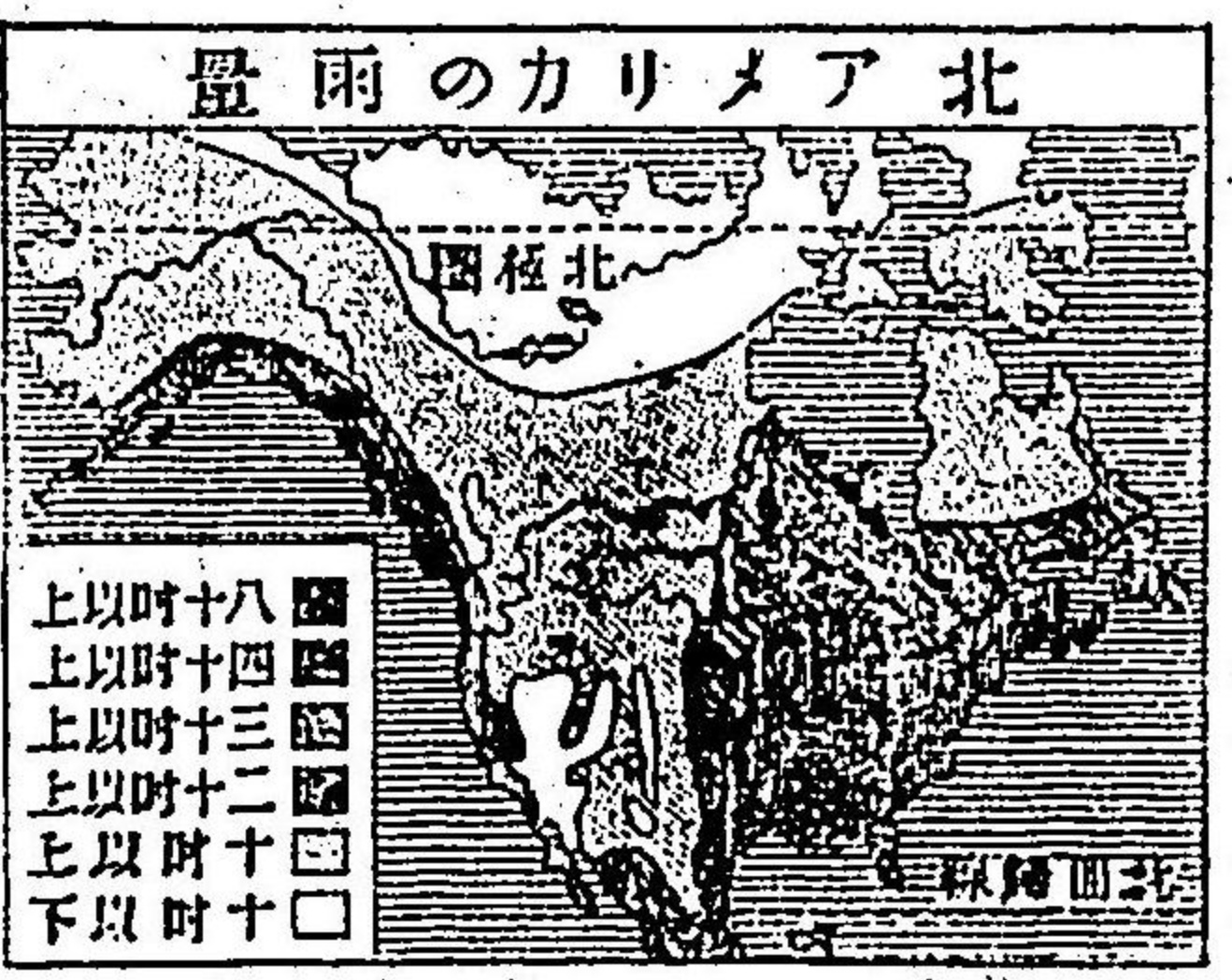
方には、**アラスカ半島**、**ハドソン湾**など出入し、北極洋の内外には、**グリーンランド**を初め、大小の島嶼散在し、又東方即ち大西洋岸は、出入殊に多く、其の南端に、**フロリダ**突出して**メキシコ湾**を抱き、傍に**西インド諸島**点在せり。されども西方即ち大平洋岸には、北半に島嶼点在すれども、南半にはこれをせず、又**下カリフォルニア半島**の外には大出入なし。南アメリカは、単調の直角三角形をなし、海岸の出入少し。山系。アメリカ大陸の西岸には、高さ山脈、大平洋に並行し、大陸の北端より南端まで連れり、北アメリカにては、これを**ロッキー山脈**と云ひ、南アメリカにては、**アンデス山脈**と云ふ。北アメリカにては、西部に**ロッキー山脈**と併行せる他の山脈連亘すれども、南アメリカにては、西部に**アンデス**の外には

他の山脈を見ず。南北アメリカ共に、東部は、西部に比ぶれば、山脈少く且つ低し、唯だ東部には、北アメリカに**アレガニ**山脈あり、南アメリカに**ブラジル高原**あるのみ。水系地勢。北アメリカにては、東部に**アレガニ**山脈連なり、西部には**ロッキー**などの大山脈聳え、而かも南は**メキシコ湾**に向ひて地勢低下すれば、東部及び西部の兩山地より發する水は、大陸の中央に集合して、世界第一の大河たる**ミシッピ**となり、南に下りて**メキシコ湾**に入る。されば北アメリカの地勢は、(一)東部、即ち大西洋の高地、(二)中部、即ち**ミシッピの大平原**、(三)西部、即ち大平洋の高地の三大部より成れり。

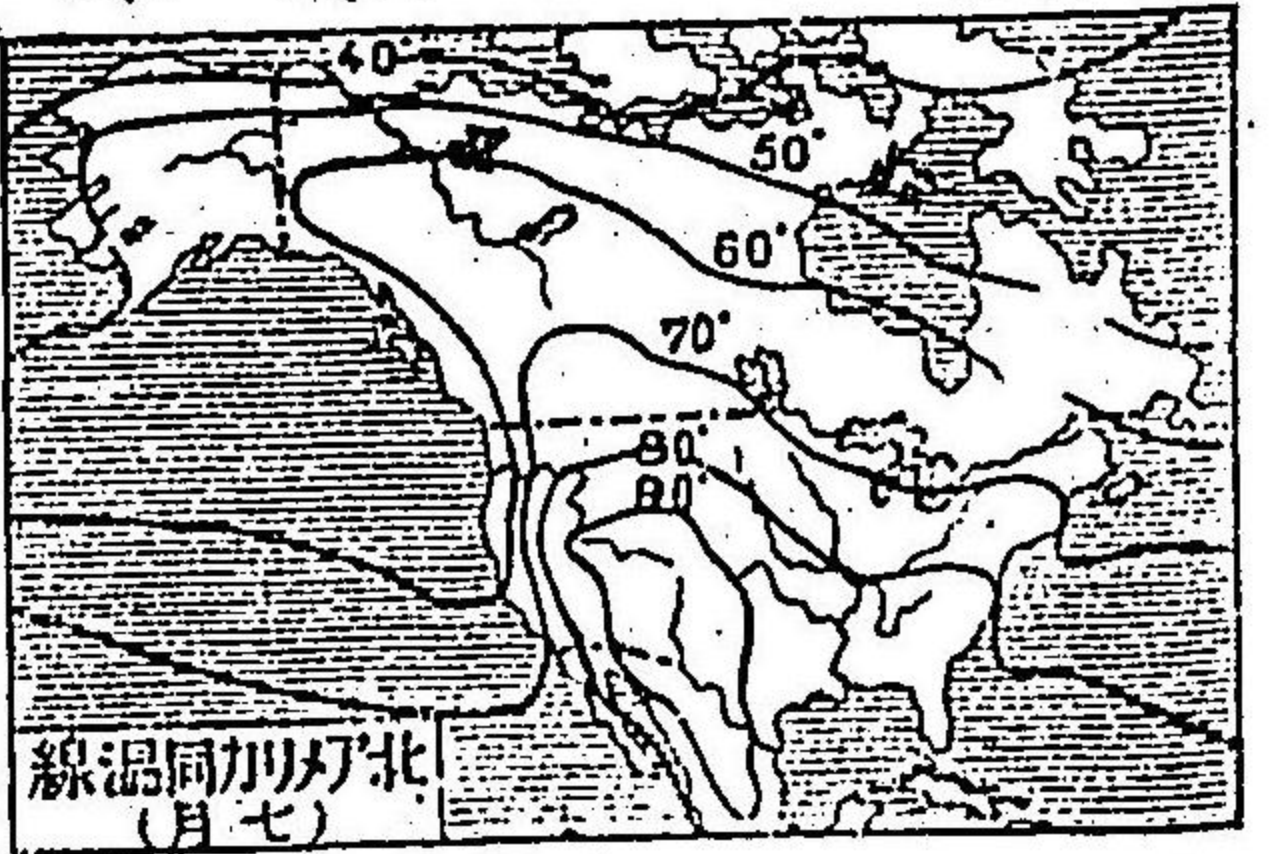


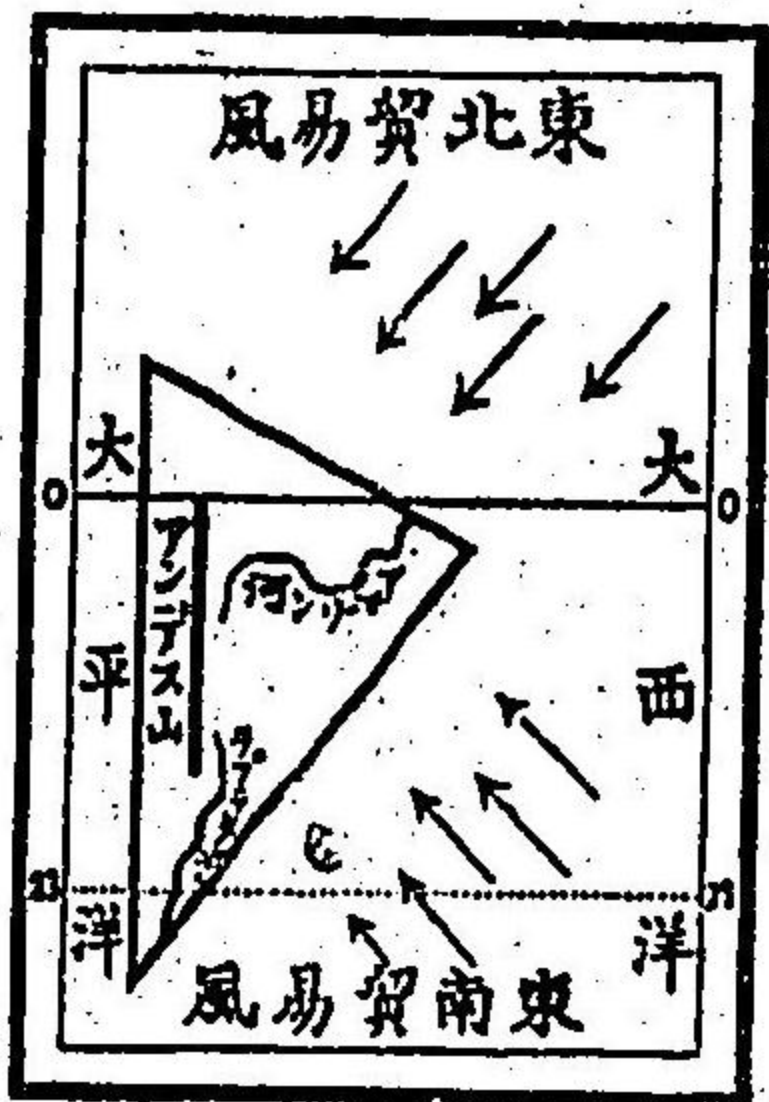
南アメリカにては、西部、即ち大平洋岸にアンデス山脈連なり、地勢東及び南に低下するを以て、アマゾン河は、此の山脈より發し、東流して、大西洋に入り、世界第立の大河となる。ラプラタ河も此の山脈より發し、南流して大西洋に入る。さればアマゾン河とラプラタ河とは、**Γ**形をなすを以て、南アメリカにては、**Γ**形の大平原連れり。

湖系。 北アメリカの如く大なる湖の多き處は、他の大洲に見ざる所なり。中央より北西に向ひて大湖系あり、又中央より東にも更に大なる湖系ありて、五大湖より成り、其の最大なるものスペリオル湖は、世界に於ける最大の淡水量を有つ、其の**オンタリオ湖**と**エリー湖**との間に、世界第一の壯觀たる**ナイアガラ瀑布**落つ。南アメリカには大湖なし。

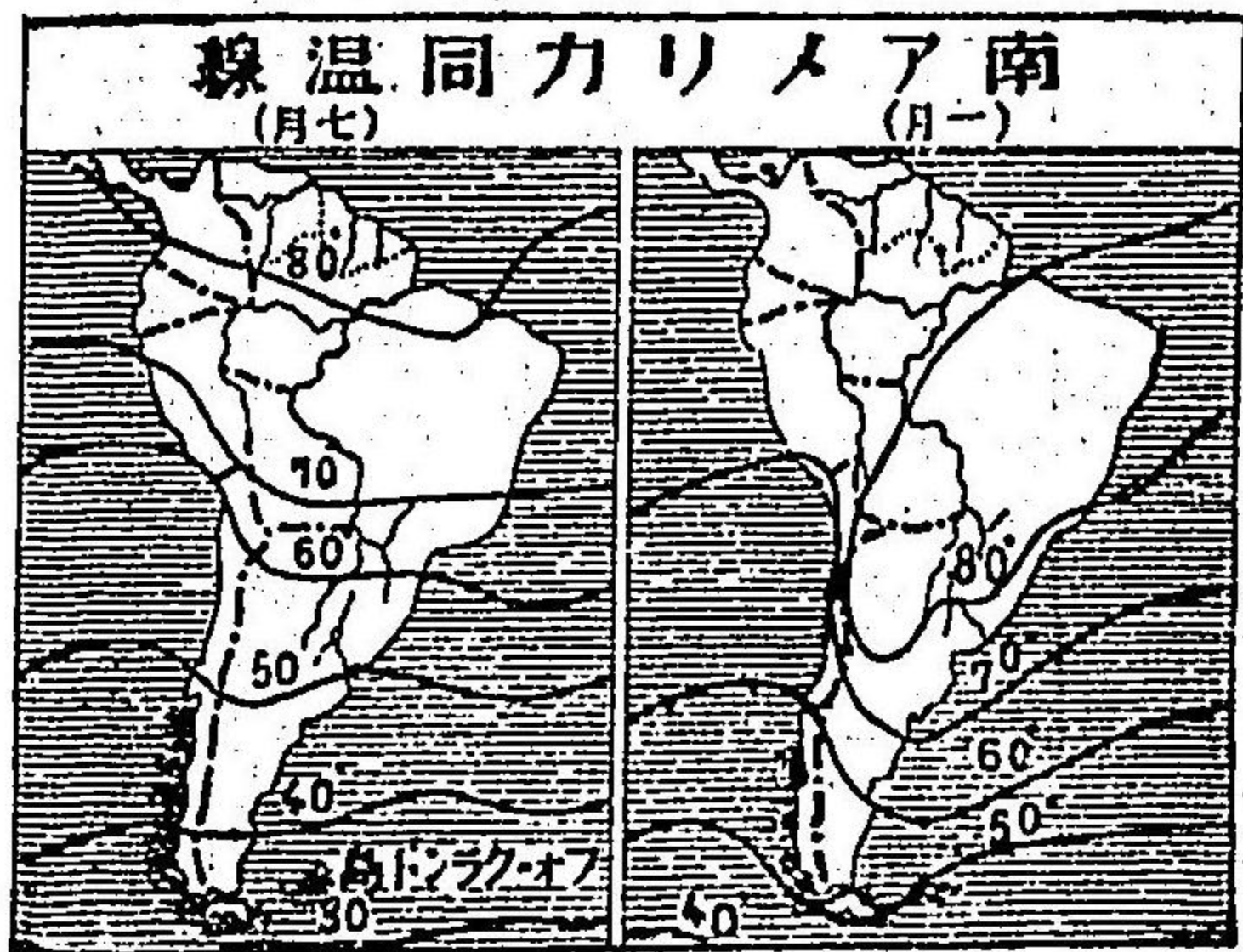


三、氣候、産物。 アメリカは、南北に甚だ長く、北は北寒帯に入り、南は南寒帯に近し、されば**氣候、物産**共に一様ならず。北アメリカの北部は、寒海流の流るゝを以て、氣候殊に寒く、白熊、臘虎などを産し、中部は溫暖なれば、農産の豊かなること世界第一にして、小麦、玉蜀黍、馬鈴薯の類を産す。西海岸は、大平洋の暖海流と南風との





感化に依り、東海岸よりも温暖なり。南部及び**メキシコ灣**地方は、暖海流の流るゝを以て、雨多く、暖熱にして、綿、烟草、米を産す。雨量は概して海岸に多し、内陸に赴くに随ひ減少す、又海岸にては、東海岸は西海岸よりも雨多し。



南アメリカの北部は、赤道に近きを以て炎熱に、南部は、南極圏に近きを以て寒冷なり。されども大部分は熱帯にあるを以て、蒸發氣多きが上に、東北貿易風は、直角三角形なる此の大陸の一邊に吹き來り、東南貿易風も亦他の一

邊に吹き來り、兩貿易風は大西洋より多量の水分を携帶し、大陸の低平なる部分を吹き透して、西岸のアンデス山脈まで達するを以て、アンデス山脈は雨量多く、アマゾンの大河物山中より發し、**アマゾン**の大灌域は、熱と水分とに依り、生物の發育強烈にして、人跡の至らざる森林連なり、幾那皮、護謨、染料木を産し、又大蛇、鱔魚及び羽毛の鮮麗なる鳥多し。又アンデスの高地には、他洲に於て見ざる半駝あり、其の毛はアルマカ羅紗の原料となる。アンデス山西は、雨少く、地味瘦せ居れば、生物甚だ少し。ラ・プラタ河の南には、**パンパス**と稱ふる、廣大なる草原連なり、野生の牛馬無數に繁殖す。兩アメリカ共に、西岸の山中には、金、銀、銅、鐵、石炭など多し。

第二節 人文



一、住民。人口は、北アメリカに一億、南アメリカに三千八百萬あり。元來の土人は、銅色人種にして、インヂアン人INDIANと呼ぶものなれども、白人種WHITEの増加と共に年々に減少し、北アメリカにては殊に少數となれり。されども南アメリカにては、未だ多數にして、土人と白人種との混合種も亦少からず。又兩アメリカ共に、奴隸として輸入したるアフリカの黒人種も甚だ多し。

人情、宗教。國勢上、全體を統治するは白色人種なり。メキシコ以北(アメリカ合衆國及びカナダ)には、チワートン民族TEUTONたるイギリス人の子孫最も多きを以て、人情は勤儉、企業心に富み、農業、商工業共に盛んなり、又基督新教を奉じ、教育は普及し、政治上の變化甚だ少く、日進月就の勢あり。これに反し、メキシコ以南(中央アメリカの五共和國、南アメリカの十共和國)には、ブラジルを除くの外、イスパニア人の子孫最も多く、ブラジルは、ポルトガル人の子孫最も多きを以て、共に其の祖先はラテン民族LATINなれば、是等諸國の人情は、浮華輕薄にして、農業、商工業共に未だ發達せず、基督舊教を奉じ、教育も普及せず、政治上には革命相次ぎ、國勢甚だ揚らず。要するにメキシコ以北をチワートン民族の地となし、以南を

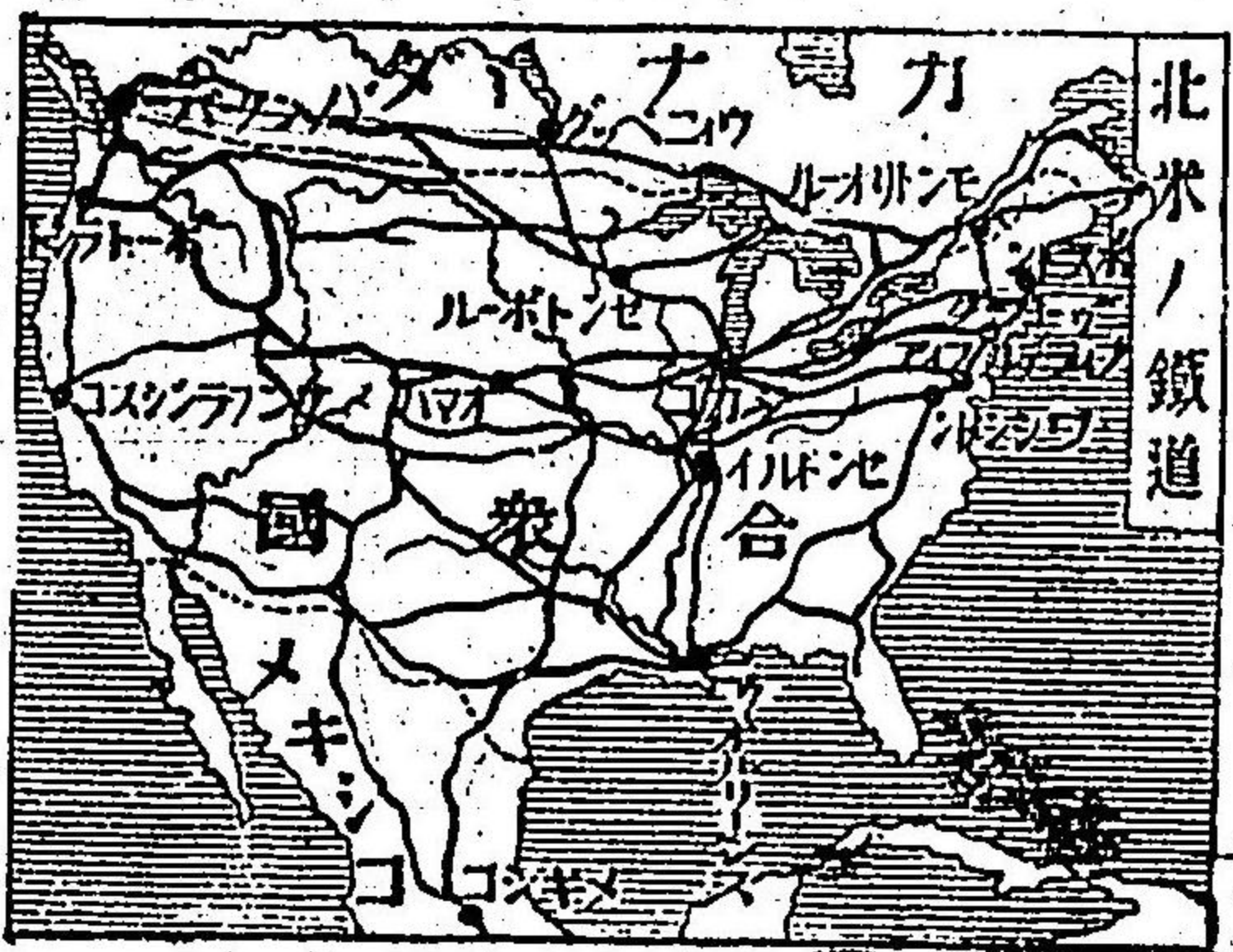
ラテン民族の地となし、以て諸事を判断すれば、南北アメリカ諸國の形勢は、一概に解するを得べし。

二、政治。 アメリカの十六國は、いづれも共和政體なり。

舊世界には君主國多しと雖も、新世界にありて新創の國々なれば、自ら共和政體を採るものなり。アメリカの内にはイギリス、フランスなどの領地もあり。

三、交通。 山地よりも平地多く、又平地の間には大河縦横に流るゝを以て、交通便利なり。此等の河の口は港となり、大船を出入せしむ。

鐵道。 北アメリカには、鐵道最も能く發達せり。東の方大西洋と西の方大



平洋とを連絡する(一)カナダ大平洋鐵道(二)北大平洋鐵道(三)

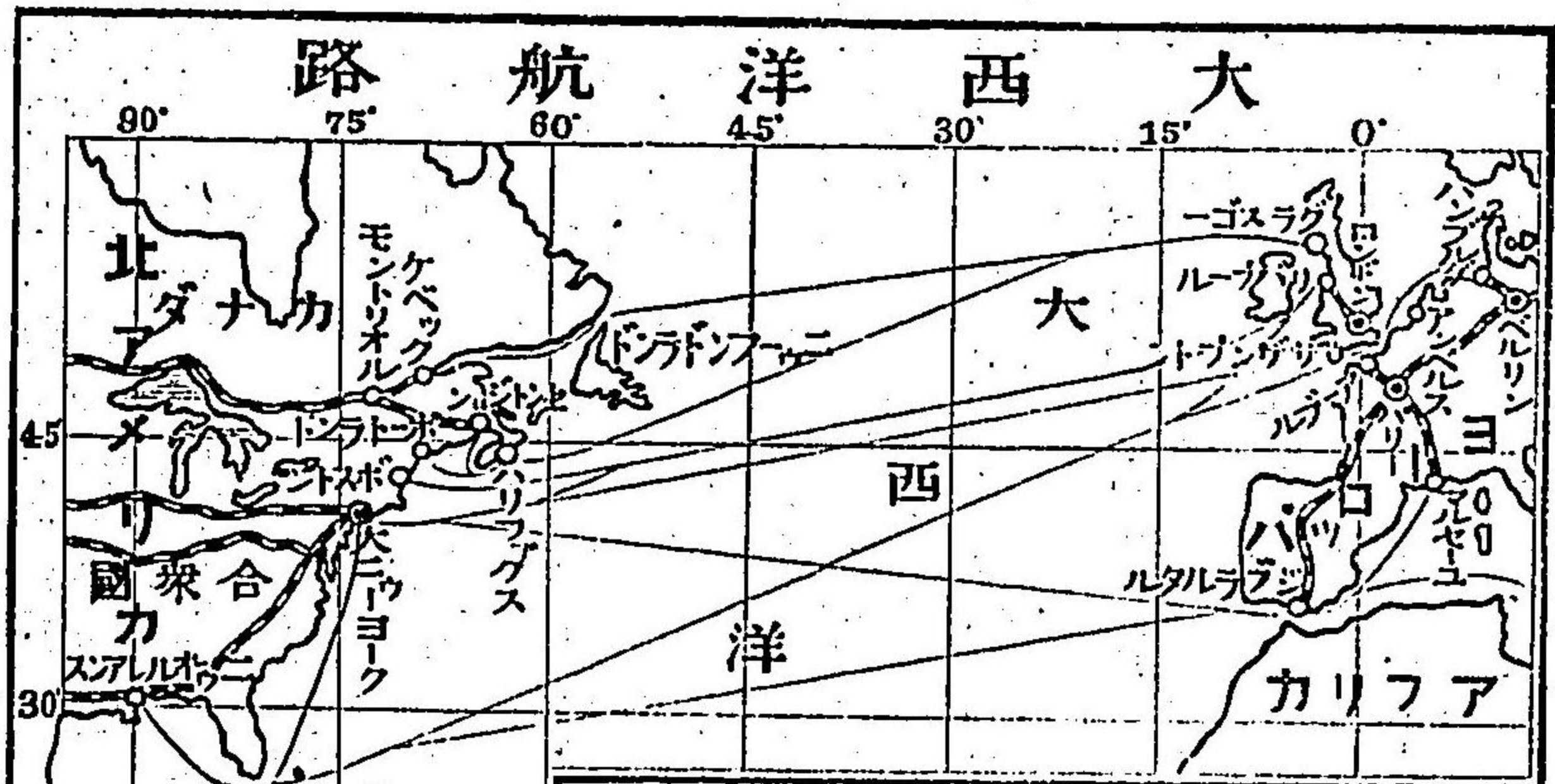
中央大平洋鐵道(四)南大平洋鐵道の四大鐵道線あり。



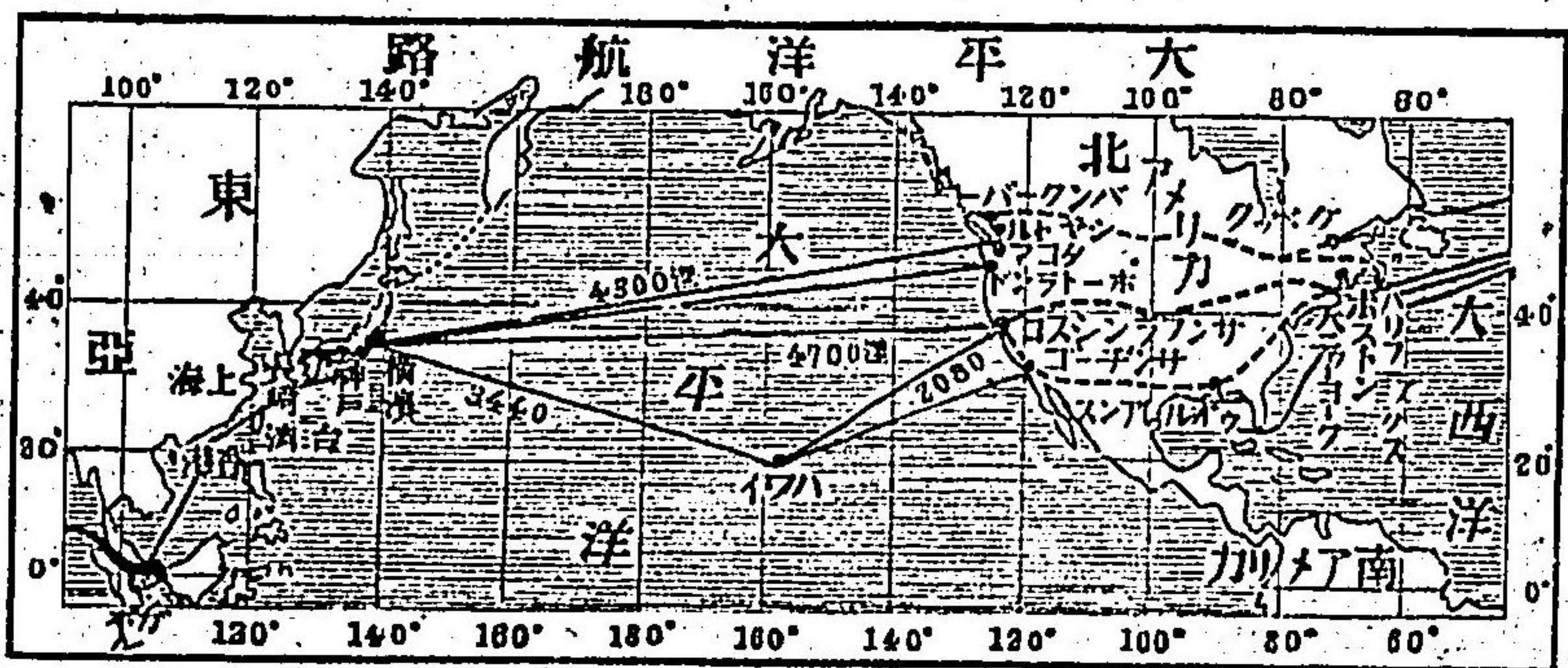
南アメリカにては、鐵道未だ北アメリカの如くに發達せず。大概の鐵道は、アンデス山脈の兩側にて止み、能く山脈を横斷して大西洋と大平洋とを連絡するものとは、南の方地形の狹まる處に一條あるのみ。

電信。 陸上の電信線は殊に能く發達せり。海底電信は、

大西洋中、即ち北アメリカとヨーロッパとの間に十條、南アメリカとヨーロッパとの間に一條沈設せり。又大平洋には、北アメリカとオーストラリアとの間に一條あり、北アメリカよりハワイを経て、マニラに至る一條も近く沈設せり。



航路。大西洋面
大平洋面共に甚
だ發達せり。我
が日本郵船會社
及び東洋汽船會
社は、北アメリカ
の大平洋岸と日
本支那
との間
に定期
航海を
開通す。

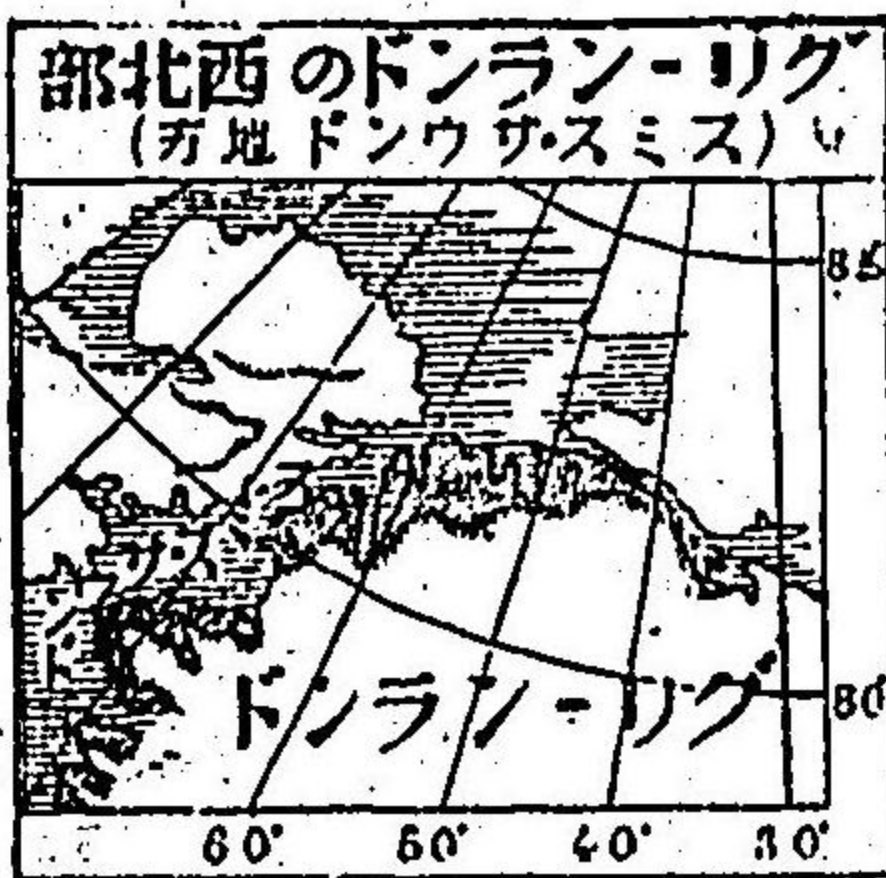


第二章 北アメリカ (NORTH AMERICA)

第一節 北部

一 グリーンランド (GREENLAND)

グリーンランドは、北アメリカ大陸の北東にあり。面積我國に三倍半し、世界第一の大島なり。南部を除くの外、北極圏内にあるを以て、氣候極めて寒冷にして、内部は、人跡至らず、沿海は夏期を除くの外、凍氷して、氷山聳え、海陸共に人生に適はざることなれば、人口少く、沿岸にエスキモー土人の散在するのみ。デンマークに屬す



面積五十萬方
里
人口六百萬
一人一里方
每點一人

二 カナダ (CANADA)

一、位置。北アメリカ大陸の北部、即ち全大陸の三分の二を占むる大方土なり。北は北氷洋、東は大西洋、西は大平洋に面し、南はアメリカ合衆國に界す。

面積。殆どヨーロッパと同しく、我國に二十一倍せり。

二、地勢。山系。北アメリカの北部全體を占むるを以て、同大陸の一般の地勢の如く、(一)東部、即ち大西洋の高地、(二)中部の大平原、(三)西部、即ち大平洋の高地の三大部より成る。大平洋岸には、高山連なり、合衆國領アラスカとの境上に聳ゆるセントエリアス山は、高サ殆ど二萬尺、北アメリカ第一の高山とす。

水系。大なる河湖甚だ多し。されども、是等の河湖は、北部

に偏するを以て、或は凍氷し、或は不毛の地を流れ、人生に利益とては少し。獨りセントローレンス河は南部に流れ、水量多く、大洋航行の汽船を上下せしめ、且つ冬期の一部分を除くの外は結氷せざるを以て、甚だ便利多し。

三、氣候。北部は地球上にて最も寒冷なる部分と稱へらる。されども南東部は溫和なり、又南西部には、近海に暖流の流るゝを以て、殊に溫和なり。

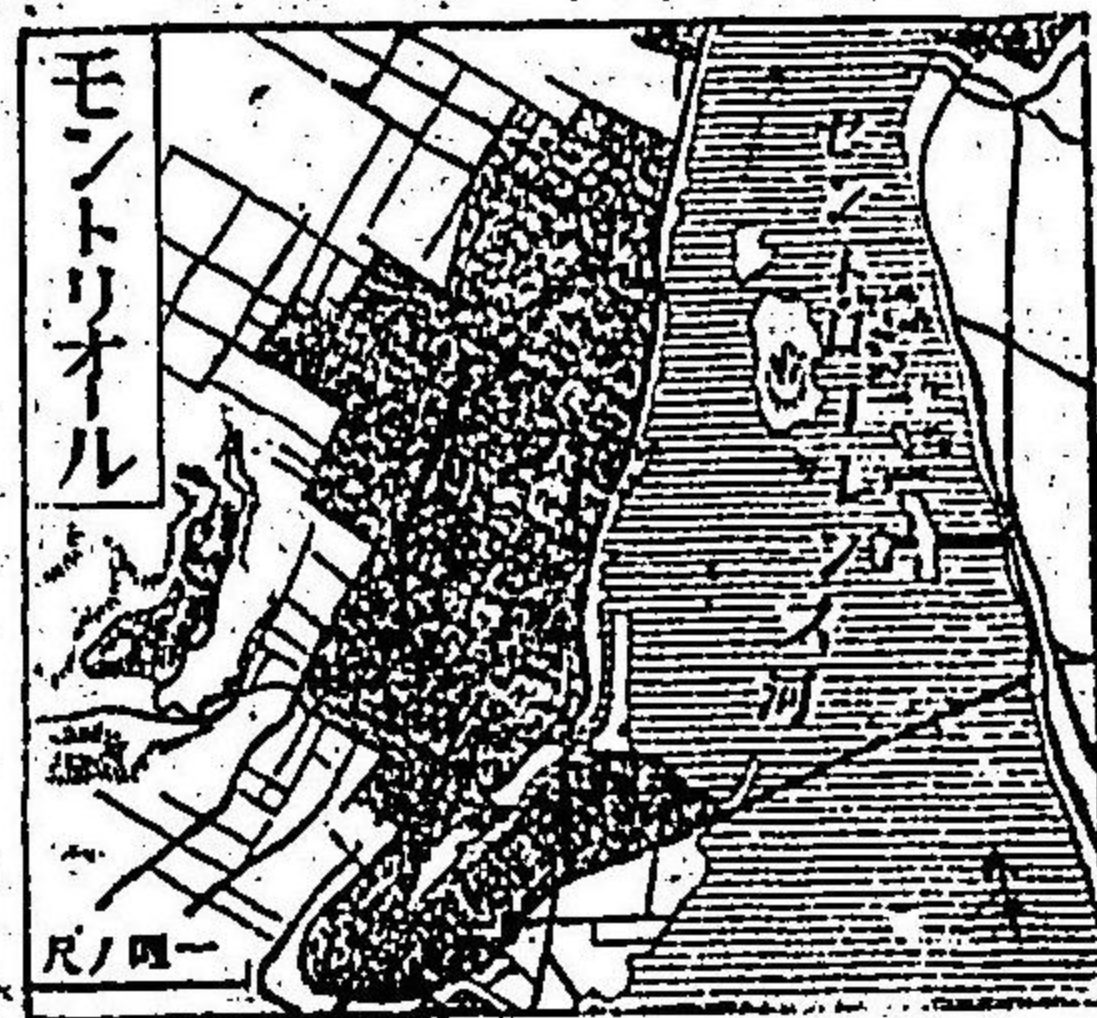
四、産物。北部は不毛なれども、洋上には臘虎などの貴重獸多く、南部は森林多く、伐採して四方に輸出し、世界の材木庫と稱へられ、我が國人の伐木事業に従事するものも少からず。南部は又農業盛んにして、多く麥類を産す。

大西洋岸、大平洋岸共に漁業盛んにして、大平洋岸の河口に

は、鮭殊に多く、我が國人の漁獲に従事するもの多し。
 鑛物。鑛物も多く産す。北西なる合衆國領アラスカとの
 境上、**クロンダイク**には莫大なる黄金鑛、近年發見せらる。
五、住民。 KLONDYKE 人口六百萬、我國に二十一倍する面積にして、人
 口は我が八分の一に過ぎず、人口の密度の疎にして、將來開
 拓すべき餘地の多きこと知るべし。
種族、宗教。 住民の五分の三は、**イギリス人の子孫**にして、餘
 は**フランス人の子孫**なり。イギリス人の子孫は、**基督新教**
 を奉じ、フランス人の子孫は**基督舊教**を奉ず。教育は普及
 し、大學は各州に建てり。人情は概するに勤儉なり。
六、政治。 イギリスの領土中、INDIA **インド**に次ぎて最も重要な
 るものなれば、本國より大總督を駐在せしむ。されども政

は、全く自治にして、上下兩院より成る議會を設く。
七、都會。 南東部と南西部とは、氣候溫和にして、農産物多
 く、海に近くして、大河も流れ、交通便利なれば、人口は此の兩
 部に偏し、隨て都會も此の兩部に偏せり。

南東部のオッタワ河に面する**オッタワ**は首府なり。其の東、
OTTAWA オッタワ河とセント、ローレンス河との
ST. LAWRENCE 合流點に當り、又大汽船のセント・ローレ
MONTREAL ンス河に於ける起點に當る**モントリオ
 ール**は、カナダ第一の都會にして、我が總
 領事館あり。
 北西部にして合衆國に最も近き處に一



良灣あり、**バンクーバー**、此の灣上に發達し、大西洋まで通ず

るカナダ大平洋鐵道の起點となり、カナダに於ける大平洋第一の都會となり、附近には我が國人の在留するもの甚だ多く、此市に日本領事館あり。バンクーバーの對岸なるビクトリアは、バンクーバーに次ぎ、カナダに於ける大平洋岸第二の都會にして、我が日本郵船會社の航路に當れり。

日本	カナダ	面積 (二方里)	人口	人口の密度 (二方里)	輸出入人口割 (四)	輸入人口割 (四)	陸軍 (戦時兵)	海軍 (戦艦數)	鐵道 (哩)	郵便人口割
二七,000,000	五,000,000	九,970,000	三〇,000,000	三	六	七	八〇萬	四〇,000	二〇,000	三
四,000,000	一,000,000	一,800	一,800	六	七	七	五〇,000	六	四,000	三

三 ニューファンドランド (NEWFOUNDLAND)

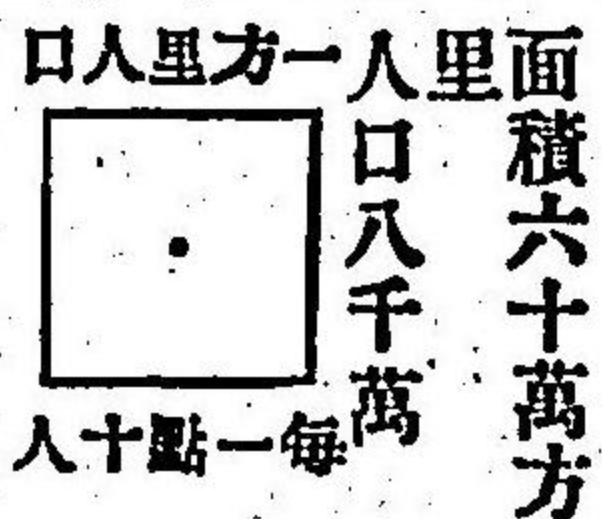
カナダの東、セント・ローレンス河口にある大島にして、面積は我が北海道に四國を加へたるものと同じ。寒流流れ、鱈甚だ多く、『世界三大漁場』の一と稱へられ、漁業最も盛んなり。



第二節 中部

一 アメリカ合衆國 (UNITED STATES OF AMERICA)

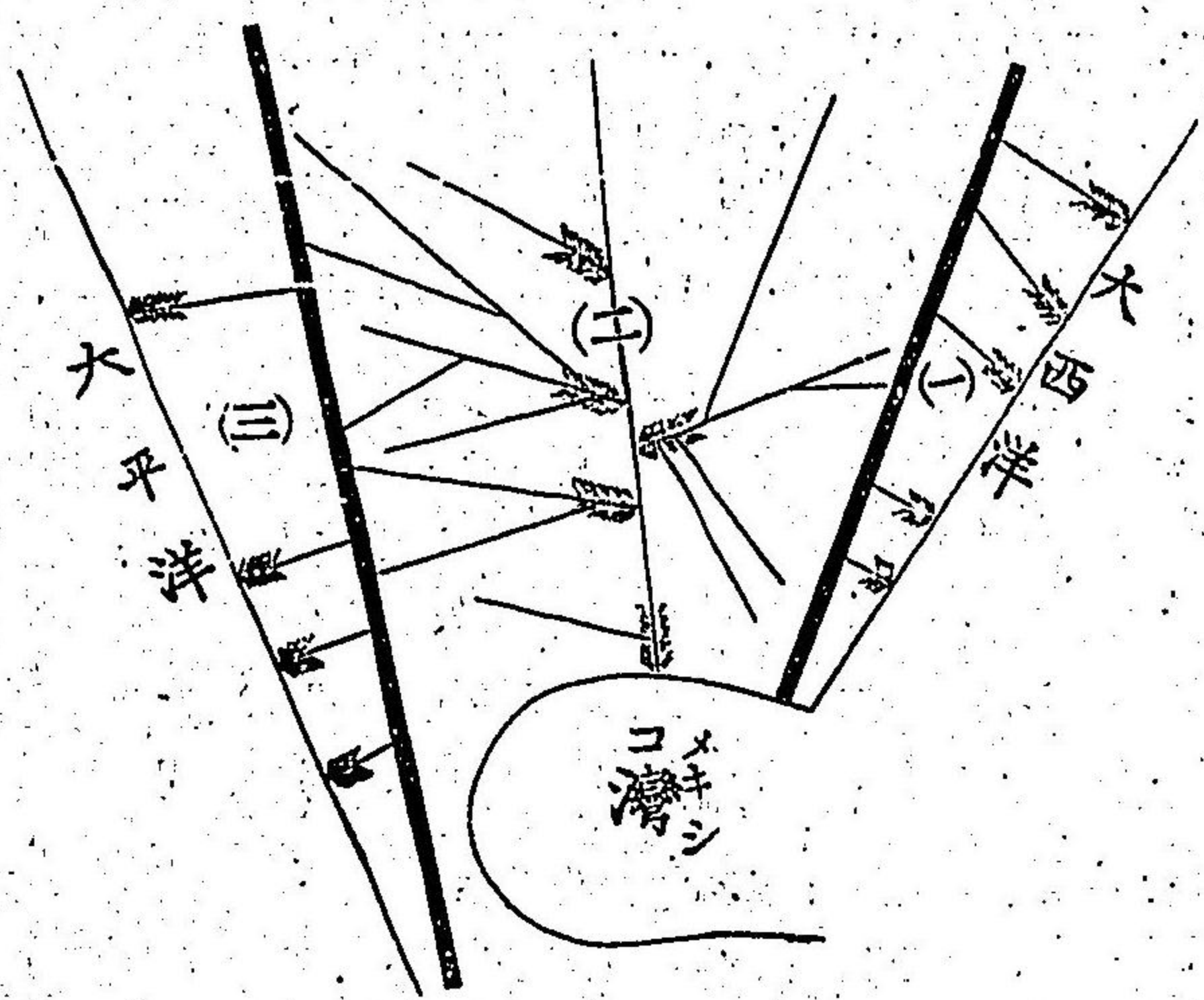
一、位置。北アメリカ大陸の中部に位し、同大陸の地形の膨脹し、且つ氣候の最も溫和なる部分を占め居れる富強の大國なれば、世に此國のみを『アメリカ』と呼ぶに至れり。境域。北はカナダ、南はメキシコに界し、東は大西洋、西は大平洋に面し、東の方遙かに我國と相對せり。



面積。北アメリカに於ける面積六十萬方里、我國に二十四倍し、カリフォルニアの一州にてすら我國よりも大なり。別に大平洋中の屬地二萬餘方里は、近年新に得たる處とす。

二、地勢。北アメリカの中部全體を占むるを以て、同大陸

の一般の地勢の如く、(一)東部、即ち大西洋の高地、(二)中部の大平原、(三)西部、即ち大太平洋の高地の三大部より成れり。



(三)大太平洋の高地にして、此等の山脈より發する諸河は、西に

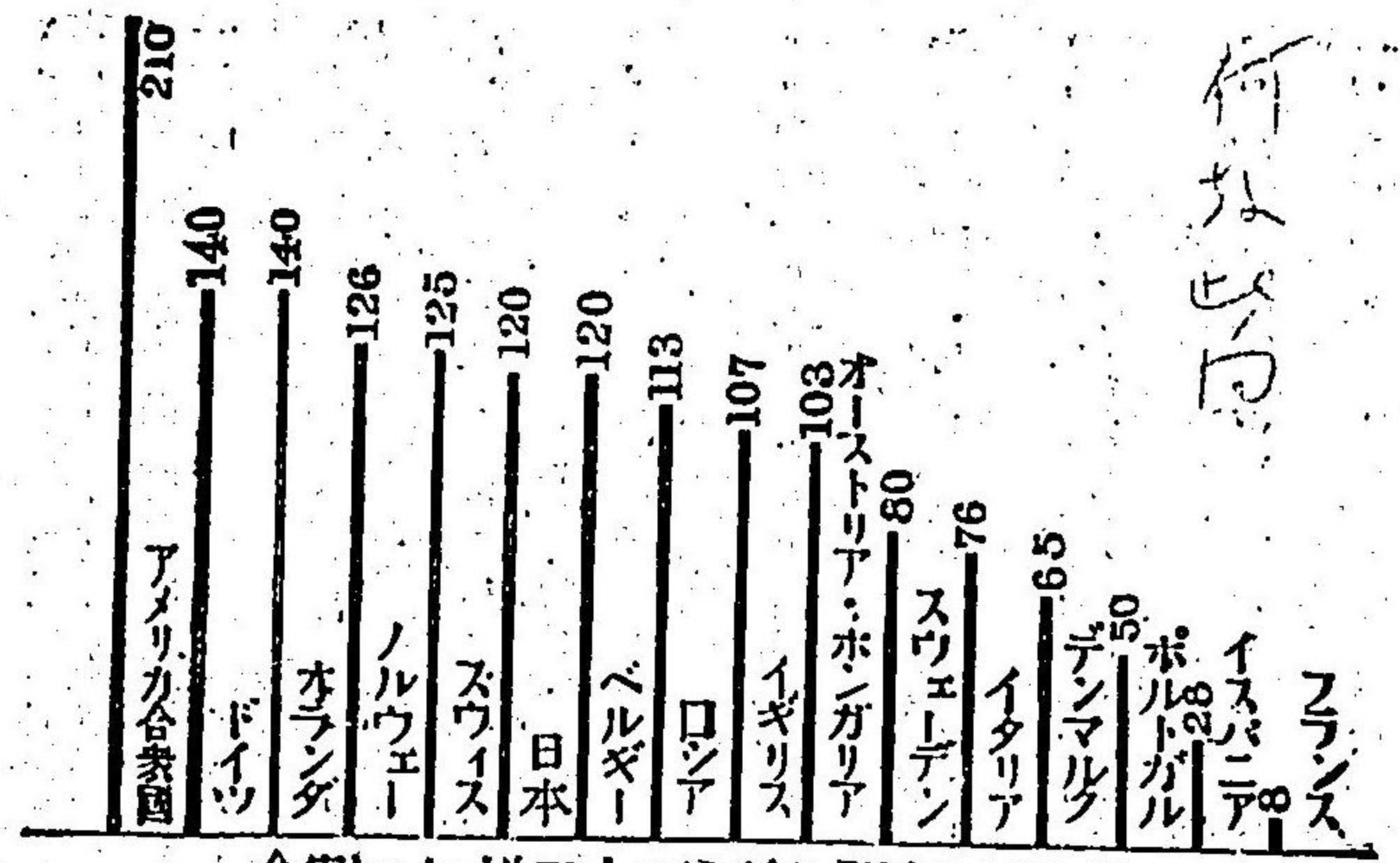
此國の東は一體に大西洋に面し、これと並行してアレガニー山脈南北に連れり、アレガニー山東は、(一)大西洋の高地にして、此の山脈より發する諸河は、東に走りて低き大西洋に流るゝは自然なり。又此國の西は、一體に大太平洋に面し、これと並行して、ロッキーなどの山脈南北に連れり、ロッキー山西は、

走りて低き大太平洋に流るゝは自然なり。

アレガニー山東の諸河は、大西洋に流れ、ロッキー山西の諸河は、大太平洋に流れたる以上は、アレガニー山脈とロッキー山脈との間にある諸水は、中央に集合し、さて低きメキシコ湾は、其の南にあるを以て、中央に集合せる諸水が此の灣に向ひて南下するは自然なり、即ちメキシコ湾の此處に存在するは自然にして、其の大灌域は、(二)中部の大平原をなせり。

三、氣候。大國なれば、北部は寒冷、南部は炎熱なれども、全土は盡く温帯中にあるを以て、概して温和なり。他の大陸にては、内部に水蒸氣の缺乏せる結果、大沙漠連れども、此國は、東西に大洋を控え、南は海に面し、北には地中海の如き大湖系連なり、内陸には數條の大河系縦横するを以て、水蒸氣

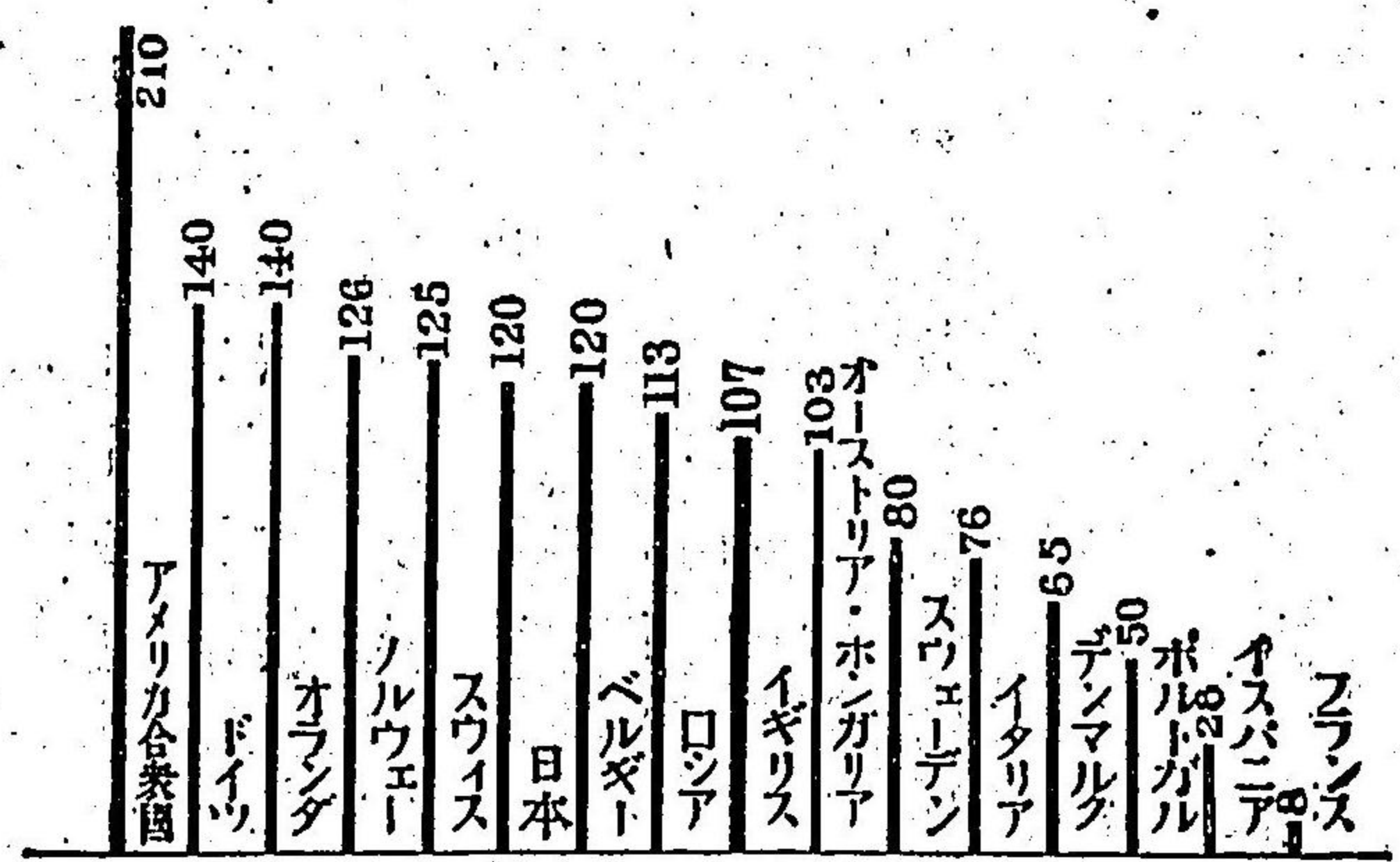
別に我國人は
ハワイに七萬
人移住せり



最近十年間の人口増加割合の合

は普く配布せられ、寒濕其の度を得到る處人生に適へり。
四、住民。 人口八千萬、世界各國より移住するもの一週間に二萬あり、五十年間に人口三倍半し、増加の速なるを世界第一なり。
種族。 固有の土人 INDIAN 種は漸く減少し、住民の六分の五はヨーロッパ人にして、他は重もに黑人種なり。我が國人の在留するもの亦三萬人あり。
宗教、教育。 白人種は、イギリス人の子孫最も多く、國語はイギリス語なり、ドイツ人の子孫も少からず。か

何なるか



最近十年間の人口増加割合の合

かくの如く、ネイティブ民族は、住民の大部分を組織するを以て、基督新教徒最も多く、教育も普及し、新開國なれば、事物の規模壯大にして、百般に活潑を極め、人口毎一人に對する郵便物の多きこと世界第一に居る。
五、歴史。 (一) アレガニー山東の諸河は大西洋に流れ、河は舊世界たるヨーロッパに向ひ、口を開きて其の人々を招き迎ふるを以て、ヨーロッパより新世界に移住するものは、此等の河口より直ちに内地に入りて開拓に従事し、其の植民地は、西東に流るる此等の諸

河の谿谷に建ち、遂に十三州を創立せり。此等の十三州は、大西洋とアレガニー山との間なる帯の如き處に並び居たれば、自ら同盟連合し易く、本國イギリスの暴政に抵抗し、苦戦七年にして獨立し、アメリカ合衆國の基礎を作れり。

(一) 大西洋岸の人口漸く増加せしを以て、移住人はアレガニ



ヤ山脈を西に越ゆるや、

即ち(二) ミシシッピ河系の沃

MISSISSIPPI

野千里は、眼前に開き來り、此處に大農業を興し

たれば、アメリカ膨脹史の新紀元は此に生まれり。かくの如く領土の膨脹するや、北と南と相離るゝこと遠く、寒地と熱地と風土、物産の相違せるより、利害も自ら相違し、合衆聯

邦の基礎を動かすもの少らず。然るにミシシッピ河は遠く北より南に流れ、支流東西に駛り、本流支流の航行し得るもの一万二千里もあれば、能く南北と東西との各州を結び、連絡を堅くし、遂に合衆聯邦を分離する能はざらしむ。

既にして(三) 大平洋岸の合衆國に入るや、カリフォルニア州に大金坑の發見あり、爲めに大平洋岸にも人口増加し、都會を起すに至れり。かくの如く大西洋岸よりアレガニー山脈を越え、ミシシッピ平原に入り、次で大平洋岸に達したる勢力は、滔々として大平洋中に入り、先づハワイに波及し、我が日本の鎖國を開き、サモア群島中の一島を占領し、グアム島及びフィリピン諸島を取り、これより先き、北アメリカ大陸の北西にして大平洋の北東隅なるアラスカの大半島をロシアよ

SAMOA

PHILIPPINE

GUAM

ALASKA

RUSSIA

日本の開國幼
稚の際、日本を援
上せし、ハ、イ、ギ
助せし、ハ、イ、ギ
リス公使、ハ、イ、ギ
に、ハ、イ、ギ
力、ハ、イ、ギ
の、ハ、イ、ギ
績、ハ、イ、ギ
日、ハ、イ、ギ
度、ハ、イ、ギ
あり、ハ、イ、ギ
開、ハ、イ、ギ
カ、ハ、イ、ギ
日本、ハ、イ、ギ
を、ハ、イ、ギ
イ、ハ、イ、ギ
人類、ハ、イ、ギ
教授、ハ、イ、ギ
著、ハ、イ、ギ
た、ハ、イ、ギ
ホ、ハ、イ、ギ
ど、ハ、イ、ギ
リ、ハ、イ、ギ

り購ひ、さて又近年に至り、以上の如く大太平洋中の諸島を得

たるを以て、北大平洋は、今や「アメリカの湖」となれり。

六、政治。 立憲共和國にして、行

政部の長を大統領と呼び、四年毎に改撰す。我國は、此國の水師提督ペルリの浦和に渡來せしより、始めて世界に國を開きたるものにして、我國の外國と條約を結びたるは、此國を始めとす、爾來各般の施設上に、此國人の我國を助力せして多し。



（市ントンシア）應政央中

ワシントン（初代の大統領）

製鐵の如きは
世界第一の製
鐵國たるイギ
リスを凌ぐに
至れり

國防。 此國は、西半球に獨立し、ヨーロッパの覇國に遠ざかる

を以て、陸軍常備兵少し。されども今や北大平洋は「アメリカの湖」となり、勢力を海外に擴張せんと銳意するを以て、海軍は近年迅速に擴張せられ、世界第四位の海軍國となれり。

七、産業。都會。 (一) 大西洋岸は、最も早く開けたる地方なれば、人口多く、ヨーロッパにも近く、又アレガニー山脈には、鐵、石

炭及び石油多きを以て、商工業及び造船事業發達せり。

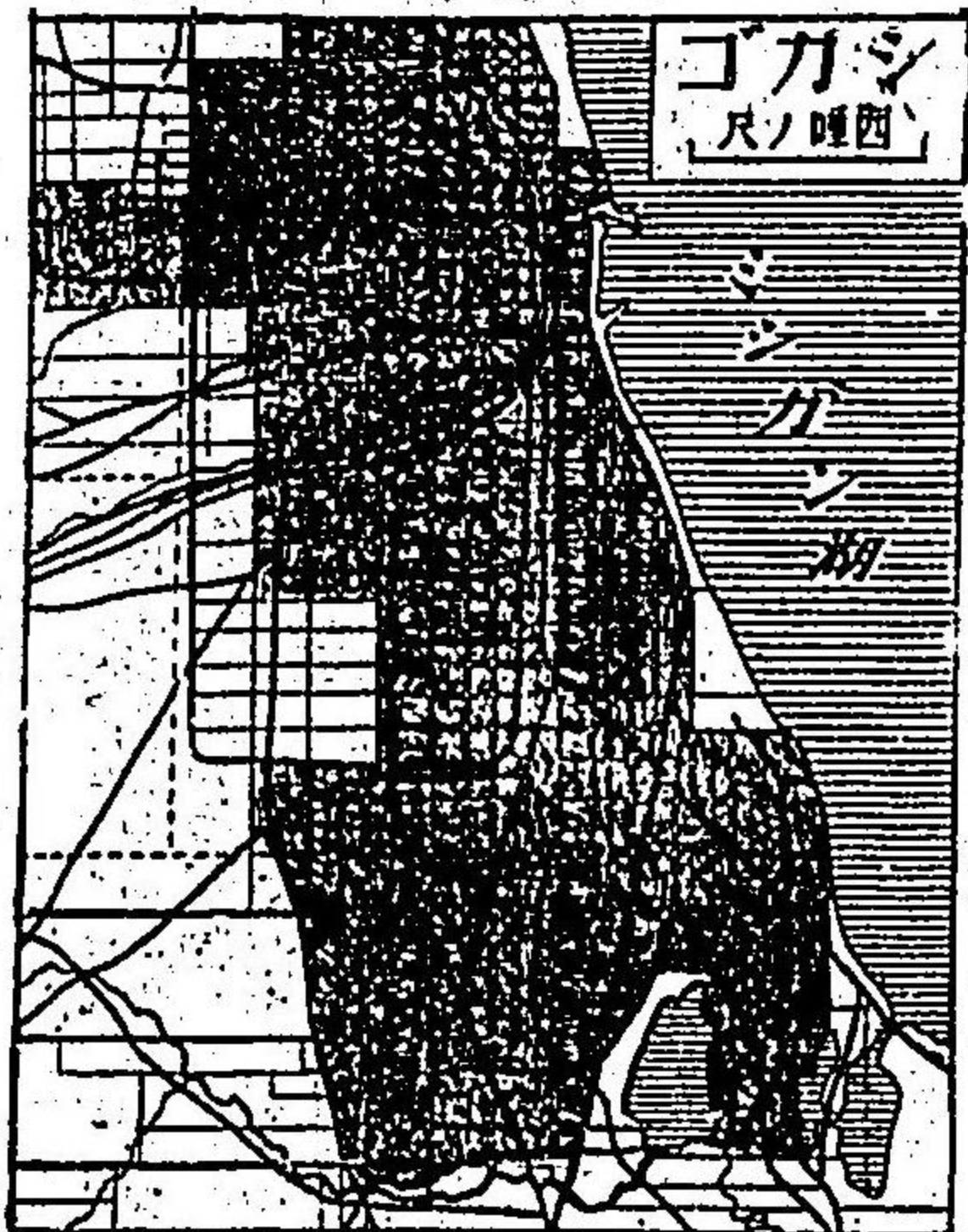
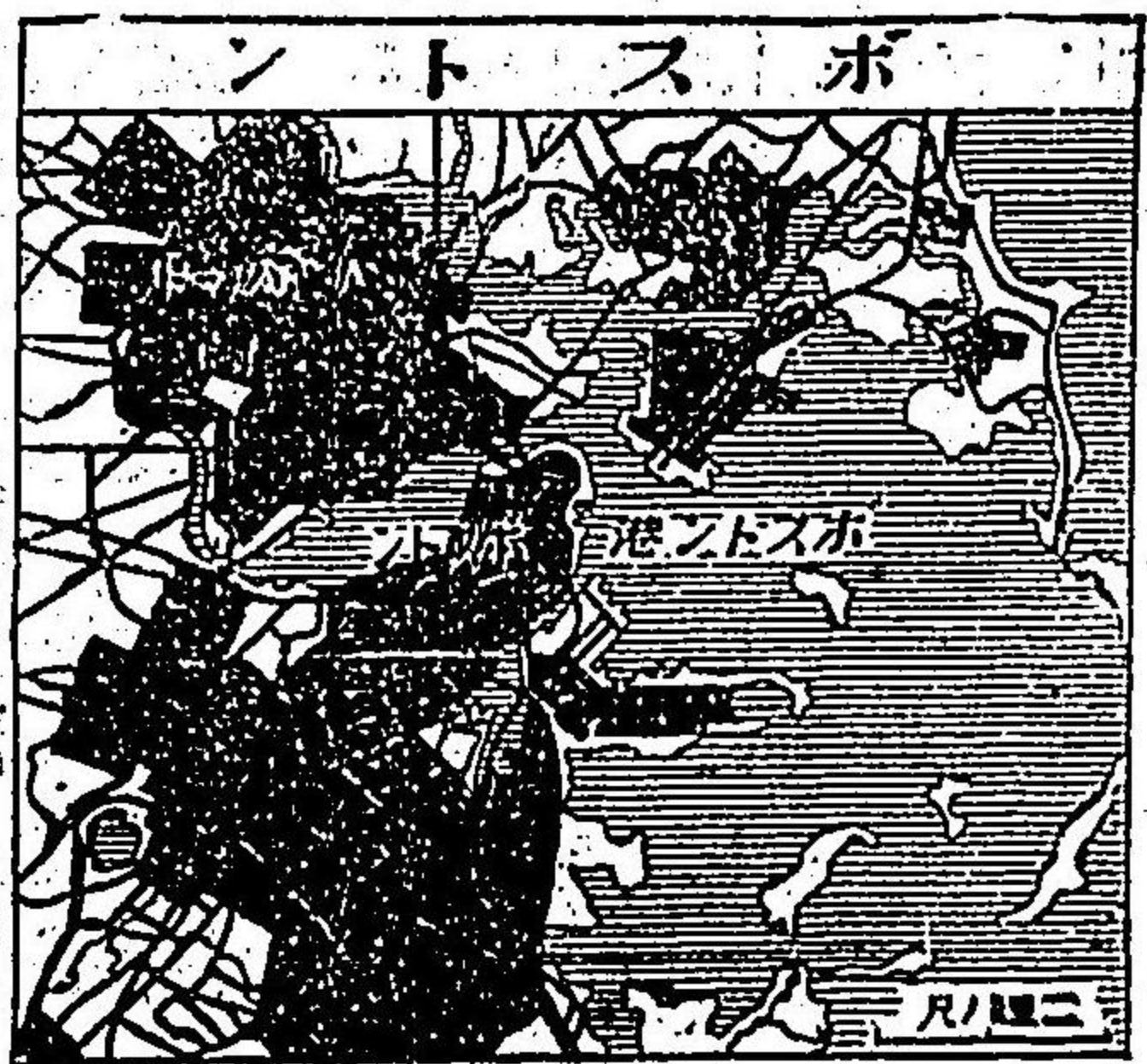
かくの如くなれば、大都會は、多く大西洋岸にあり。國都ワ

シントンに我が公使館あり。 ニューヨークは、此國第一の開

港場及び都會にして、人口四百萬、ロンドンに次ぎ世界第二

の都會なり、我が總領事館あり。 フィラデルフィアは、人口百五

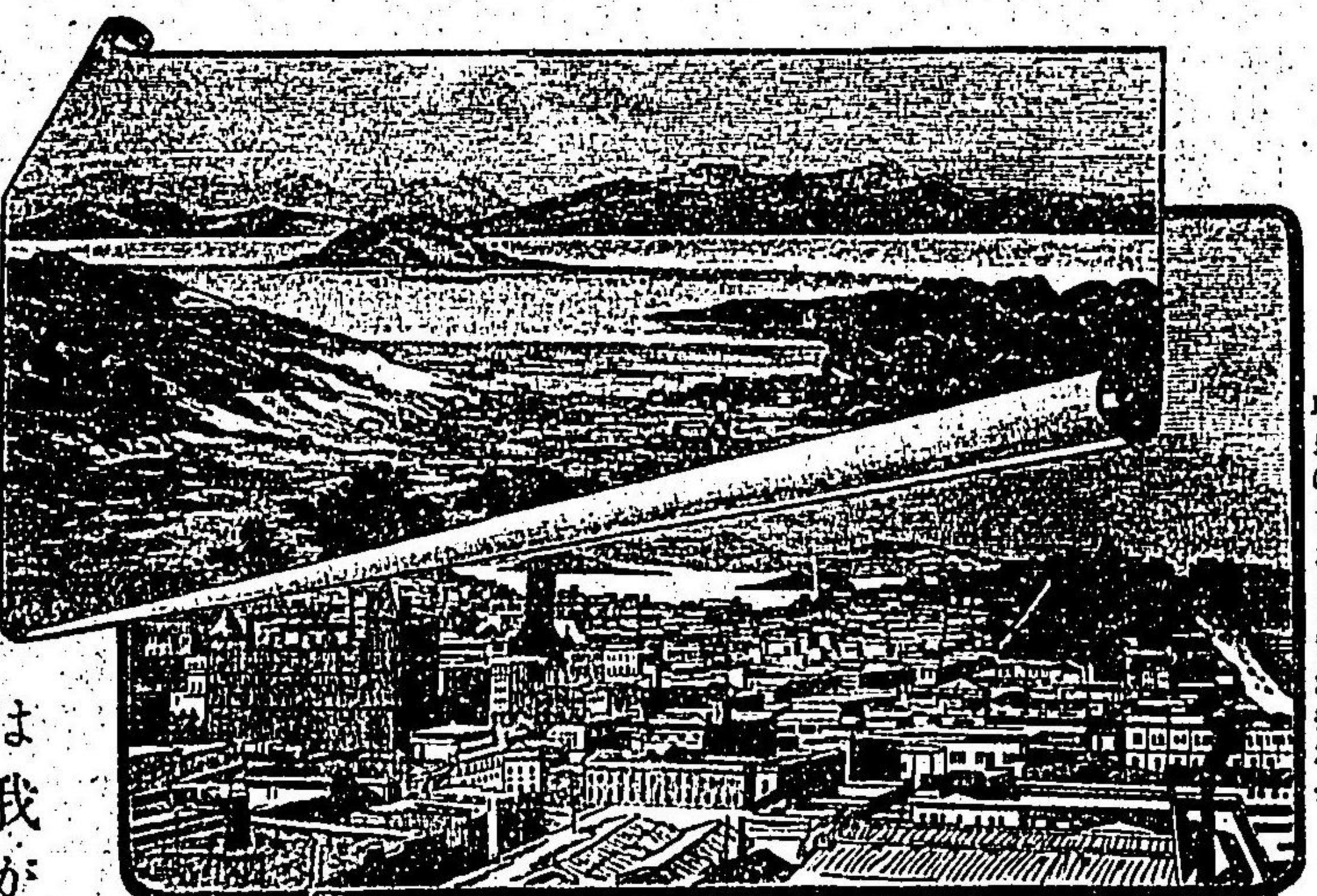
十萬、此國第三の都會なり。



ボストンは、ニューヨークの北東にあり、商工業盛んなり、又文學、美術の中心なり。

(二) 中部の大平原は、大農業地方なり、大湖の沿岸、又はミシシッピ河口は、農産物を四方に輸出するに便なれば、大都會は此處に發達せり。シカゴは、

ミシガン湖に面して、人口二百萬あり。此國第二の都會なり、我が領事館あり。ニュー・オーリーンスは、ミシシッピ河口にあり、棉花の賣買盛んにして、此國第四の都會なり。(三) 大



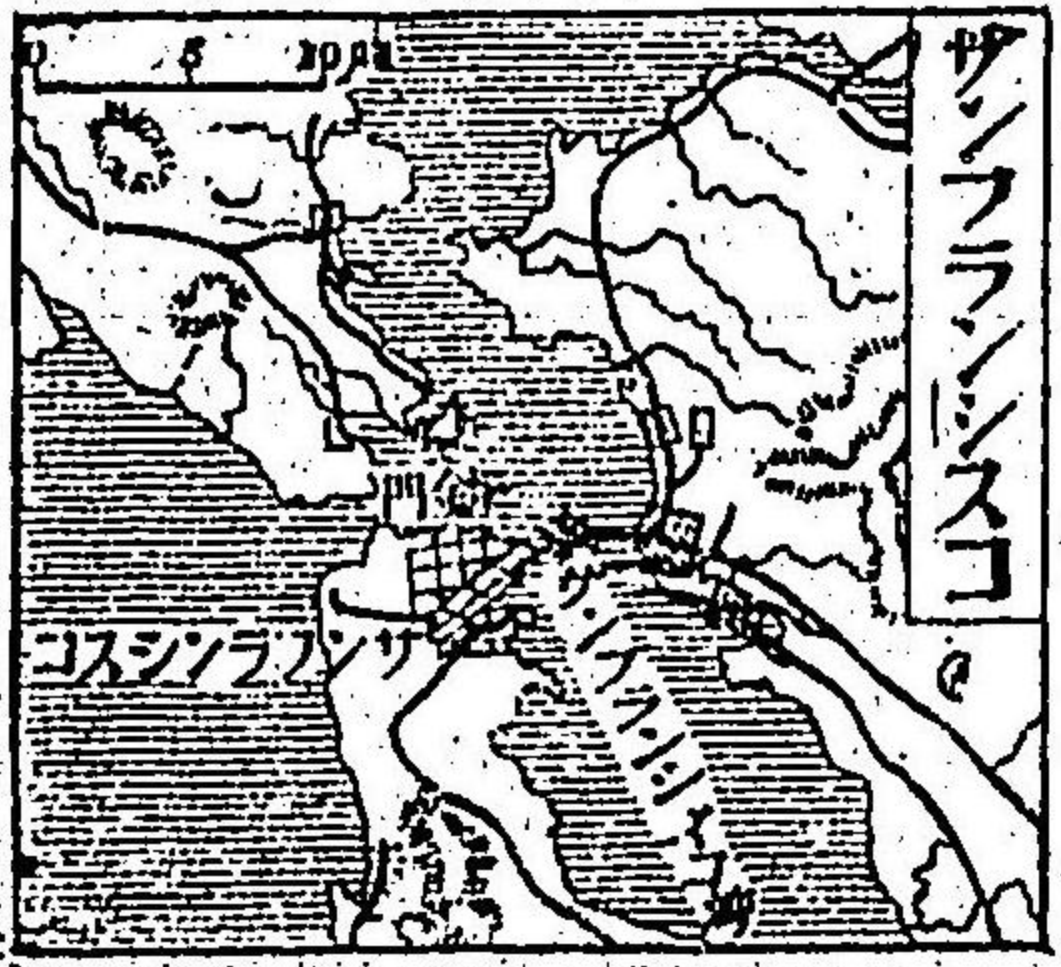
現時のサンフランシスコ

五十五年前のサンフランシスコ

るもの一萬に上る。日本領事館あり。其

は我が國人の在留す

平洋岸は、此國西部の農業及び鑛山地方を背にし、前はアジア洲の諸國に對するを以て、其の諸灣は開港場となれり。サンフランシスコは、東洋及び南洋に對する要港なれば、大平洋岸第一の都會となる。我が横濱と相對し、日本郵船會社は、兩港の間に定期航路を開く、附近に



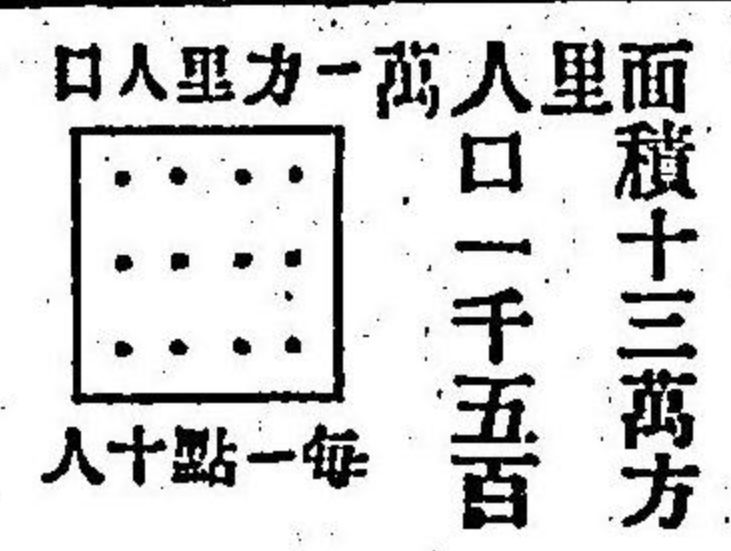
の北、**コロンビア河**は、アメリカ第一の鮭漁場にして、我が漁民の漁獲するもの多し、河口に**ポートランド港**あり。其の北、**シアトル**は、木材を輸出し、我が郵船會社は、此港と横濱との間に航路を開く、此邊には我が國人の在留六千に上り、シアトルに領事館、ポートランドに領事分館を設く。要するに此國の農業は、世界第一にして、製造業に至ても、産額イギリスに二倍し、フランス、ドイツ及びロシアの三國を合併するものに同じく、實に世界隨一の富國となれり。かくの如き富國の近く我が東隣にあり、我が國人たるもの益、此國と盛んに通商せんことを期せざるべからず。

合衆國	面積 (方里)	人口	人口の密度 (人口一平方里)	輸出口割	輸入人口割	陸軍 (常備兵)	海軍 (艦隻數)	鐵道 (哩)	郵便人口割
日本	370,000	37,000,000	100	6	7	16,000	6	4,600	110
合衆國	3,600,000	100,000,000	28	20	20	100,000	12	100,000	110

第三節 南部

一、メキシコ (MEXICO)

一、位置。 アメリカ合衆國の南西に位し、地形細長くして地峽の状をなせる國なり。面積は我國に五倍せり。
二、地勢、氣候。 細長き國土なれば、大河なし。高き山脈は、西の方大平洋岸と東の方メキシコ灣岸とに並行するを以て、内部は一體に高原となれり。されば内部は、高原性なるを以て、氣候溫暖なれども、海岸の低地は炎熱多雨なれば、疫疾盛んなり。南部には高き火山多し。
三、產物。 氣候溫暖なれば、珈琲、砂糖、綿、烟草などを多く産す。又**鑛物**に富み、銀の産額は、世界第一と稱へらる。

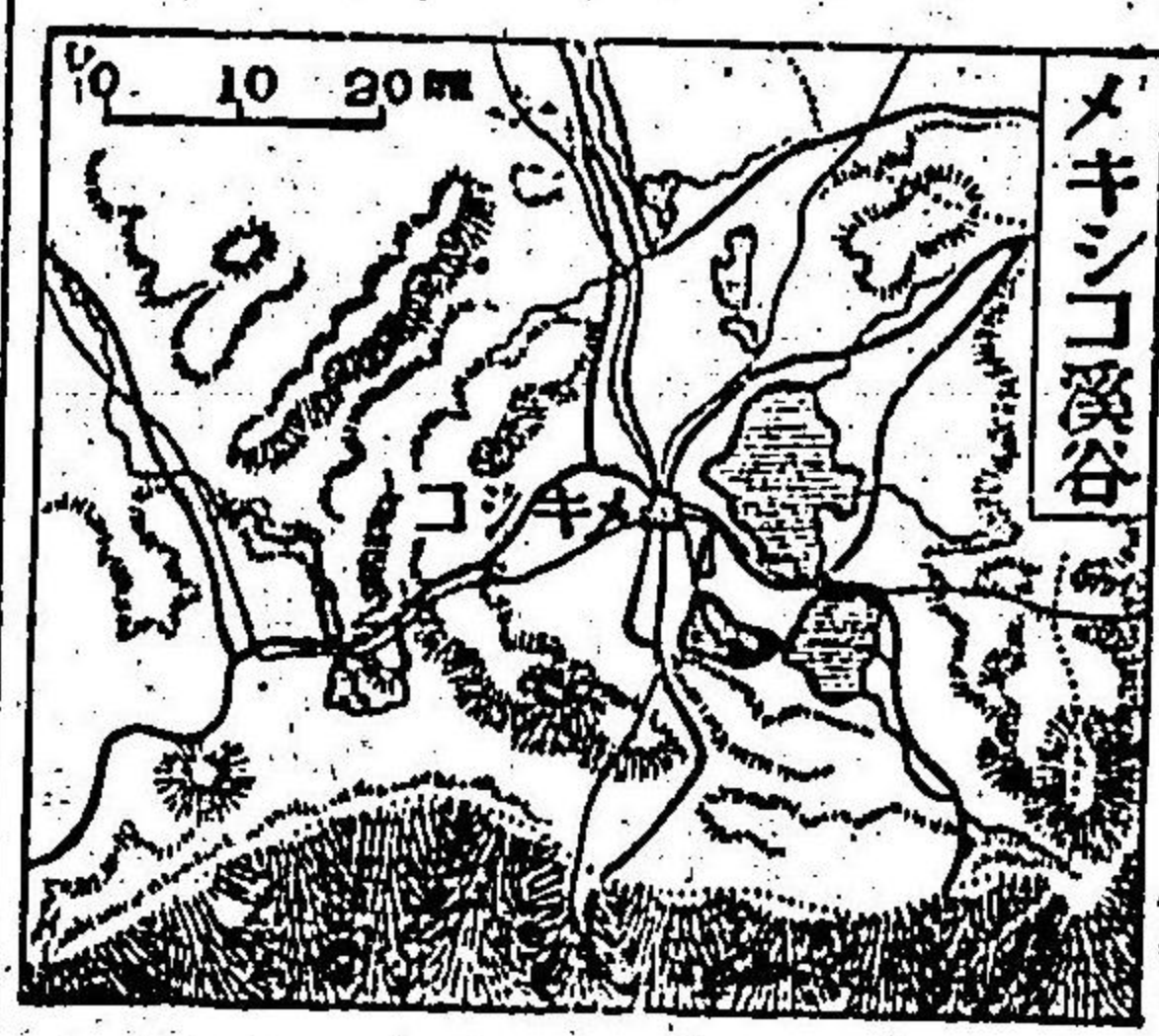


Francis Madero
 現大統領の就任後、最近の十数年間に、内漸く平靜に

四、住民政治。 元とインディアン土人、大國を建て居りしが、イスマニア人はこれを征服し、次で同國人移住して、獨立國となりたるものなれば、土人の外には、イスマニア人の子孫多し。されば基督舊教を奉じ、人情は奢侈輕躁にして、政體は立憲共和制なれども、革命相次げり。我が條約國にして、我が國人の移住するものもあり。

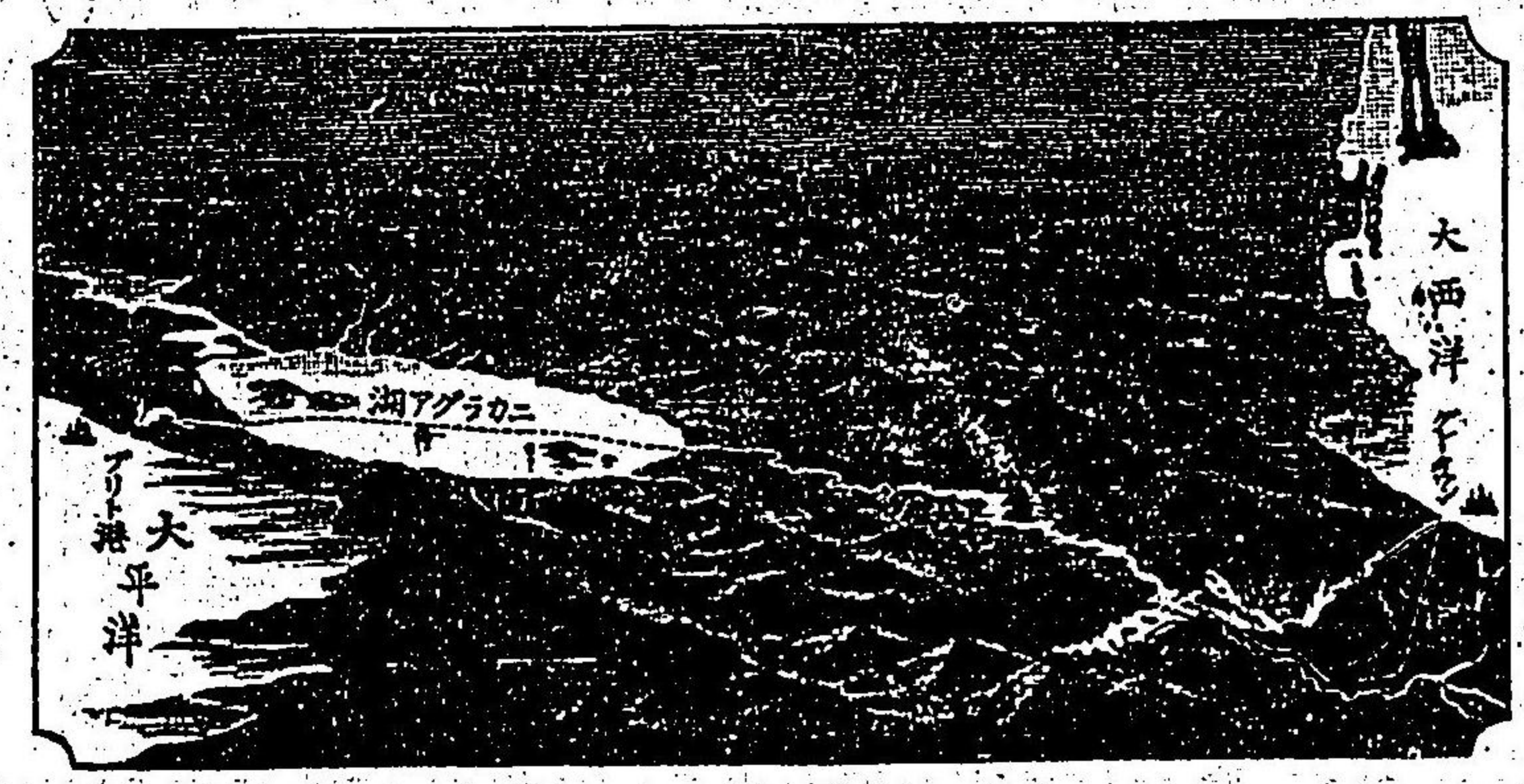
五、都會。 ○國都メキシコは、内陸高原の内にある谿谷にあれば、氣候溫和にして、合衆國以南に於ける第一の都會となり、我が公使館及び總領事館あり。

日	メキシコ	本	面積 (方里)	人口	人口の密度 (方里)	輸出 (人口割)	輸入 (人口割)	陸軍 (戦時)	海軍 (戦時)	鐵道 (哩)	郵便人口割
	三〇〇〇〇	一五〇〇〇,〇〇〇	一五	一八〇〇	三	一七	一五〇,〇〇〇	〇	一〇,〇〇〇	六	四六〇〇
	二七〇,〇〇〇	四七,〇〇〇,〇〇〇					七五〇,〇〇〇				二〇



二 中央アメリカ (CENTRAL AMERICA)

グアテマラ 面積八千七十里 人口百七十萬 人口密度 每十點一人
 ホンデュラス 面積八千方里 人口六十萬 人口密度 每十點一人
 サルバドル 面積一千二百方里 人口一百萬 人口密度 每十點一人
 ニカラグア 面積八千二百方里 人口四十五萬 人口密度 每十點一人



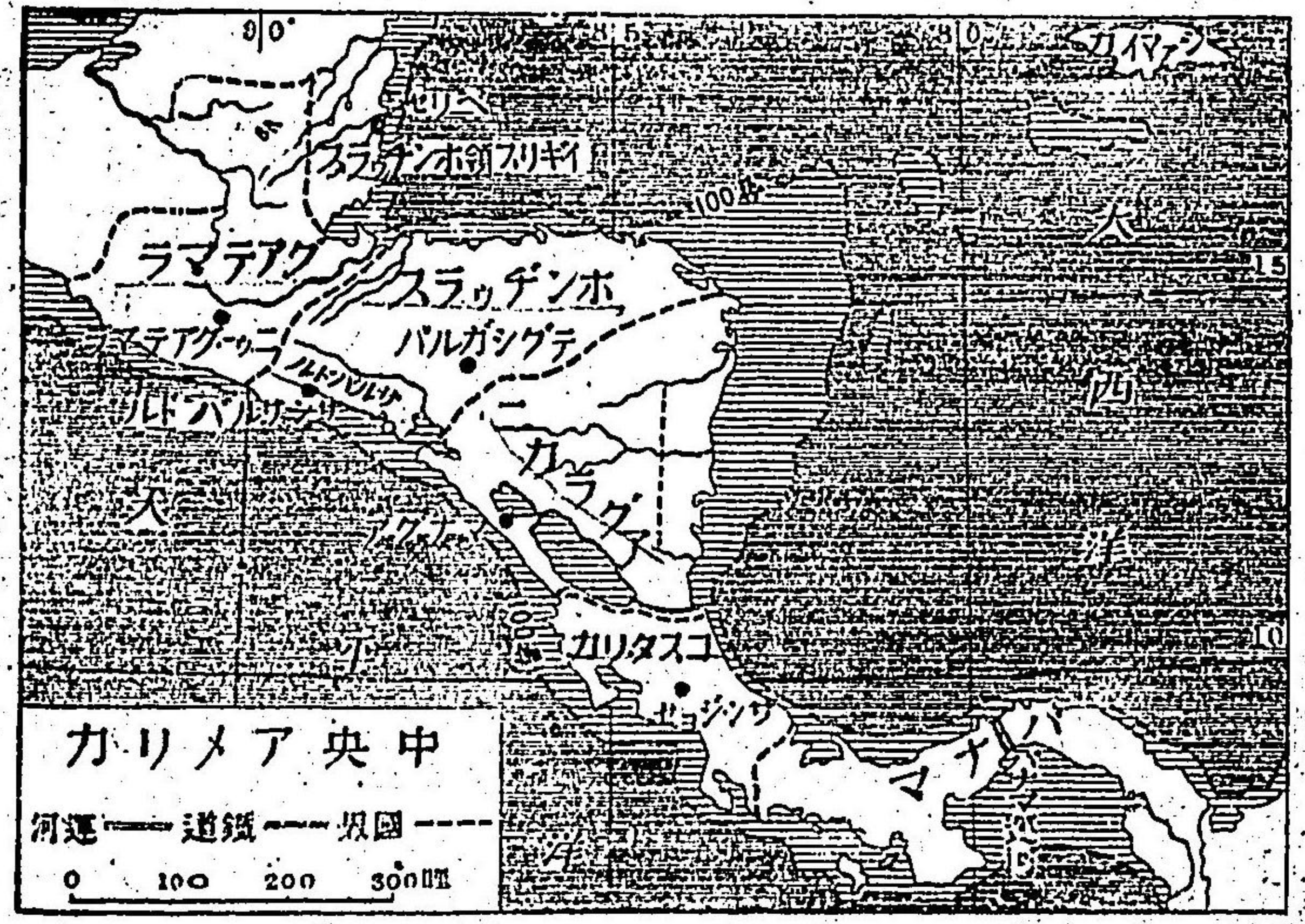
一、位置。 メキシコの南、即ち北アメリカ大陸の最も南にある細長き地方にして、南は**パナマ地峽**を以て直ちに南アメリカに連れり。

二、地勢。 東は大西洋、西はカリブ海に面し、内陸の中部にはニカラグア湖あり。此湖を通じて大平洋とカリブ海との間に運河を開鑿せんとする計畫あり、所謂**ニカラグア運河**これなり、其の落成後は、兩アメリカの大西洋岸及びヨーロッパの船は、此

ハニ
スタリカ
面積三千方里
人口二十五萬
口人里方一
八十點一每

の運河を経て、直ちに我國及び東洋、南洋に往復し得べきを以て、其の便利甚だ多かるべく、隨て東洋及び南洋の貿易上及び軍事上に殊に大なる影響を與ふることなるべし。

三、氣候、産物。 低地は炎熱多雨なれども、内陸の高原は溫和なり。珈琲及び甘蔗を産し、森林には朱檀、マホガニ



四、區分。 中央アメリカは、グアテマラ、ホンヂッラス、サルバドル、ニカラグア及びコスタリカの五共和國より成り、別にイギリス領ホンヂッラスあり。

五、住民。 住民は、基督舊教を奉じ、人情奢侈輕躁にして、政體は立憲共和制なれども、革命相次ぎ、寧日なきの觀あり。

六、パナマ共和國。 中央アメリカの南、パナマ地峽附近の人民は、近く本國コロンビアより獨立して、一國を建てたり。

面積 (方里)	人口	人口の密度 (方里)	輸出入 (人口)	陸軍 (戦時兵)	海軍 (艦數)	鐵道 (哩)	郵便 (人口)
グアテマラ 8,000	1,500,000	二五	未詳	八七,000	〇	四五〇	三
ホンヂッラス 8,000	600,000	七五	未詳	二〇,000	〇	未詳	未詳
サルバドル 1,100	1,000,000	八四〇	未詳	三〇,000	〇	未詳	未詳
ニカラグア 8,100	450,000	五五	未詳	一七,000	〇	二〇〇	未詳
コスタリカ 3,000	250,000	八三	未詳	四〇,000	〇	二〇〇	未詳
日本 七〇,000	47,000,000	一八〇	未詳	七五〇,000	六	四,000	二〇

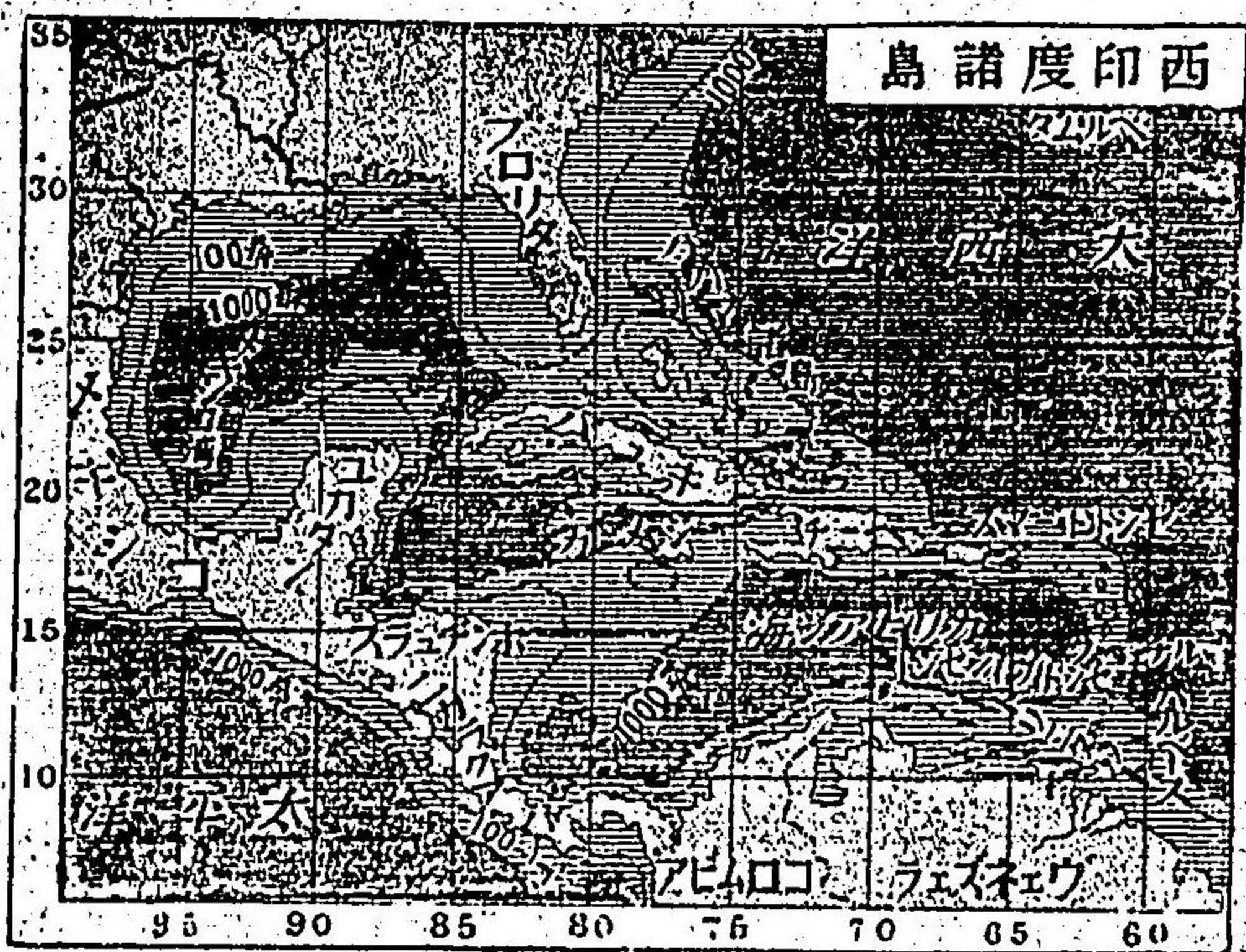
面積一萬五千
方里
人口六百三十
万人
カール
人百點一每

キューバ共和
面積七千四百
方里
人口一百七十
萬人
ハイチ共和
面積千七百方
里
人口一百三十
萬人
サン・ドミン
ゴ共和
面積三千方里
人口六十二萬
人
カール
人百點一每

第四節 西インド諸島 (WEST INDIE SI)

一、位置。 アメリカ合衆國と南アメリカとの間にある大小千餘の群島なり。(一)大アンチル諸島、(二)小アンチル諸島、(三)バハマ諸島の三部に大別す。

二、氣候、産物。 諸島は、珊瑚島又は火山島にして、山多し。バハマ諸島を除くの外は、盡く熱帯なれば、氣候炎熱なり、産物は、砂糖、烟草、珈琲、木綿の類なり。



三、住民。 アフリカより輸入せる黒人種及びイスパニア人の子孫多く、基督舊教を奉じ人情輕燥にして、騷亂多し。

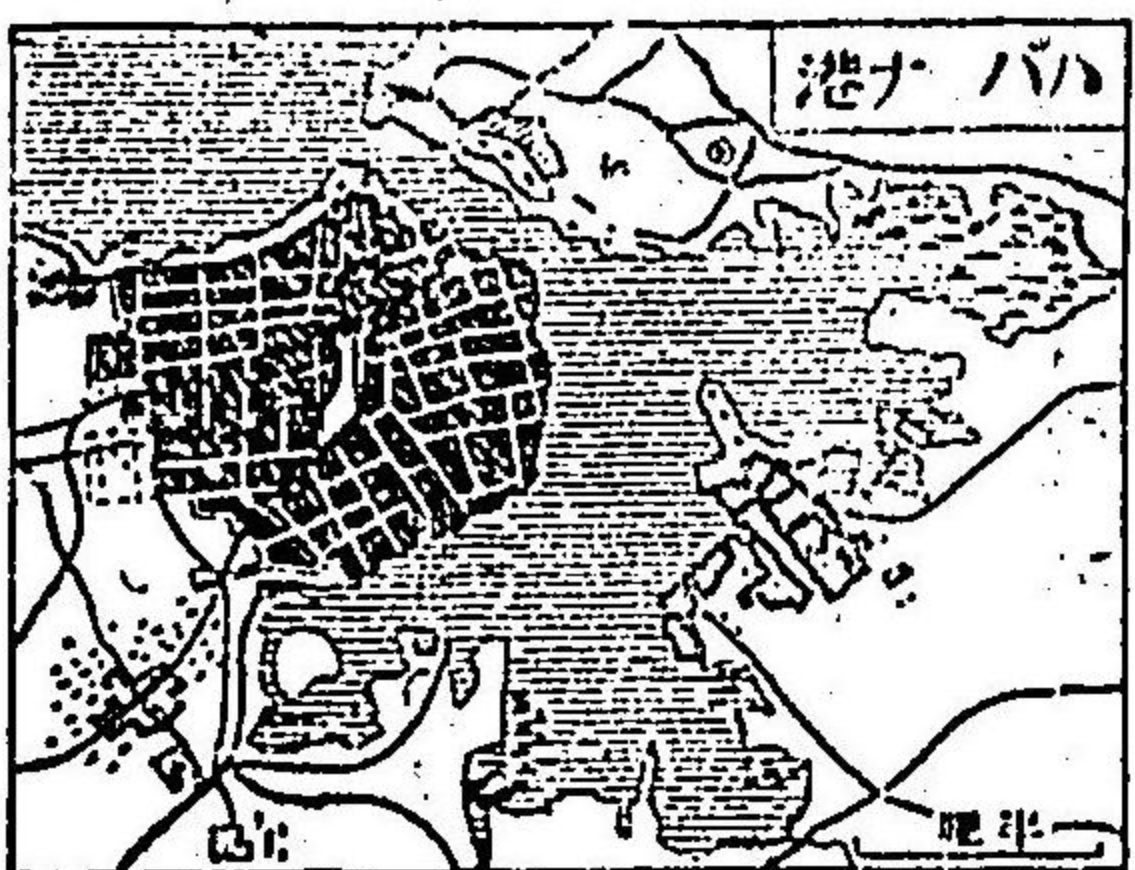
一、大アンチル諸島 (GREATER ANTILLES)

一、キューバ。 CUBA

西インド諸島の最大島にして、面積は我が本州の半に同じ。四百年間、イスパニアに屬せしが、明治三十五年、獨立して共和國となり。國都ハバナは、西インド諸島第一の都會にして、烟草の製造及び輸出盛んなり。

二、ハイチ。 HAITI

キューバに次ぎ、西インド諸島中、第二の大島にして、西部は、ハイチ共和國



となり、東部は、サン・ドミンゴ共和國となる。ハイチは、黒人種のみより成り、サン・ドミンゴは、イスパニア人の子孫多く、

兩國共に革命相次ぎ、國勢遂に揚らず。

三、**ジャマイカ** JAMAICA **ポルトリコ** PORTO RICO。 **ジャマイカ**は、西インド諸島中第

三の大島にして、**ポルトリコ**は、第四の島なり。 **ジャマイカ**は、

イギリスに屬し、**ポルトリコ**は、イスパニアに屬せしが、アメ

リカ合衆國が、**イスパニア**と戦ひて勝ち、新に得たる所とす。

二 小アンタルス諸島 (LESSER ANTILLES)

大アンタルス諸島の東に連なる小群島にして、イギリス、フ

ランス、デンマルク及びオランダに分屬す。
FRANCE DENMARK

三 バハマ諸島 (BAHAMAS)

アメリカ合衆國とキューバとの間にある小群島にして、イギ

リスに屬す。中央の**ワットリング島**は、**コロンブス**が新世界

発見の時始めて上陸せし地なり。
WATLING COLUMBUS

第三章 南アメリカ (SOUTH AMERICA)

第一節 アンデス地方

一、**位置**。 アンデス大山脈の通過する地方、即ち南アメリ

カ大陸の西部全體を云ふ。西は一體に大平洋に面し、遙か

に我國と相對するを以て、彼我の關係厚かるべき地方なり。

二、**地勢、氣候**。 アンデス山脈は、大平洋岸に近く並行して

連れば、**海岸**は平地少く、**内部**は山若くは高原より成る。さ

れば**氣候**は、**海岸**は炎熱なれども、**内部**は溫暖なり。アンデ

スの高峯は、四時雪を被ふり、又南に赴くに隨ひ、**海岸**と雖も

氣候溫和なり、**南端**は南極圈に近きを以て、**雨雪**多し。

三、**天産物**。 氣候炎熱若くは溫暖なれば、**珈琲**、**甘蔗**、**護謨**、**幾**

那皮烟草及び棉を産す、されども南に赴くに随ひ減少す。アンデス山脈には、銀及び銅の産甚だ多し、又中部には硝石多く、其の産出世界第一と稱へられ、我國にも輸入し來る。

四、區分政治。 アンデス地方は、**コロンビア**、**エクアドル**、**ペ**

ル、**ボリビア**、及び**チレ**なる五個の**共和國**より成る。

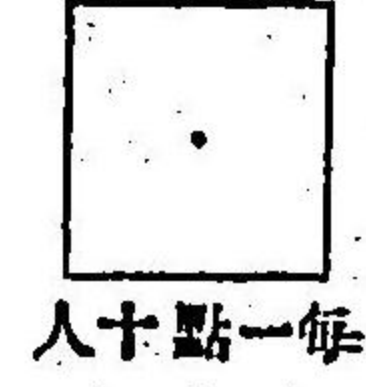
五、住民。 五國共に元とイスパニアの植民地なりしが、後に獨立せしものなり。されば**インディア**ン土人及び**イスパ**

ニア人の子孫多く、**基督**教を奉じ、教育は普及せず、人情は奢侈輕躁にして、革命相次ぎ、政府は極めて安固ならず。

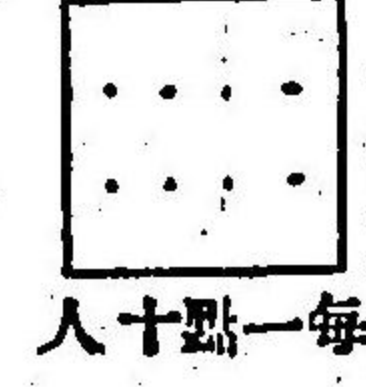
一、コロンビア。 南アメリカの北西隅に位し、**パナマ**地峽を以て北アメリカに連なり、我國に三倍半する國なり。國都

ボゴタは、アンデスの山中、海拔九千尺の高原にあり。

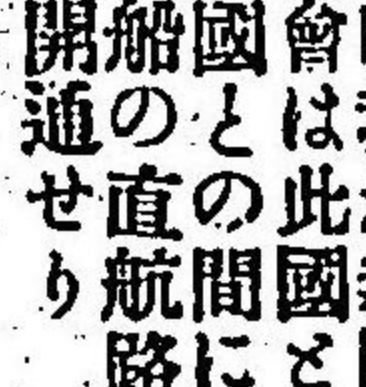
黑人種及び支那人も多し
コロンビア
面積八萬四千
方里
人口四百五十
萬人
方里一
人口四十點一
每



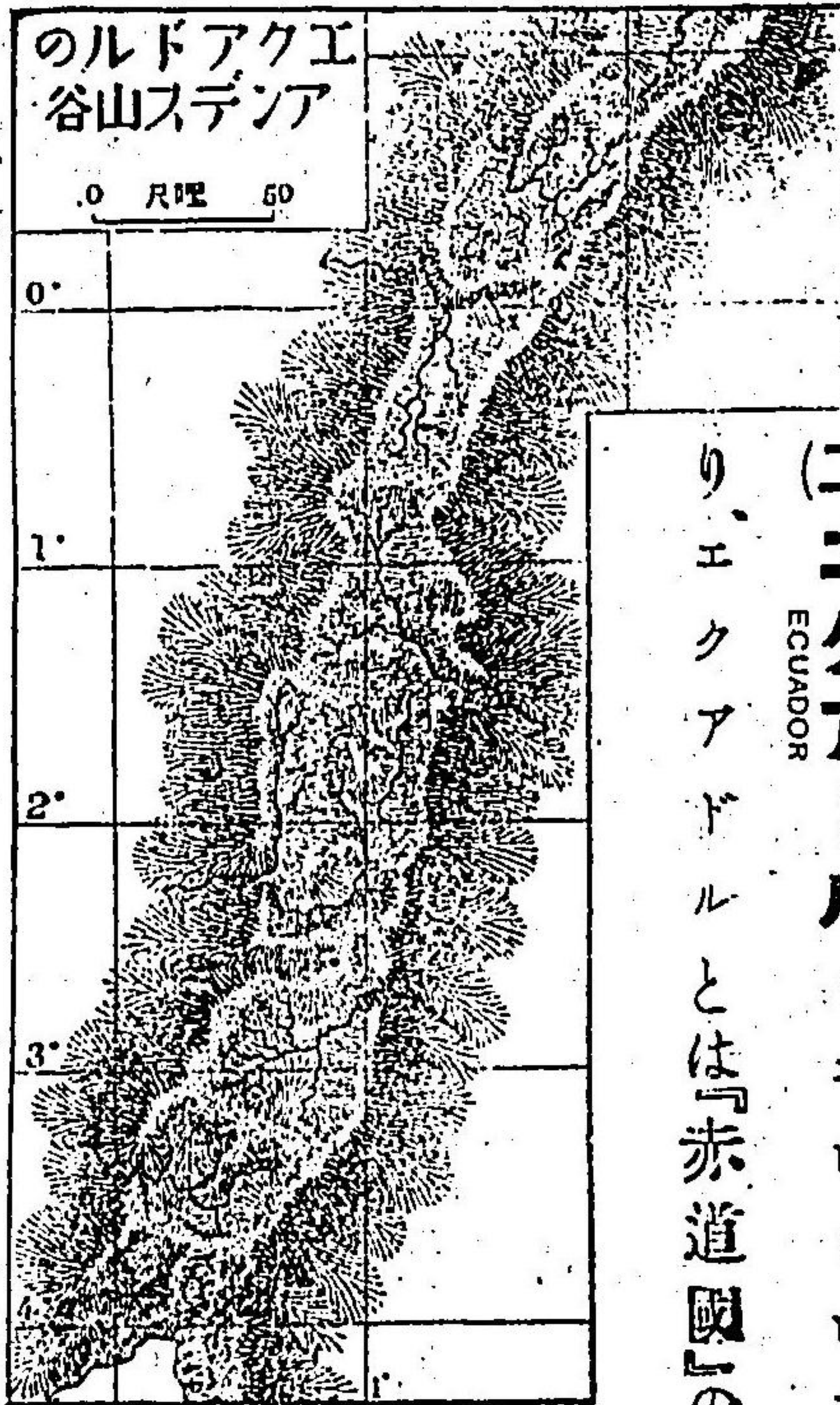
エクアドル
面積二萬方里
人口百五十萬
方里一
人口四十點一
每



ペルー
面積十一萬六
千方里
人口四百五十
萬人
方里一
人口四十點一
每



三、ペルー。 エクアドルの南に位し、面積我國に四倍半す。我が條約國にして、我が國人の在留するもの少からず。國都**リマ**は、南アメリカの最も舊き都會にして、我が領事館あり。其の西、大太平洋岸の**カリアオ**港はリマの門口をなす。



二、エクアドル。 コロンビアの南、赤道直下にあり、エクアドルとは『赤道國』の義なり。國都**キト**は、アンデスの山中、海拔一萬尺の處にあれば、赤道直下にあれども、氣候清涼なり。

四、ボリビア。 ペルーの西南にあり、ナレと戦ひて敗れ、海岸

南アメリカ洲 エクアドル ペルー ボリビア 六九

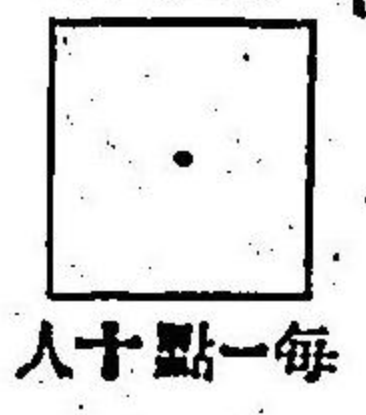
那皮烟草及び棉を産す、されども南に赴くに随ひ減少す。アンデス山脈には、銀及び銅の産地多し、又中部には硝石多く、其の産出世界第一と稱へられ、我國にも輸入し來る。

四、區分政治。 アンデス地方は、**コロンビア**、**エクアドル**、**ペルー**、**ボリビア**、及び**チリ**なる五個の**共和國**より成る。

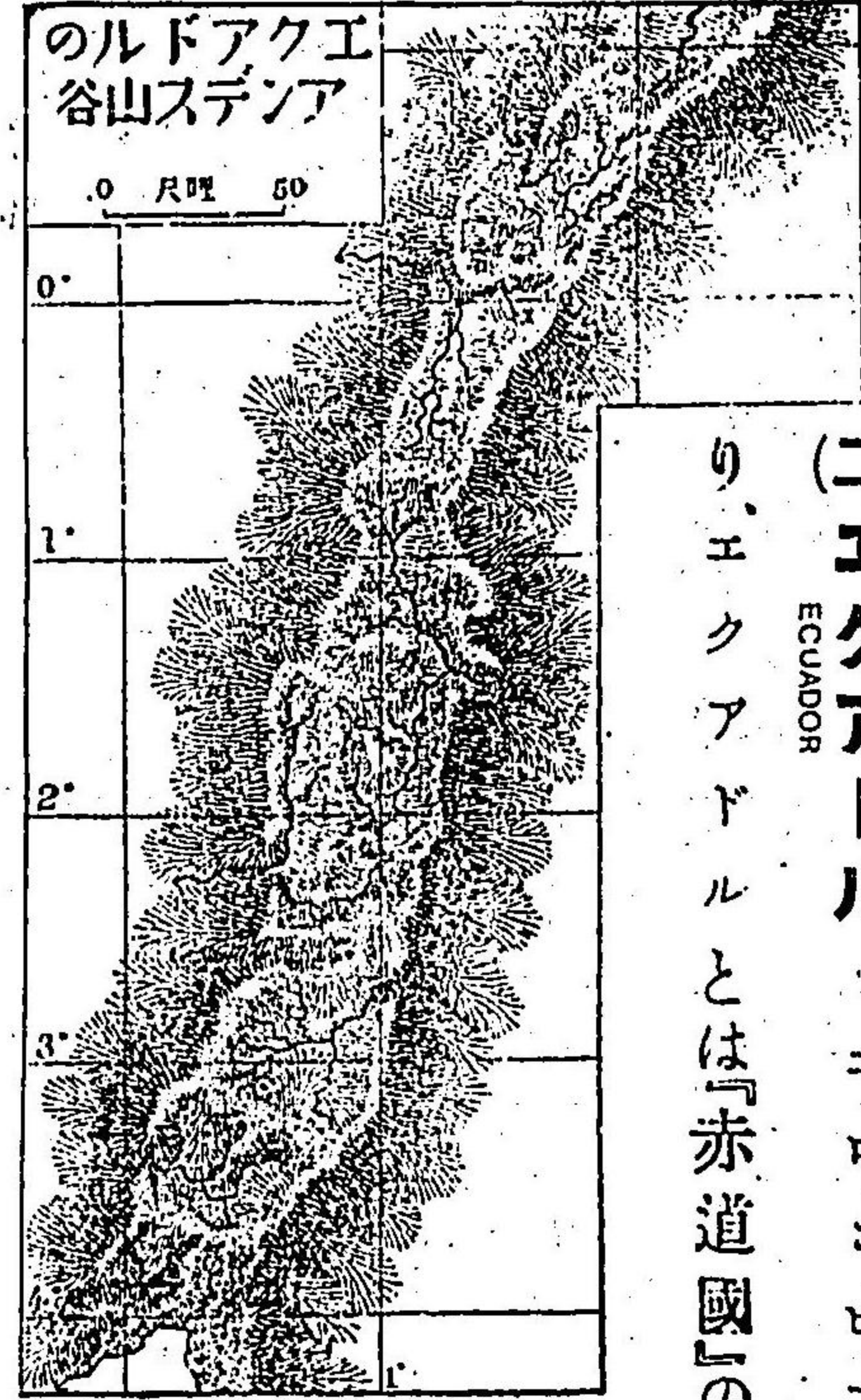
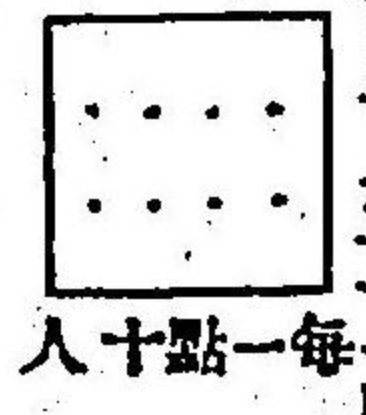
五、住民。 五國共に元とイスパニアの植民地なりしが、後に獨立せしものなり。されば**インチアン**土人及び**イスパニア**人の子孫多く、**基督**篤教を奉じ、教育は普及せず、人情は奢侈輕躁にして、革命相次ぎ、**政府**は極めて安固ならず。

(一) コロンビア。 南アメリカの北西隅に位し、**パナマ**地峽を以て北アメリカに連なり、我國に三倍半する國なり。國都**ボゴタ**は、アンデスの山中、海拔九千尺の高原にあり。

黑人種及び支那人も多し
コロンビア
面積八萬四千
方里
人口四百五十
萬人
方一里
人口十點一每



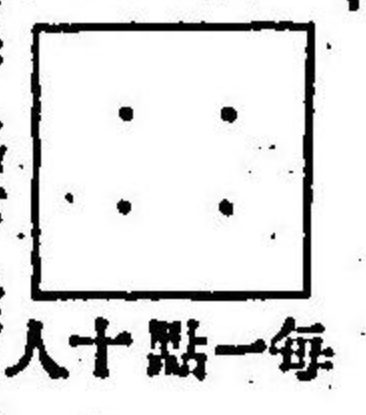
エクアドル
面積二萬五
千方里
人口四百五十
萬人
方一里
人口十點一每

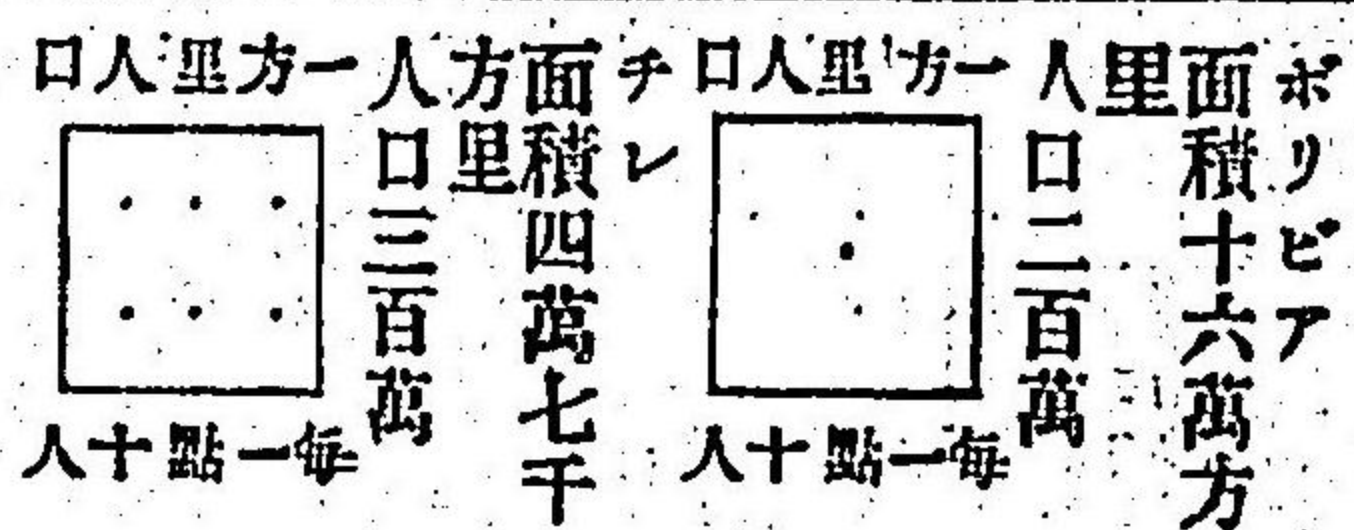


(二) エクアドル。 コロンビアの南、赤道直下にあり、エクアドルとは「赤道國」の義なり。國都**キト**は、アンデスの山中、海拔一萬尺の處にあれば、赤道直下にあれども、氣候清涼なり。

(三) ペルー。 エクアドルの南に位し、面積我國に四倍半す。我が條約國にして、我が國人の在留するもの少からず。國都**リマ**は、南アメリカの最も舊き都會にして、我が領事館あり。其の西、大太平洋岸の**カリヤオ**港はリマの門口をなす。
(四) ボリビア。 ペルーの西南にあり、ナレと戦ひて敗れ、海岸

ペルー
面積十一萬六
千方里
人口四百五十
萬人
方一里
人口十點一每
近時我が森岡
商會は此國と
我國との間に
汽船の直航路
を開通せり





をナレに割き、内陸國となれり。國都を**スクレ**と云ふ。

(五) **チリ**。ペルーの南、アンデス山脈の西にあり。地形の細

長きことも、氣候の溫和なることも我國に類し、國民は他の

南アメリカ諸國と異り、勇敢にして武を好み、地文上及び人

文上、我國に類せり。國都**サンチアゴ**は、アンデス地方第一

の大都會なり。其の西、大平洋岸の**バルパライソ**は、サンチ

アゴの門口をなし、南アメリカの大平洋岸第一の大港なり。

其の東、**アルベンチナ**との境上、**アコンカグ**

ア山は、海拔二萬三千餘尺、アンデス山脈の

最高峰にして、又南アメリカの最高峯なり。

國の南端、**マガリアエンス**海峡の邊は、南ア

メリカ大陸の南端なり。



第二節 北部地方

一 **位置**。南アメリカ大陸の北部に位し、**ベネズエラ**及び**グ**

イアナより成る。

(一) **ベネズエラ**。コロンビアの東にあり、北は**カリブ海**に面

す。内地には、**オリノコ**河系縦横に流れ、地勢平坦肥沃にし

て、氣候炎熱なれば、珈琲、砂糖、カ、ナなどの産多く、又山中に

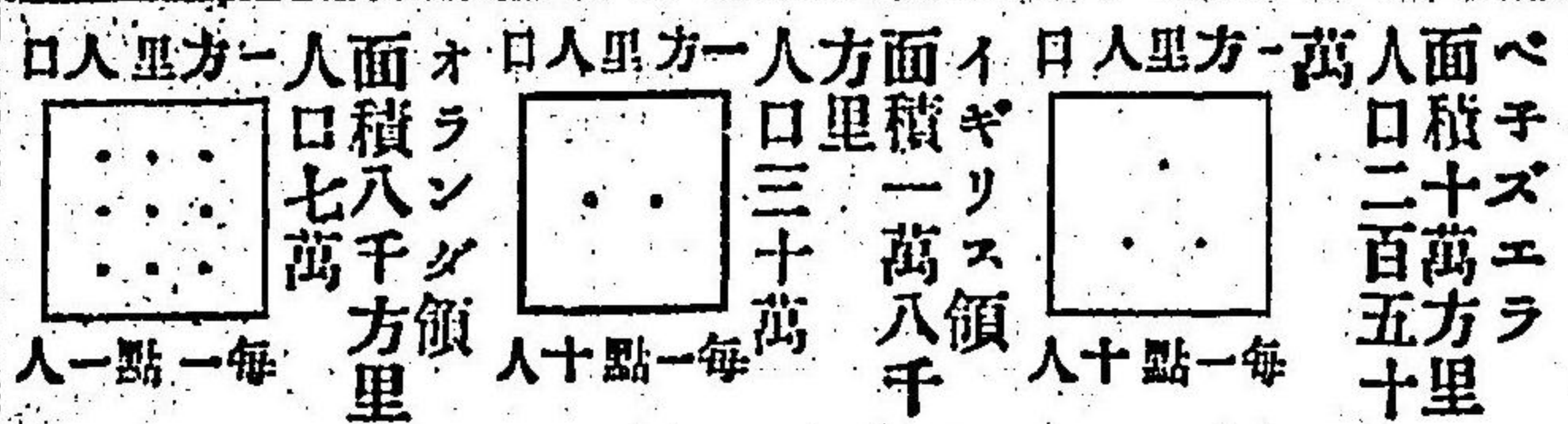
は、金及び銅の産出多し。元とスペインの植民地なりしが、

獨立して共和國となれり、國都を**カラカス**と云ふ。

(二) **グイアナ**。ベネズエラの東にありて、北は大西洋に面せ

り。イギリス領、オランダ領及びフランス領の三部に分れ、

イギリス領最も廣く、且つ人口多し。氣候炎熱多雨なれば、



多く砂糖、珈琲の類を産し、且つ森林に富めり。

第三節 アマゾン地方 (ブラジル BRAZIL)

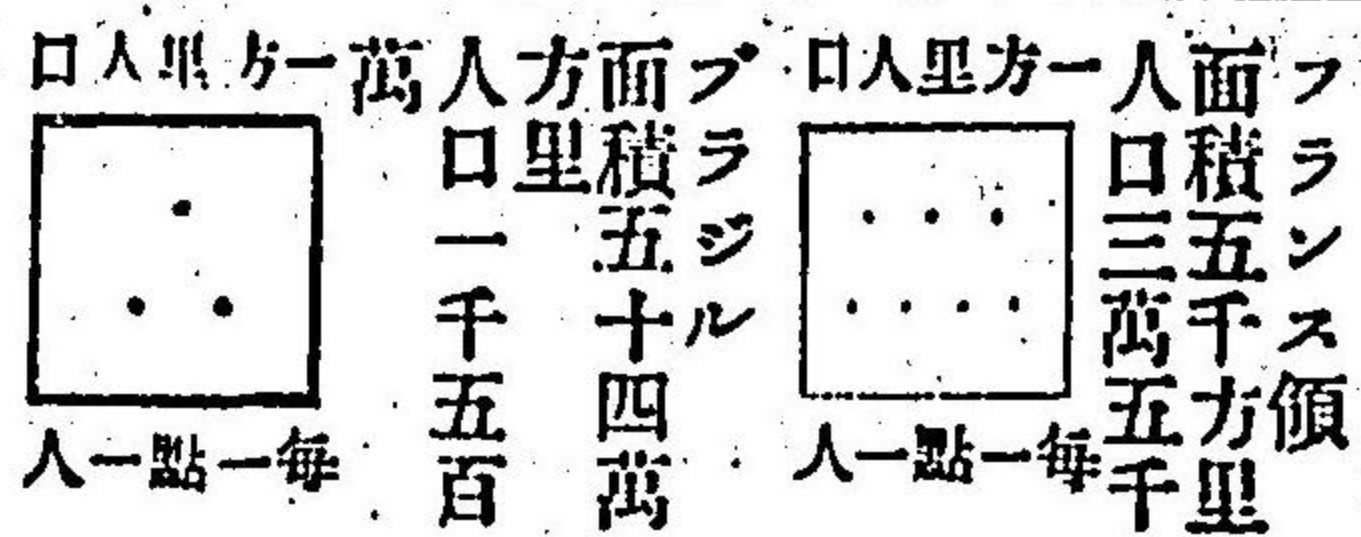
一、位置。 **アマゾン** AMAZON 大河系の灌域は、即ち **ブラジル** BRAZIL なり。

ブラジル は、南アメリカ大陸の東半部を占め、面積は全大陸の殆んど半分に當り、ヨーロッパと殆ど同じく、南アメリカ第一の大國にして、又世界に於ける大國の一なり。

二、地勢。アマゾンの大河系は縦横するを以て、平坦肥沃なる地方多し。されども東部及び南部には、山脈連れり。

三、氣候。赤道に近ければ、概ね炎熱多雨なれども、土地廣大なるが上に、地勢も一樣ならざれば、處により大差あり。

四、物産。氣候炎熱多雨なれば、各種の植物に富み、殊に珈



琲の産額は世界第一なり。又綿、砂糖、烟草、護謨及び香料を産す。金剛石、金、水銀及び銅をも多く産す。

五、住民、政治。元とポルトガルの植民地なれば、**ポルトガル人の子孫多く、黒人及びインディアン土人も亦多し。基督教を奉じ、人情は奢侈輕躁にして、革命相次げり。ポルトガルより獨立せし當初は、帝國を組織せしも、近年帝政を顛覆して、共和政治となれり、我が條約國なり。**

此國は、我國に二十二倍の面積を有する大國なれども、人口は我が三分の一にも満たざるを以て、政府は外國人の移住を奨励し、ヨーロッパ洲よりの移住殊に盛んなり、政府は又日本人の移住を許可する法律を發布せり。

五、都會。國都 **リオ・デ・ジାନネロ** RIO DE JANEIRO は、大西洋岸なる同名の良港

に臨み、南アメリカ第二の大都會及び大港にして、我が公使館及び總領事館あり。

第四節 ラプラタ地方

一、位置。 南アメリカ第二の大河なるラプラタ河系の灌域にある大地方にして、南アメリカの南部に位せり。

二、地勢、産物。 ラプラタ河系は、縦横に流るゝを以て、廣大なる平地連なり、且つ氣候も溫和なれば、牧畜及び農業盛んにして、羊毛、牛羊の肉及び獸皮、獸脂、小麥などを産す。

三、區分、政治。 ラプラタ地方は、アルヘンチナ、パラグアイ及びウルグアイなる三個の共和國より成る。

四、住民。 三國共に元とイスパニアの植民地なりしが、後

面積二十萬里
人口五百五十
萬人
一萬里
一人
十點一每

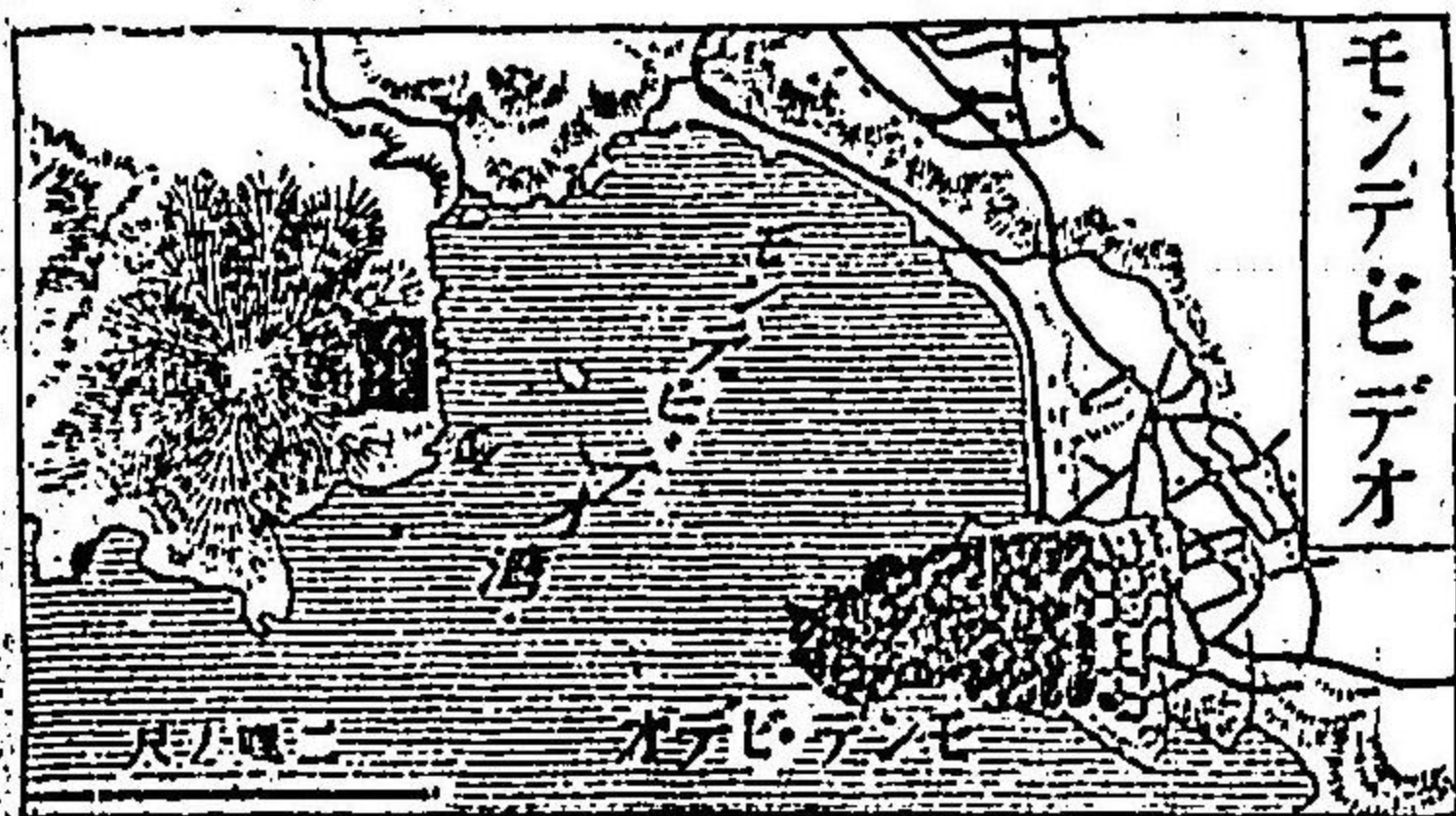
ヨロツバ及び
北アメリカ
より通ずる海
底電線はブエ
ノスアイレン
スを終點とな
す

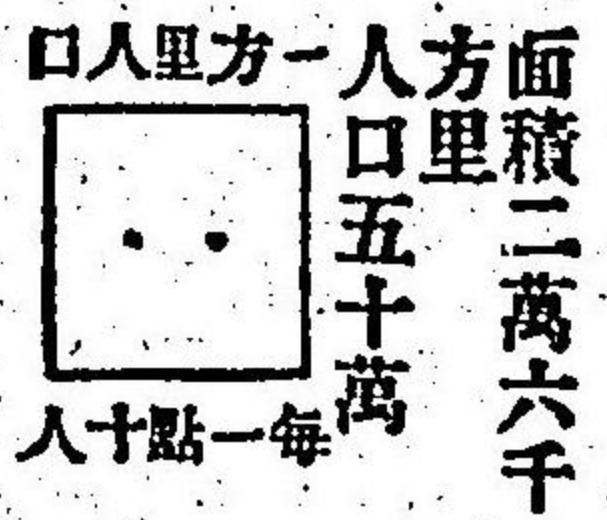
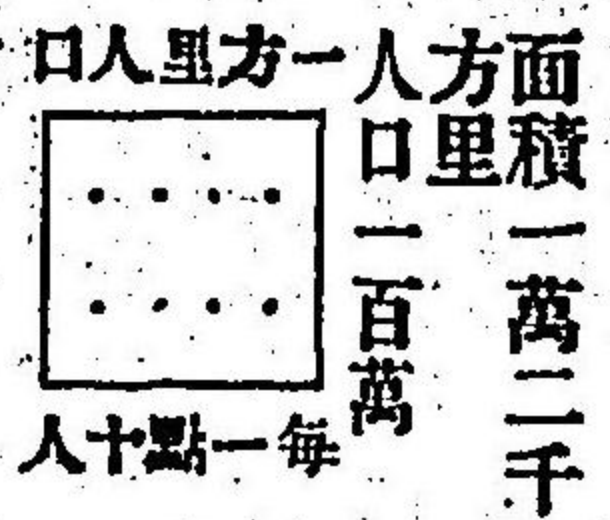
に獨立せしものなり。さればインディアン土人及びイスパニア人の子孫多く、基督舊教を奉じ、人情は奢侈輕躁にして、革命相次ぎ、政府は極めて安固ならず。

一、アルヘンチナ。南アメリカの南部の過半を占め、ブラジルに次ぐ第二の大國にして、面積我國に八倍す。されども

人口は、我が九分の一なるを以て、イタリヤ其他より外國人頻りに移住し、一ヶ年十萬人に及べり。ラプラタ河の平坦肥沃なる大灌域の門口として、其の河口にブエノスアイレスあり、國都にして人口九十萬、南アメリカ第一の都會となれり。

二、ウルグアイ。ブラジル及びアルヘンチナ





ナ二大國の間に介在し、南アメリカの最小國なり。ラ・プラタ河口なる**モンテビデオ**は、國都にして、ブエノス・アイレスと相對し、南アメリカ屈指の都會なり。

(三) **パラグアイ**。PARAGUAY。ブラジル及びアルヘンテナ二大國の間に介在し、海岸なき小國にして、人口は東京市の三分の一に過ぎず。國都**アスンシオン**は、ラ・プラタ河の中流に面す。

國名	面積 (方里)	人口	人口の密度 (方里)	輸出人口 (割)	輸入人口 (割)	陸軍 (平時)	海軍 (平時)	鐵道 (哩)	郵便人口
日本	378,000	70,000,000	183	6	7	2,500,000	600	4,600	35
巴拉グアイ	378,000	5,000,000	13	3	5	1,000,000	0	1,000	6
アルヘンテナ	2,366,000	15,500,000	6.6	5	5	480,000	0	2,300	5
ブラジル	8,511,000	50,000,000	5.9	3	2	700,000	0	3,000	5
ベネズエラ	914,000	12,500,000	13.7	2	2	400,000	0	3,000	5
チリ	756,000	3,000,000	4	2	2	80,000	0	1,000	3
ペルー	1,285,000	10,000,000	7.8	2	2	600,000	0	1,000	3
エクアドル	283,000	4,500,000	15.9	2	2	300,000	0	900	1
コロンビア	448,000	4,500,000	10	2	2	1,000	0	500	1

第八編 世界約説

第一章 住民

第一節 人種

世界の人口は、凡そ十五億あり、左の五人種に大別す。

人種	外容	代表者	人數
黄人種 一名蒙古人種	皮膚は黄、顔は廣くして平なり、頬骨隆し、眼は斜なり、髪は眞直にして黒し。	日本人、支那人、トルコ人、ホンガリア人、フィンランド人、エスキモー人。	六億
白人種 インド・ヨーロッパ人種	皮膚は白く、顔は廣く長し、鼻は隆し、頭髮は褐色を帯び縮れたり。	イギリス人、アメリカ人、ドイツ人、フランス人、ロシア人、ギリシア人、エジプト人、アラビア人。	六億五千萬
黒人種 一名エチオピア人種	皮膚は黒し、顔は扁平なり、鼻は低く、脚出で、唇厚し、髪黒く短くして縮む。	中央アフリカの住民、黒奴。	二億
マライ人種 一名褐色人種	皮膚は褐色なり、外容は黄人種の如し、されども眼は傾斜せず。	マライ半島、東インド諸島、大洋洲、マダガスカル島の住民。	五千萬
銅色人種 一名アメリカン人種	皮膚は銅色なり、鼻高く、頬骨隆し、頭髮は眞直にして黒し。	南北アメリカのインシアン人。	一千万

第二節 宗教

世界に於ける宗教の重なるものを左の四とす。

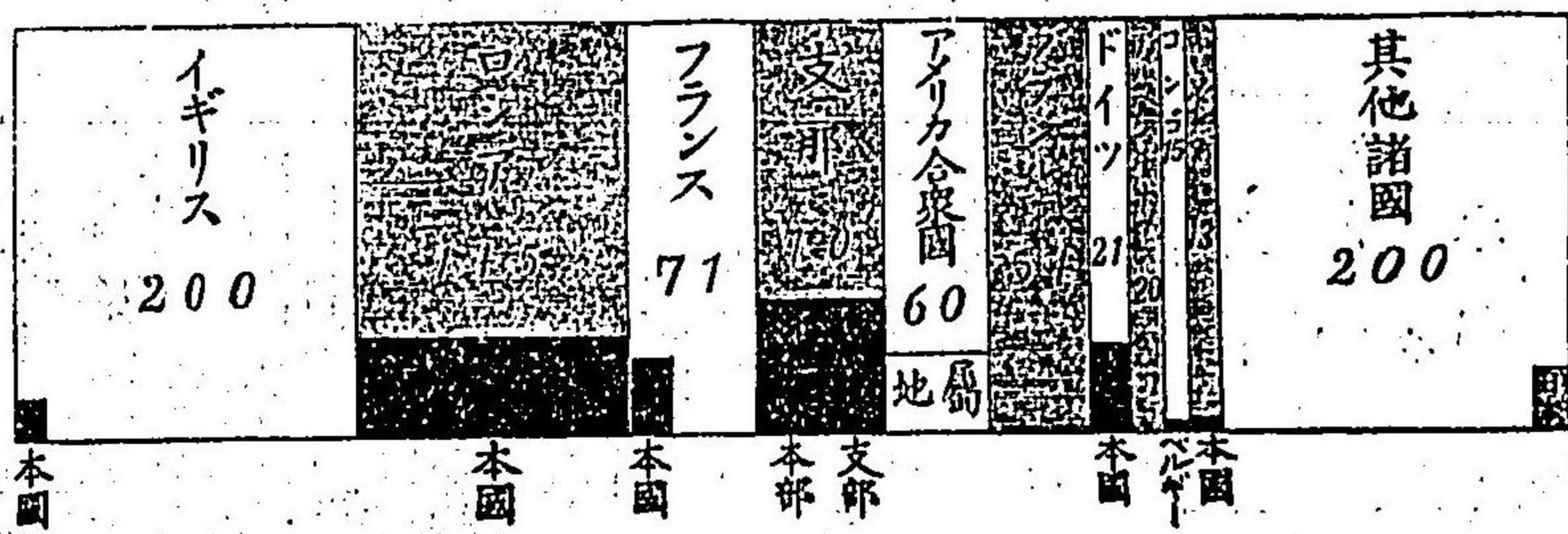
宗教	教旨	配	布	教徒
佛 教	釋迦の教旨。	日本、支那、アジアの南東部。		五 億
婆羅門教	婆羅門を天地の主宰者となす。	インド。		二 億
回 教	マホメットの教旨。	アジアの中部及び南西部、 アフリカの北部及び東部。		二 億
基 督 教	ヤンキリストの教旨。	新教（合衆國以北のアメリカ、オーストラリア、ギリシア教） 舊教（ヨーロッパの南部、メキシコ以南のアメリカ、ヨーロッパの北部、バルカン半島）		一億五千萬 億 二億五千萬 億

其他、ユダヤ人壹千萬、偶像拜崇者及び不分明なるもの凡そ壹億あり。

第二章 國勢

第一節 面積

廣大なる面積と多數なる人口とを有する國は、其の勢力概して強大なり、ロシア及びアメリカ合衆國の如き即ち是れなり。されども世界の強國と稱へらるゝものは、其の本國必ずしも盡く廣大なるものにあらず、教育、生業、兵備、航運業などの最も發達せる國は、其の本國小なれども、世界に廣大なる領地を所有せり、即ちイギリスの如きは、五大洲到る處に領地を所有し、其の面積本國に百倍せり。



第二節 人口

國勢の強大を期せんとせば、國民の多數を待たざるべからず、故に世界の強國と稱へらるゝものは、人口多し。されども人口徒らに多しとて、其の國民にして道德低く、智識劣れば、國勢の強大を期すべからず、支那の如き即ち是れなり。これに反し、人口少しと雖も、其の國民にして道德高く、智識優れば、國勢の強大を期すべく、イギリスは、人口我國より少しと雖も、本國の人口に十倍する人民を支配し居り。國勢の強弱は、國土の大小、國民の多少のみに因らず。

支那	支那	支那	支那	支那	支那	支那	支那	支那	支那
本部	430					130		80	215
支那						國			

第三節 生業

人民の生業中、重なるものは、農業、工業、商業、漁業、鑛業及び航運業となす。

一 氣候に因る區分

- 一、熱帶地方。人民は、此の地方の氣候に適へる植物、即ち綿、珈琲、甘蔗、米、烟草、椰樹の類を培養す。
- 二、溫帶地方。人民は、此の地方の氣候に適へる植物、即ち五穀、野菜類、林檎、梨などの果物類を培養し、牛、馬、羊、豚を飼養し、且つ養蠶に従事す。
- 三、寒帶地方。人民は、此の地方に多く産する動物、即ち海豹、膾膾熊などの獵獲に従事す。

試みに四尺許の竹を伐り出
したるは極め
其の價はこれ
を低し、これ
を染め、これ
を澤を著け、
となした、人
には價は稍、
貴からん、更
に裝飾して、
等の杖として
は、益、貴から
んは、益、貴から

「八十日間世
界旅行」は、二
十餘年前、一
奇書の小説と
空の愛、今や
るに、今や八
十日のみか、
六十日に地球
を一周し得ら
れ、今後シベ
リア鐵道に、
て完成し、其
の設備、三日
に、十三日、
に、一週、三
球を一周し得
るに、至るべ
く、五十年前
の人の殆ど、
像し得ざる、
となれり、
の進歩、果して
如何ぞや、

二 地勢に因る區分。

一 平原地方。 地勢平坦にして、交通、航運及び灌漑に便利なるが上に、概して肥沃なれば、人民は主として農業に従事す。支那、ロシア、アメリカ合衆國の如き是れなり。

二 島國、海國。 人民は、漁業、製鹽、航運、貿易などに従事するもの多し、我國及びイギリスの如き是れなり。

三 地小人多の地方。 面積狭小にして、人口多き地方にては、人民は主として製造工業に従事す、イギリスの如き是れなり。 概するに天産物を愈精製すれば、精製するほど、其の資本に對して利益は益、加倍し來るものなり、製造工業の一國を富ますは、實にこれに因るものとす。

第四節 交通

世界の交通は、近年非常に發達せり。東半球にては、ヨーロッパの西端より、シベリアを経て、アジア洲の東端まで達する鐵道大概落成し、アフリカ洲の縦貫鐵道も亦着々進行せり。西半球にては、大平洋と大西洋とを連絡する鐵道、北アメリカに四條、南アメリカに一條あり。

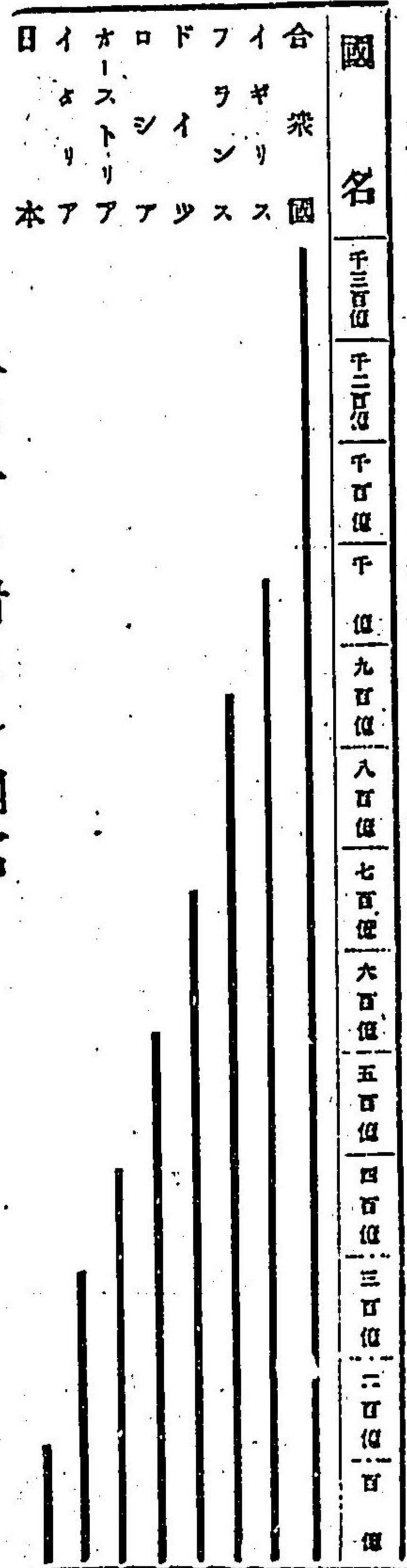
郵便及び電信は、萬國聯合の制度を設け、世界到る處通ぜざるなし。海底電線は、ヨーロッパとアメリカとの間に大西洋線十數條あり、大平洋線も、亦北アメリカ、オーストラリア間の一條と、北アメリカよりアジア大陸に近きマニラに至る一條とは、近年沈設せり、世界は全く比隣となれり。

第五節 世界に於ける日本

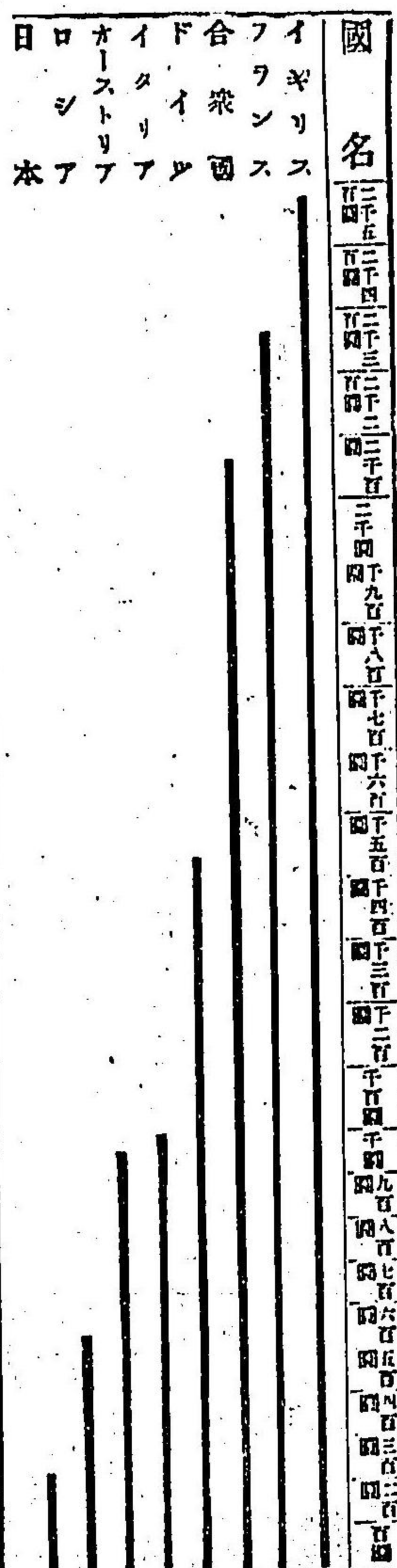
我が日本は、國の位置より見れば、今後人力を以て開發するに最も餘地多きアジア大陸に接し、更に將來世界の運命を支配する大平洋を控え、最も有爲多望の位置にあり。即ちアジア大陸には、シベリア大鐵道成り、大平洋の東には、世界の富を致せるアメリカあり、ニカラガ運河亦漸く竣功すべく、依て以て大西洋及びヨーロッパと連絡し得べし、又大平洋の南には、オーストラリア大に發達して、南洋無數の諸島の遺利も亦開發されんとし、大平洋電線も敷設せらる。我國は、かくの如き新銳なる氣運の交叉點にあるを以て、國民たるもの發憤して此の氣運に投ぜざるべけんや。

以上の如く我國の地位たる、有爲多望の間にと雖も、翻て國勢の如何を顧みれば、世界列國と比較して實に其の最下位にあり、即ち

國 富

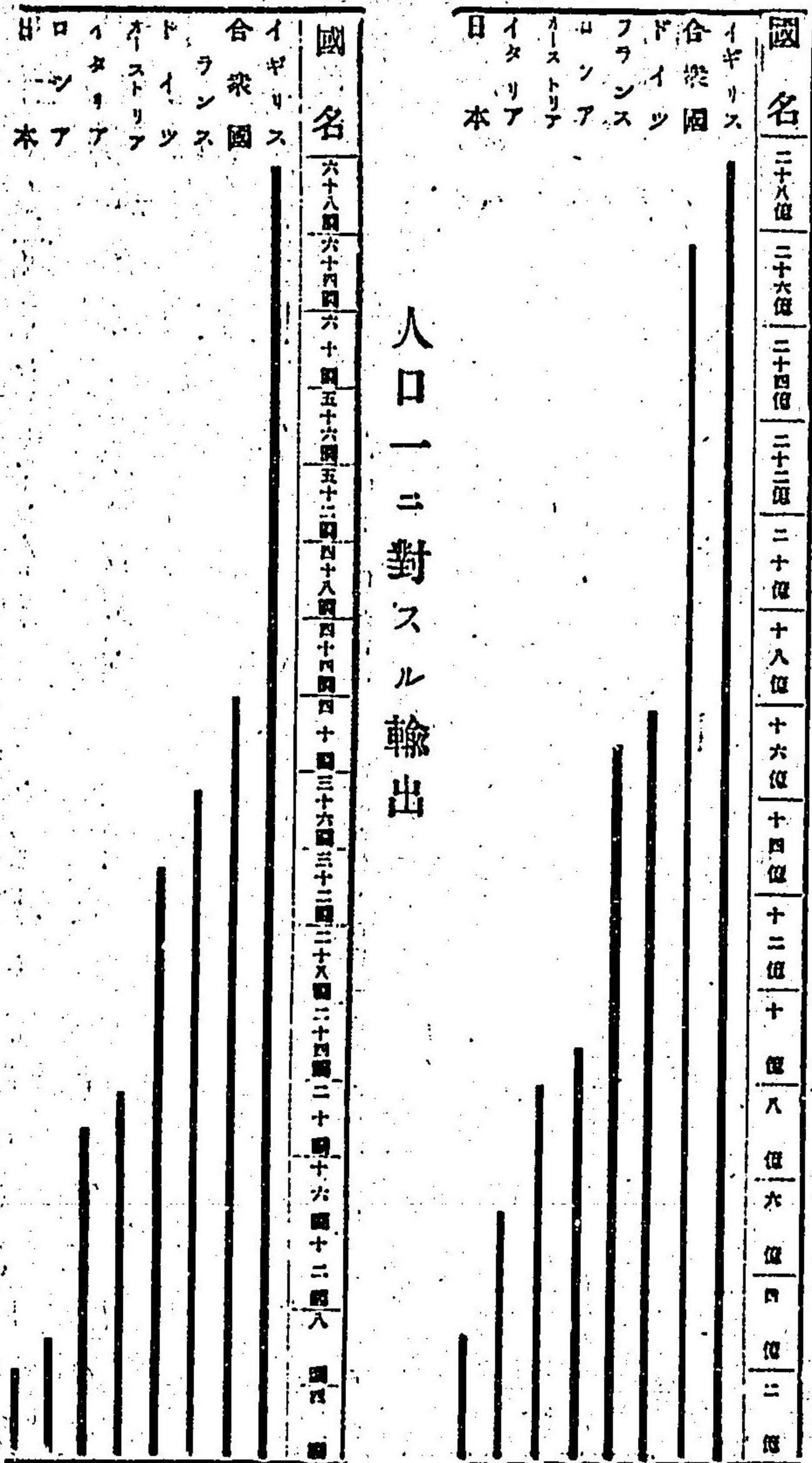


人口一ニ對スル國富



獨り國富及び人口一に對する國富の割合の最下位にあるのみならず、國民の生産力も亦最下位にあり、即ち

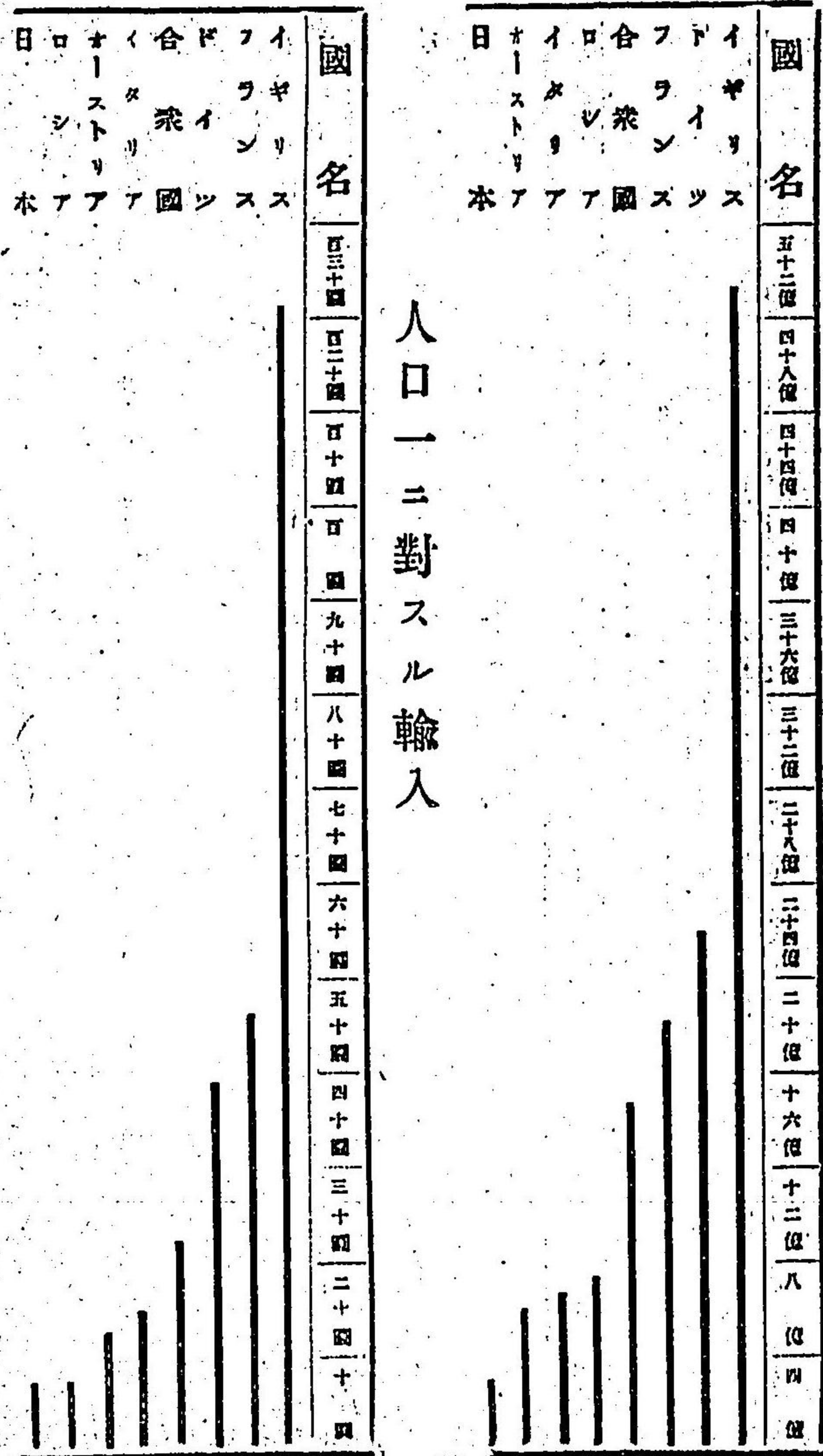
輸出



人口一ニ對スル輸出

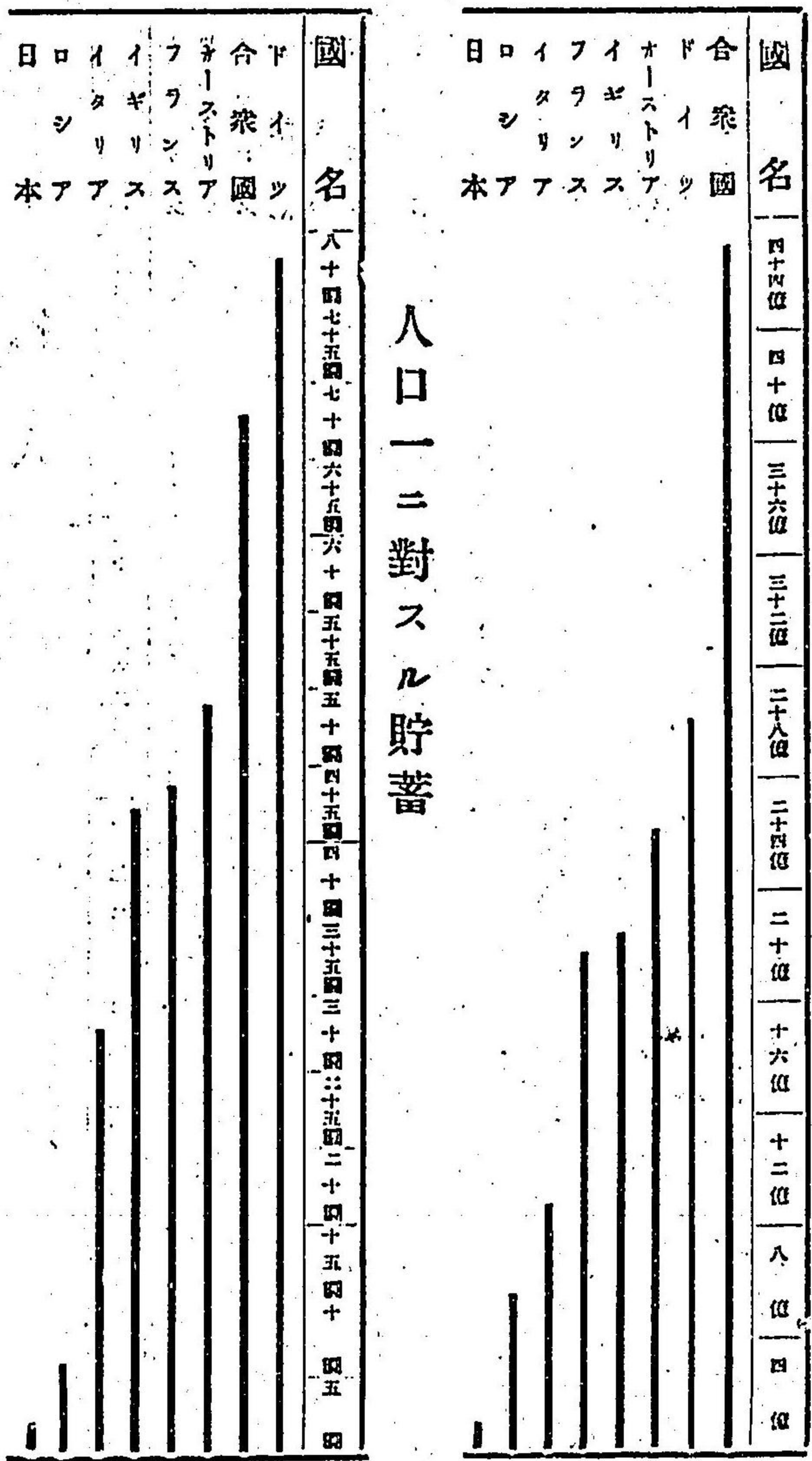
輸出既に以上の如く最下位にあり、顧みて輸入如何と見れば亦た最下位にあるなり、即ち

輸入



人口一ニ對スル輸入

貯蓄



世界の恩惠集りて、國勢は最下位にあり、奮はざるべけんや。
地理教科書外國編(下卷)終

明治三十七年一月廿六日 印刷
 明治三十七年一月廿九日 發行
 明治三十七年三月十二日 訂正再版印刷
 明治三十七年三月十五日 訂正再版發行

地理教科書外國編下卷專付
 定價金四拾五錢

著作權所有

著者 志賀重昂
 發行者 東京市神田區裏神保町九番地 合資會社富山房
 代表者 坂本嘉治馬
 印刷者 東京市神田區三河町一丁目十四番地 石井要藏
 印刷所 東京市神田區三河町一丁目十四番地 合資會社丸利商會

發兌元
 (二十九年六月設立)
 合資會社 富山房
 長距離(電話本局)電信ヤマフ
 加入(一〇三六番)墨鏡

落後生 吉田東伍先生著

大日本地名辭書

本書は一般地理學、文學、語學研究者の珍寶たるに止まらず、神道佛敎の諸家は之に由りて、國の歴史を知るに、雄辯佳什の撰に益すべし。攻城野戰の實蹟を考ふべく、文雅詩歌の土は、以て、雄辯佳什の撰に益すべし。攻城野戰の實蹟を考ふべく、文雅詩歌の土は、以て、雄辯佳什の撰に益すべし。攻城野戰の實蹟を考ふべく、文雅詩歌の土は、以て、雄辯佳什の撰に益すべし。

大正六號活字卅一行總紙數凡四千

富山房編輯部編輯

最新日本地圖

▲縱八寸五分 ▲横一尺五分 大形 上製金一圓 郵税金拾錢 並製八十錢 郵税金八錢

石版刷總着色 區畫の正、位置の確、坊間、流布のもの、と全く其撰を異し、本邦無二の大つ精のなる也

理學士 山上萬次郎先生著

新撰大地誌

外國部完結 卷一 亞細亞、卷二 歐羅巴、卷三 南北アメリカ及オセアニア 每卷 讀切完結各卷四百頁 定價、各卷金壹圓參拾錢、小包料各十五錢

理學士 山上萬次郎先生著

新撰大地文學

編述之要項(既刊之部)

卷之一 地球星學及氣圈學

卷之二 靜的海洋學

卷之三 動的海洋學

卷之四 宇宙開闢論

卷之五 地球星學續稿(以下追出)

本書は新事實により新學說を説き、特に學說の沿革を詳にし、且つ泰西諸家の著を、按き本邦最新發見の事實を、其のなれば、地理學の現狀に注意する人は、必ず一讀を要す。近來稀有の一大好著也。

定價 各卷五拾六錢

全五十部 紙數凡三千頁

增訂地質學教科書

理學士 橫山又次郎先生著

菊判全一冊 定價金壹圓 郵税金十錢

理學博士 横山又次郎先生著

地質學掛圖

本書は前世界の各時代に産せし特有化石を講ずるものにして目下他に比類の掛圖なければ中學者の學校に於て博物學教授の際前世界に於ける化石の主要を示すに須臾も欠くべからざる珍品なり

既刊 第一圖 寒武利亞紀及志留利亞紀化石 第二圖 泥盆紀化石 第三圖 石炭紀化石 第四圖 三疊紀化石 第五圖 白堊紀化石 第六圖 侏羅紀化石 第七圖 第三紀化石 第八圖 第四紀化石 第九圖 第四紀化石

各圖金六拾錢
小包料一圓二角
横三尺六寸
二尺六寸

地文地圖

菊判美本
縦七寸横
一尺全二
十九枚

石版着色 印刷鮮明にして地文學を學ばらるる諸君の爲めに編成せるもの最近世界地文の状態を表示して餘蘊なし而して其價廉なり(定價八十錢郵税金八錢)

横山博士著

地球の過去及未來

冊一全

石版着色日仙圖入 定價廿五錢 郵税二錢

本書は地球が如何にして現はれ今後如何なる運命災害に遇ふべきかの學術界の大問題を捉へ最新の學說を蒐めたり記事快活、事理明晰、文章通俗平易、議論正確、趣味深きは勿論我地球が**早晚滅亡**せざるべしを論破して餘蘊なきもの也。

鎌倉舊蹟地誌

洋裝(地圖入) 定價卅錢 郵税金四錢

日本地理 外國地理 地文學

中刷印

志賀重昂先生著

右は中學教科用書として一異彩を發ち地理教授上に新紀元を畫するものこれこの地理學書の特色也。

山名 留三郎 先生著

文學博士 重野安繹先生序并監修
陸軍教授 依田雄甫先生編

漢文 世界地圖

圖面縦一尺四寸横二尺
石印 色刷鮮明美麗精確詳密最新唯一之世界大地圖也。

富山房編輯部編纂(新刊)

袖最新世界圖

全廿六圖附錄數十頁 定價金五拾錢 郵税金六錢

富山房編輯部編纂(新刊)

袖最新日本圖

全圖附錄數十頁 定價金五十錢 郵税金六錢

理學博士 横山又次郎先生著

●地文學教科書 全一冊 洋裝定價四拾錢 小包料拾錢

●地文學簡易教科書 全一冊 洋裝定價四拾錢 美木郵税六錢

●地質學簡易教科書 全一冊 洋裝定價四拾錢 美木郵税六錢

●新撰地文學 全一冊 洋裝定價四拾錢 郵税金六錢(文部省檢定済)

●普通地文學 全一冊 洋裝定價四拾錢 郵税金六錢(文部省檢定済)

●新撰小地文學 全一冊 洋裝定價四拾錢 郵税金六錢(文部省檢定済)

●新撰中地文學 全一冊 洋裝定價四拾錢 郵税金六錢(文部省檢定済)

●近地文學教科書 全一冊 洋裝定價四拾錢 郵税金六錢(文部省檢定済)

513J-77

謝庭茲村 上田 萬年
李田露伴 堀根 正直
宮崎三味 尾崎 紅葉
宮崎三味 尾崎 紅葉

文學博士 坪内 雄藏先生
監 督 校 園
青年 階 名家 執筆

文學博士 坪内 雄藏先生
監 督 校 園
青年 階 名家 執筆

文學博士 石川 千代松 剛先生
理學博士 三好 學剛先生

農學博士 橫井時敬先生著

博士 學士 階 大家 校 園
藤山 信順 先生 著

袖珍名著文庫

通俗世界文學

少年世界文學

博物叢書

農藝叢書

日用理化叢書

詩歌小說戲曲史傳記行隨筆雜論等每編國文學に關する珍本稀籍を網羅す
定價 每冊 金 廿五圓 大冊 金 卅四圓 十冊 金 卅三圓 十冊 金 卅三圓 十冊 金 卅三圓

世界文學の古今の傑作をば最新なる筆を以て編寫的に紹介したるもの
定價 每冊 金 卅五圓 大冊 金 卅四圓 十冊 金 卅三圓 十冊 金 卅三圓 十冊 金 卅三圓

健全にして有益なる家庭の讀物趣味教育に資すべき現代唯一の少年讀本
定價 每編 金 拾貳錢 郵稅 每編 金 四錢

自然界に於ける最興味ある事柄を最巧妙なる方法を以て解説したるもの
定價 每編 參拾五錢 大冊 金 二圓 〇四錢 全冊 十二冊 金 四圓

農に關する須知の事項を網羅す農業國に生れたる國民は必ず一讀を要す
定價 每冊 金 卅五圓 大冊 金 卅四圓 十冊 金 卅三圓 十冊 金 卅三圓

日常目撃の興味ある理化的事項を通俗に面白く分り易く記述したるもの
定價 每冊 金 卅五圓 大冊 金 卅四圓 十冊 金 卅三圓 十冊 金 卅三圓

近刊

